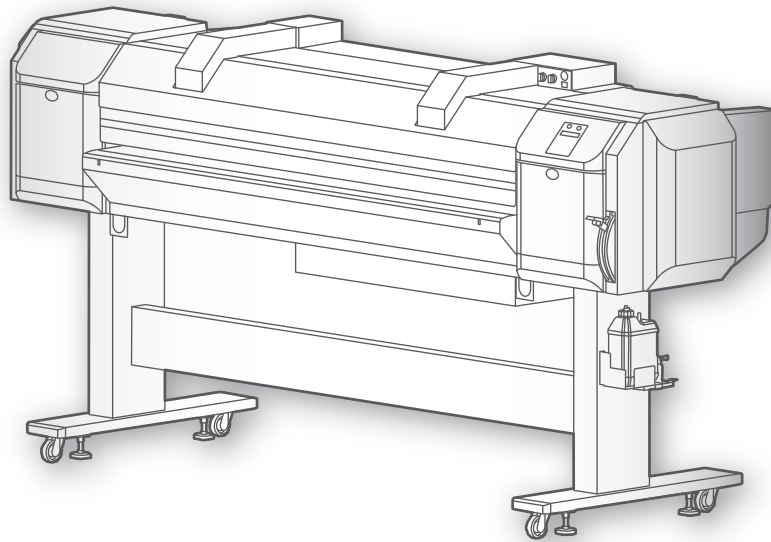


VJ-1627MH

取扱説明書

使い方とメンテナンス方法



-
- 本書の内容の全部または一部を、無断で複製・複製することを禁止します。
 - 本書の内容につきましては万全を期していますが、万一ご不明の点や、誤り、お気づきの点がございましたら、弊社またはお買い求めの販売店にご連絡ください。
 - 本書に記載された取扱方法以外の手順によって生じた故障、事故などにつきましては、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
 - 記載されている会社名、製品名は、各社の商標および登録商標です。

この装置は、クラス A 機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。
この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

第1章 基本的な使い方

はじめに	9
各部の名称.....	9
メニューチャート	13
本製品のシステム構成.....	17
コンピューターとの接続.....	19
プリンタードライバーの印刷設定画面の表示方法.....	20
MSMの起動方法／表示方法／終了方法.....	21
Layout and Print Tool 2の起動方法	22
MUTOH Layer Editorの起動方法	22
ヘルプの表示方法	23
本製品の印刷エリア	23
使用できるメディアの条件.....	24
ご使用上のお願い	25
ヘッド衝突防止センサーについて.....	27
電源のオンオフ.....	29
電源をオンにする	29
電源をオフにする	29
スリープモード.....	31
スリープモードを開始する.....	31
メディアのセット方法	34
プリンターにメディアをセットする（ロール紙の場合）.....	34
プリンターにメディアをセットする（リジッドメディアの場合）.....	39
ノズルチェックとクリーニング	43
ノズルチェック	43
クリーニング.....	45
印刷精度の調整.....	46
画質調整	46
メディア送り補正	48
操作パネルからの各種操作.....	49
メディア送りとメディアのカット.....	49
印刷の一時停止／再開.....	50
印刷のキャンセル	50
ウォームアップ中に印刷を開始する.....	50
印刷中に操作パネルでできること.....	51

第2章 パネル設定メニュー

はじめに	55
キー操作	55
パネル設定メニュー	56
メニュー 1: スリープモード	60
メニュー 2: ユーザ定義	61
メニュー 3: 設定	74
セット 1: フラッシング	74
セット 2: サイドマージン	75
セット 3: 巻き取り装置	76
セット 4: 用紙セット位置	76
セット 5: 原点設定	77
セット 6: 待機ヒート	78
セット 7: CR 作画移動幅	78
セット 8: 重ね描き回数	78
セット 9: 斜行チェック	78
セット 10: オートクリーニング	79
セット 11: ロール紙長さ設定	81
セット 12: 先端処理	82
セット 13: 後端処理	82
セット 14: インクステータス	83
セット 15: 寿命確認	83
セット 16: ヘッダーダンプ	84
セット 17: スタートフィード	84
セット 18: 障害物チェック	85
セット 19: 初期化	85
セット 20: 一時詳細表示	85
メニュー 4: テスト作画	86
テスト 1: ノズルチェック	86
テスト 2: ノズルチェック B	86
テスト 3: モードプリント	87
テスト 4: 設定内容	87
テスト 5: パレット	88
メニュー 5: クリーニング	89
メニュー 6: 簡易選択	90

メニュー 7: メンテナンス	91
メンテナンス 1: デイリーメンテナンス	91
メンテナンス 2: 長期保存	91
メンテナンス 3: キャップアウト	92
メンテナンス 4: ヘッド洗浄	92
メンテナンス 5: インク置換	92
メンテナンス 6: 洗浄液置換	92
メンテナンス 7: カラーメンテナンス	93
メニュー 8: バージョン	93
メニュー 9: 初期設定	94
初期設定 1: 言語	94
初期設定 2: 長さ	94
初期設定 3: IP アドレス.....	94
初期設定 4: サブネットマスク.....	95
初期設定 5: ゲートウェイ	95
初期設定 6: 警告ブザー	95
メニュー 10: Job ステータス	96
第 3 章 メンテナンス	
メンテナンスについて	98
インクをかくはんする	99
インクをかくはんする.....	99
インクの確認と交換	101
インク残量を確認する.....	101
インクの交換が近づいたら.....	102
インクの交換.....	102
大容量パックアダプターのプラグ交換.....	104
廃液タンクを空にする	105
廃液タンクを空にする.....	105
デイリーメンテナンス	108
デイリーメンテナンスの流れ	108
デイリーメンテナンスの準備	109
デイリーメンテナンスを行う	111
デイリーメンテナンス後も印刷を行う場合の手順.....	118
ご使用にあわせたメンテナンス	120
ヘッドクリーニング	120
内部の清掃.....	122

消耗品の交換	123
フラッシングボックス用吸収材の交換	123
クリーニングワイパーの交換.....	127
輸送	129
移動の方法	129
輸送の方法	130
長期保存と初期充てん	131
長期間使用しないときには	131
長期保存を行う	132
初期充てんを行う.....	136
第4章 付録	
メッセージとエラーメッセージ	140
動作状態表示	140
メッセージ型エラー表示と対処方法	143
再起動が必要なエラー	146
トラブルシューティング	147
設置・導入時のトラブル	147
動作に関するトラブル	148
メディアに関するトラブル	149
印刷に関するトラブル	151
メディアが詰まった場合	154
お問い合わせ先	156
本製品の仕様	157
仕様一覧.....	157
オプション・サプライ品リスト	159
インク.....	159
その他.....	159
改訂履歴	160

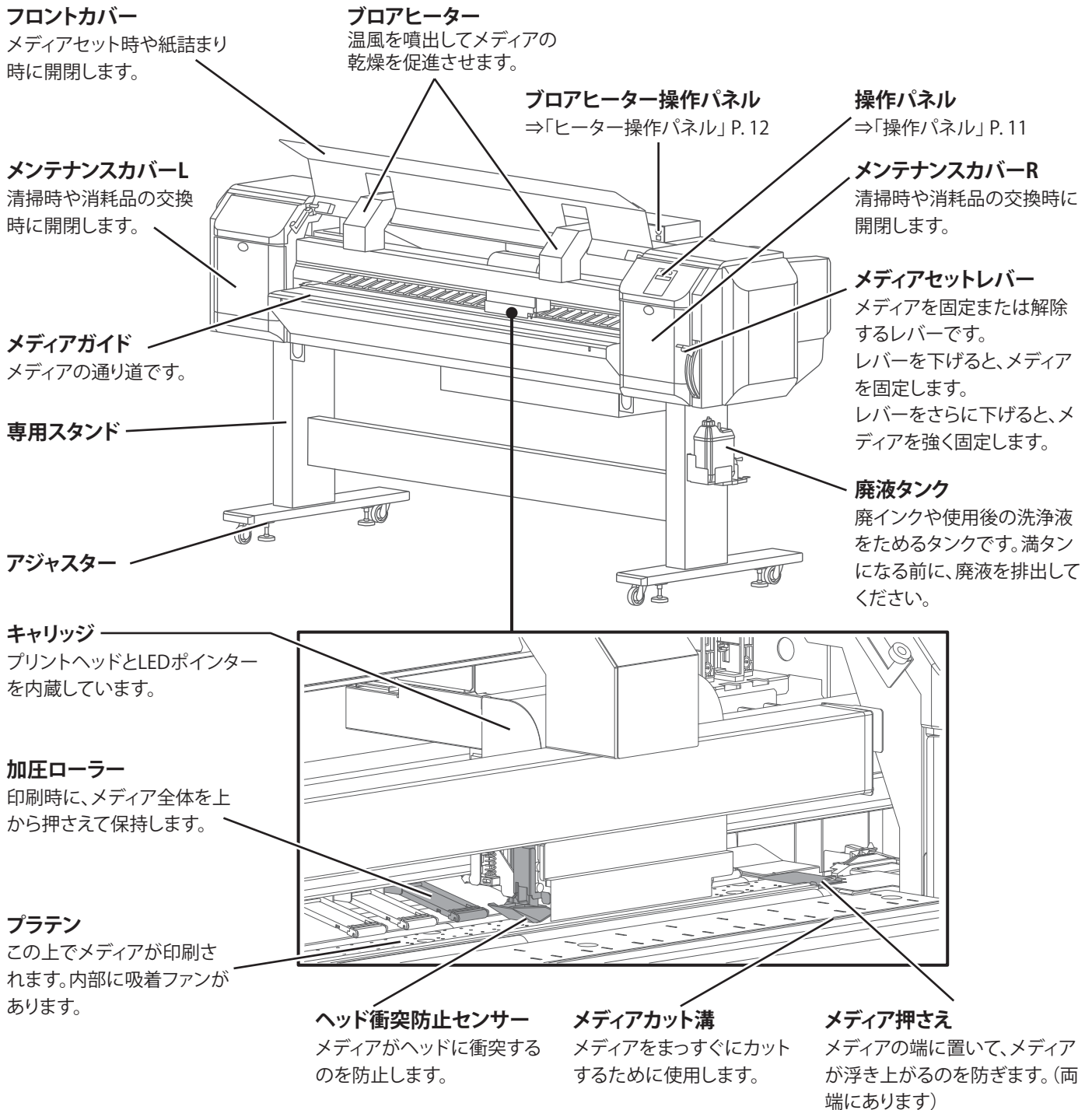
第 1 章 基本的な使い方

はじめに	9
各部の名称.....	9
メニューチャート	13
本製品のシステム構成.....	17
コンピューターとの接続.....	19
プリンタードライバーの印刷設定画面の表示方法.....	20
MSM の起動方法／表示方法／終了方法.....	21
Layout and Print Tool 2 の起動方法.....	22
MUTOH Layer Editor の起動方法	22
ヘルプの表示方法	23
本製品の印刷エリア	23
使用できるメディアの条件	24
ご使用上のお願い	25
ヘッド衝突防止センサーについて.....	27
電源のオンオフ.....	29
電源をオンにする	29
電源をオフにする	29
スリープモード.....	31
スリープモードを開始する	31
メディアのセット方法	34
プリンターにメディアをセットする (ロール紙の場合).....	34
プリンターにメディアをセットする (リジッドメディアの場合)	39
ノズルチェックとクリーニング	43
ノズルチェック	43
クリーニング.....	45
印刷精度の調整.....	46
画質調整	46
メディア送り補正	48

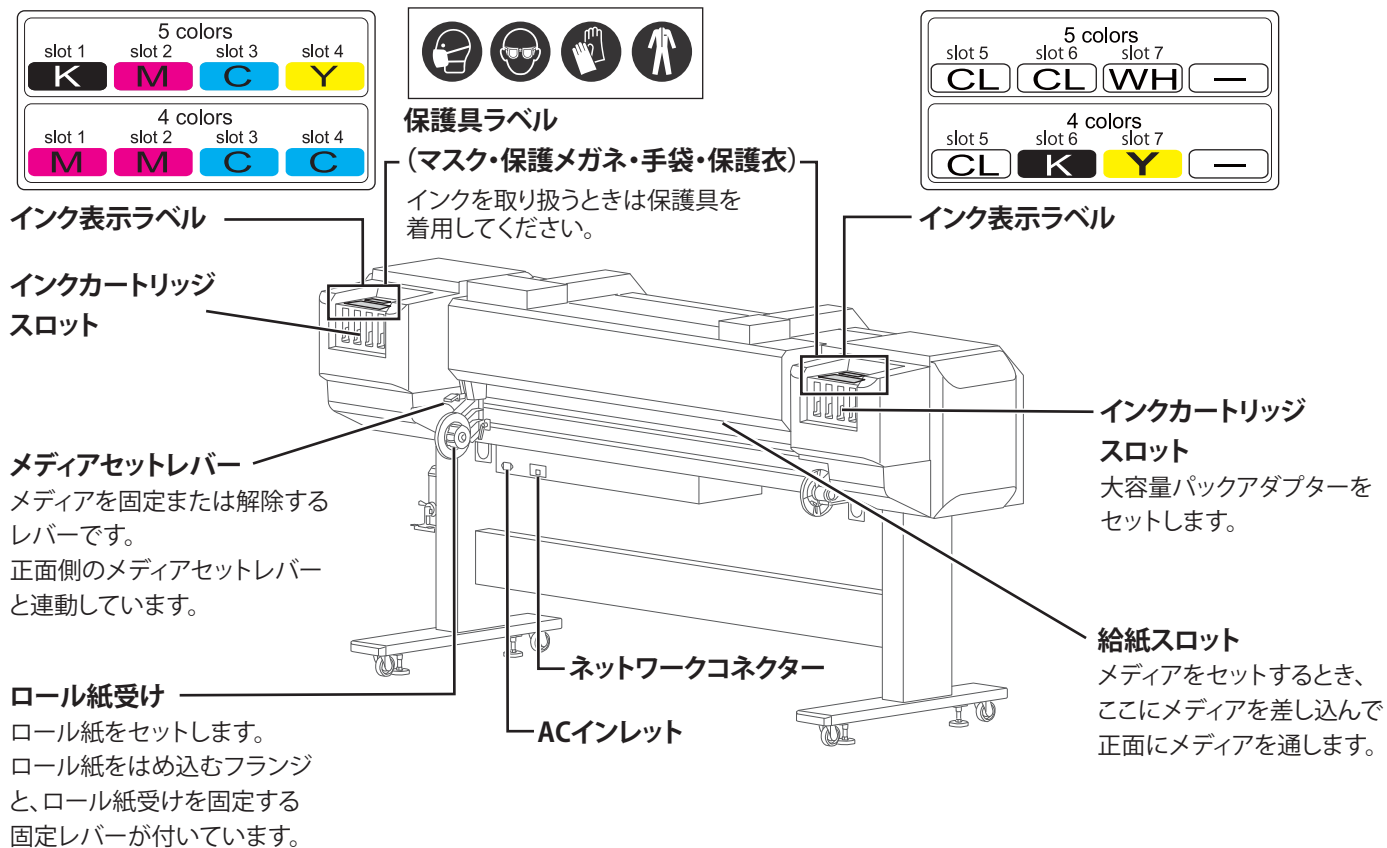
操作パネルからの各種操作	49
メディア送りとメディアのカット	49
印刷の一時停止／再開	50
印刷のキャンセル	50
ウォームアップ中に印刷を開始する	50
印刷中に操作パネルでできること	51

各部の名称

プリンター本体（正面）



プリンター本体（背面）



操作パネル

電源ボタン

- ・押しと電源をオンします。
電源オン時は青色に点灯します。
- ・もう一度押しと、電源をオフします。オフ状態では消灯します。
- ・データ受信中は点滅します。

[参考]

⏻マークはスタンバイを意味します。
本製品は電源ボタンがオンでなくても、電源ケーブルが接続されていれば微量の電力を消費します。
本書では、この状態を「電源オフ」と表記しています。

[Heater Link]ランプ

プロアヒーターが「Printer Link」状態のとき、緑色に点灯します。

[Origin]ランプ

原点設定を設定しているとき、緑色に点灯します。

[Media Type]ランプ

- ・ロール紙:「Roll」が緑色に点灯
- ・リジッド:「Rigid」が緑色に点灯

[Menu]キー

設定メニューに入るとき／出るときに使用します。

[Pause]キー／[Cancel]キー

- ・印刷を一時停止します。
- ・2秒以上押し続けると、印刷をキャンセルし、受信したデータを削除します。

設定メニュー表示時:

設定値の変更をキャンセルします。

エラーランプ

- ・エラー状態やカバーオープンの際にはオレンジ色に点灯します。
- ・インクが残り少ないときは点滅します。

ディスプレイ

本製品の状態、設定メニュー、エラーなどを表示します。

[Cleaning Mode]ランプ

ヘッドクリーニングのモードを、緑色に点灯して表示します。

クリーニングモード

- ・強力:Longが点灯
- ・通常:Normalが点灯
- ・微量:LongとNormalが同時点灯

[Enter]キー

メディアをセットした状態で2秒以上押し続けると、メディアの送り出しを行います。

設定メニュー表示時:

- ・各メニューに入ります。
- ・設定値を確定します。

[+]キー／[Backward feed]キー

メディアを逆方向に送ります。

設定メニュー表示時:

- ・別のメニューに移動します。
- ・設定値を変更します。

[-]キー／[Forward feed]キー

メディアを順方向に送ります。

設定メニュー表示時:

- ・別のメニューに移動します。
- ・設定値を変更します。

[<]キー／[Nozzle Check]キー

2秒以上押し続けると、ノズルチェックを実行します。

設定メニュー表示時:

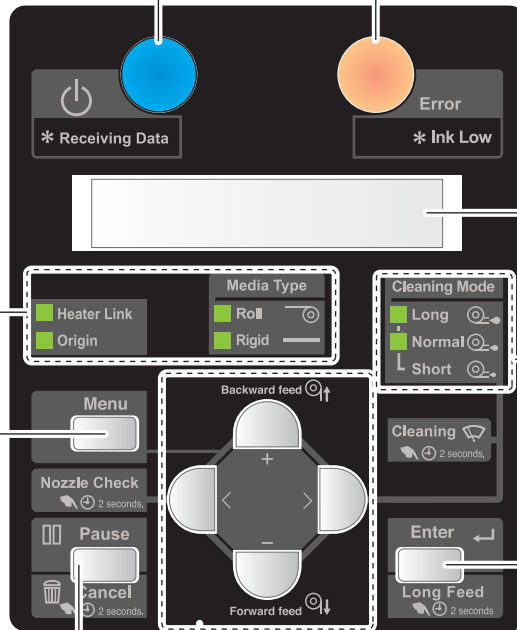
- ・設定値を変更します。

[>]キー／[Cleaning Mode]キー

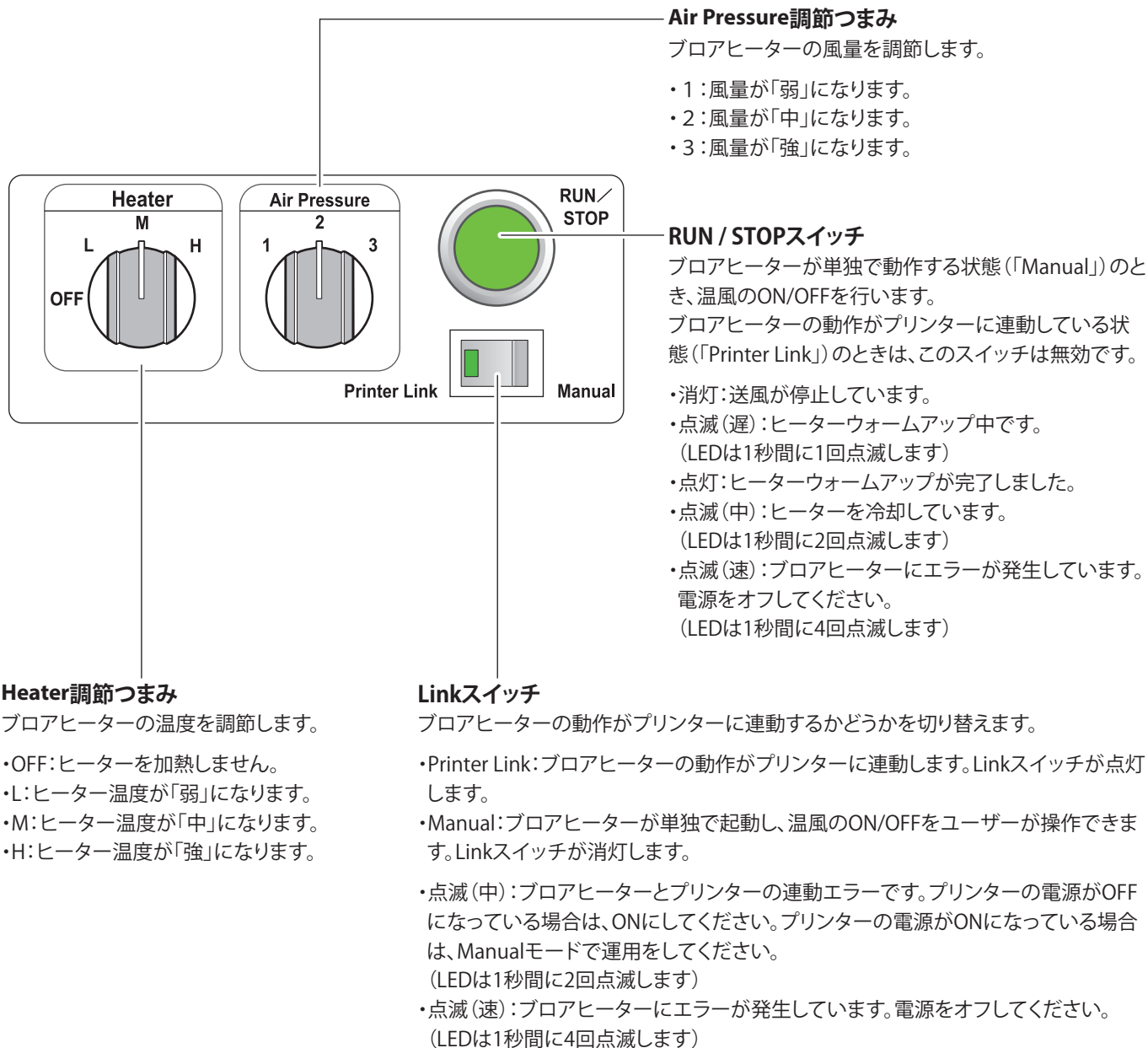
- ・クリーニングモードを変更します。
- ・2秒以上押し続けると、ヘッドクリーニングを実行します。

設定メニュー表示時:

- ・メニューの下階層に移動します。
- ・設定値を変更します。



ブローヒーター操作パネル

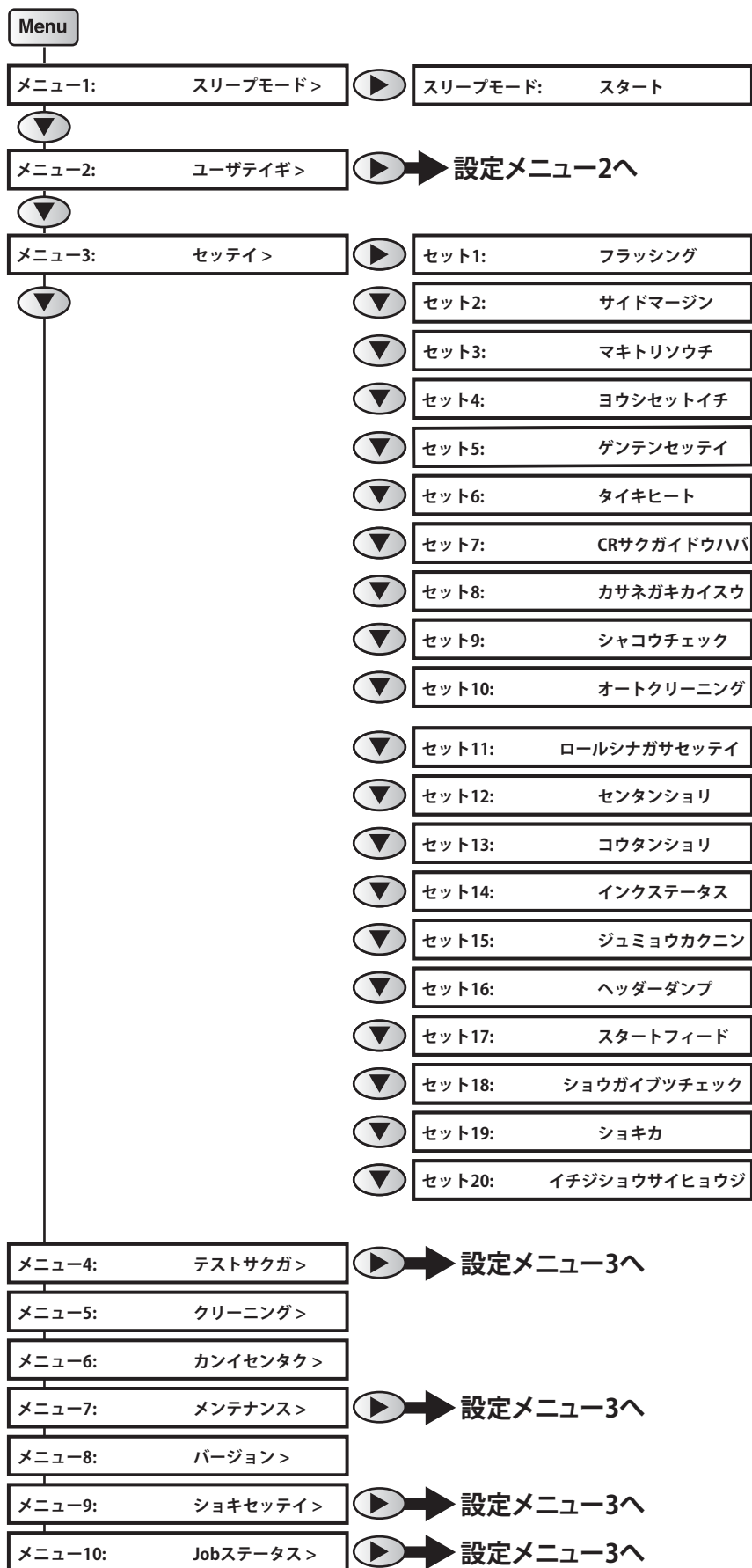


Note

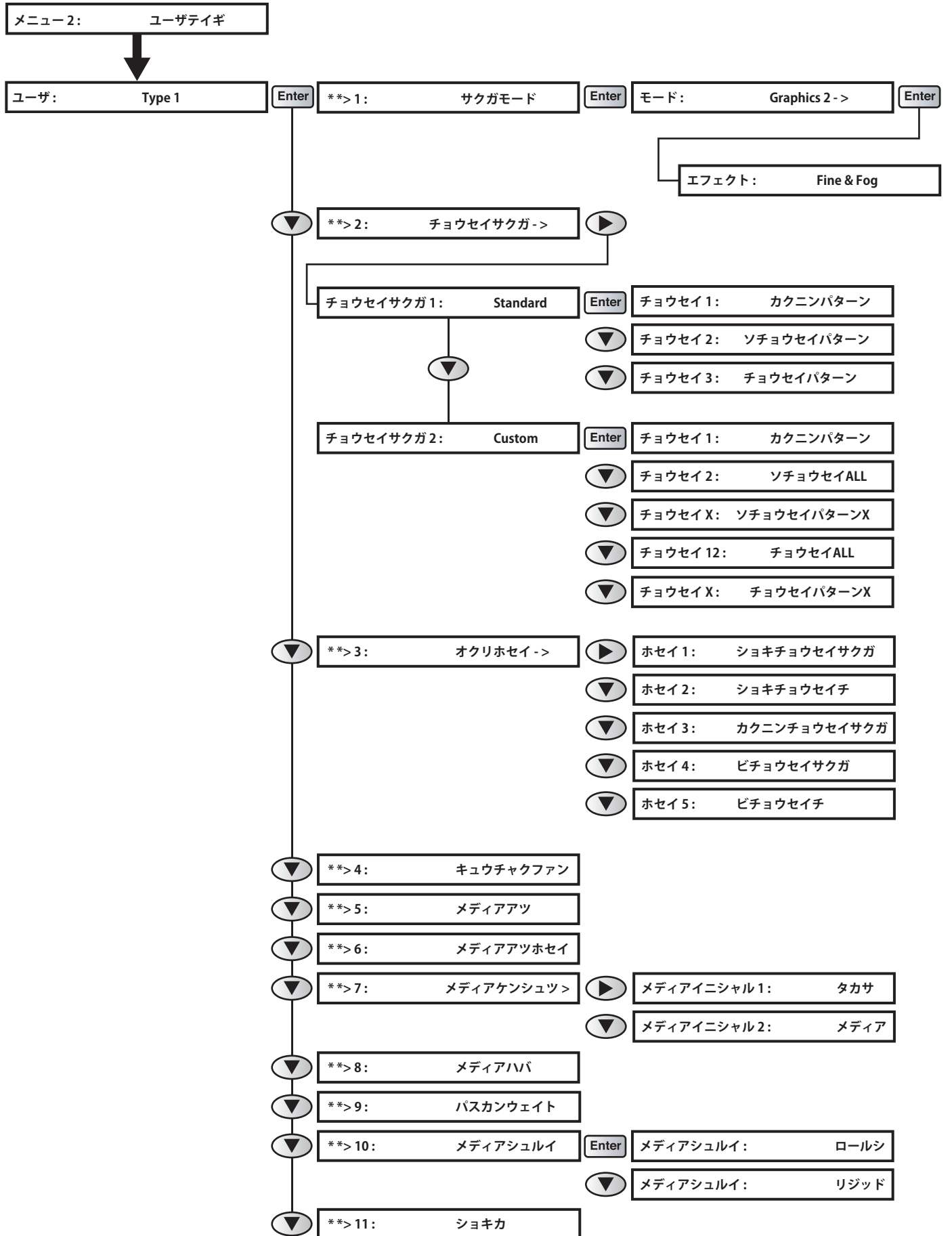
Printer Link モード時にブローヒーターにエラーが発生している場合は、操作パネル上にも「ヒーター エラー」が表示されます。

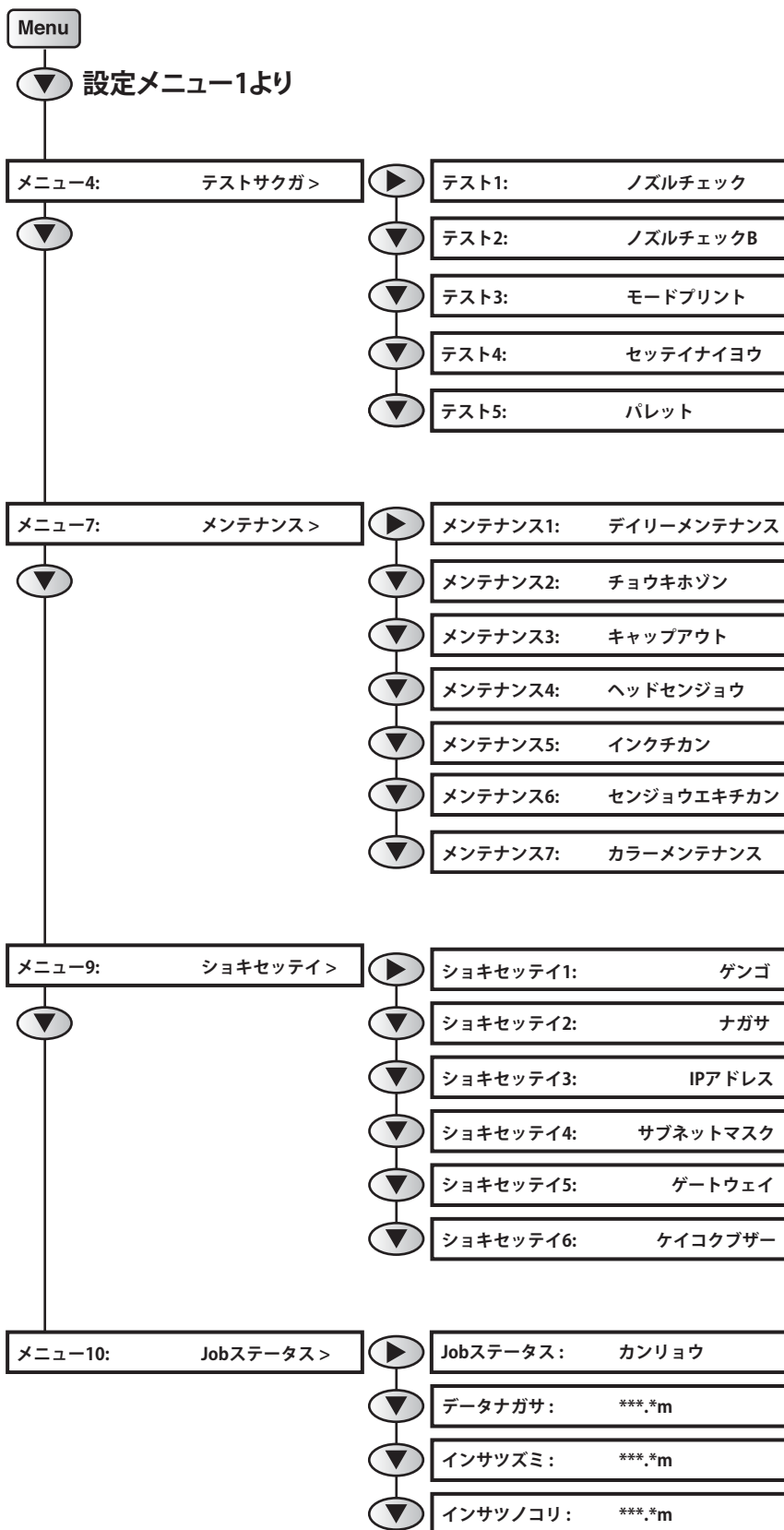
メニューチャート

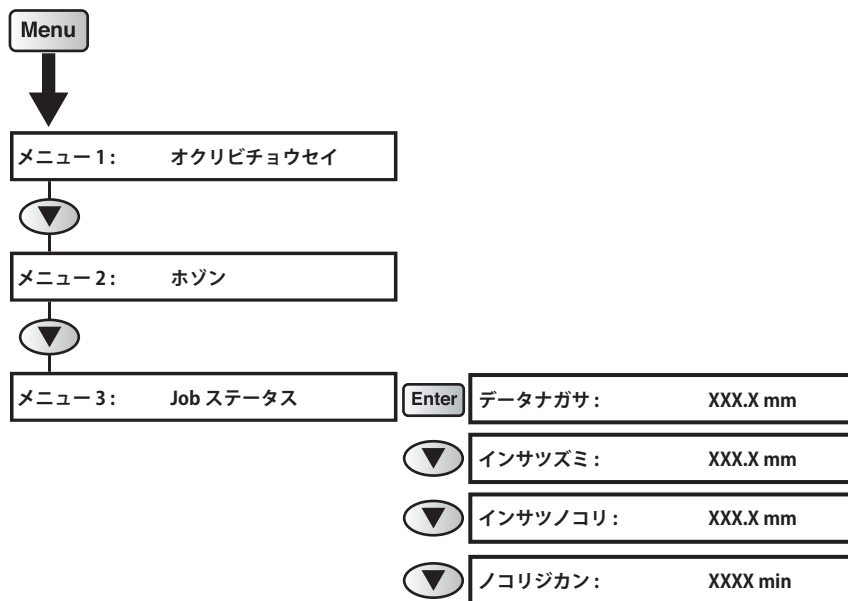
設定メニュー 1



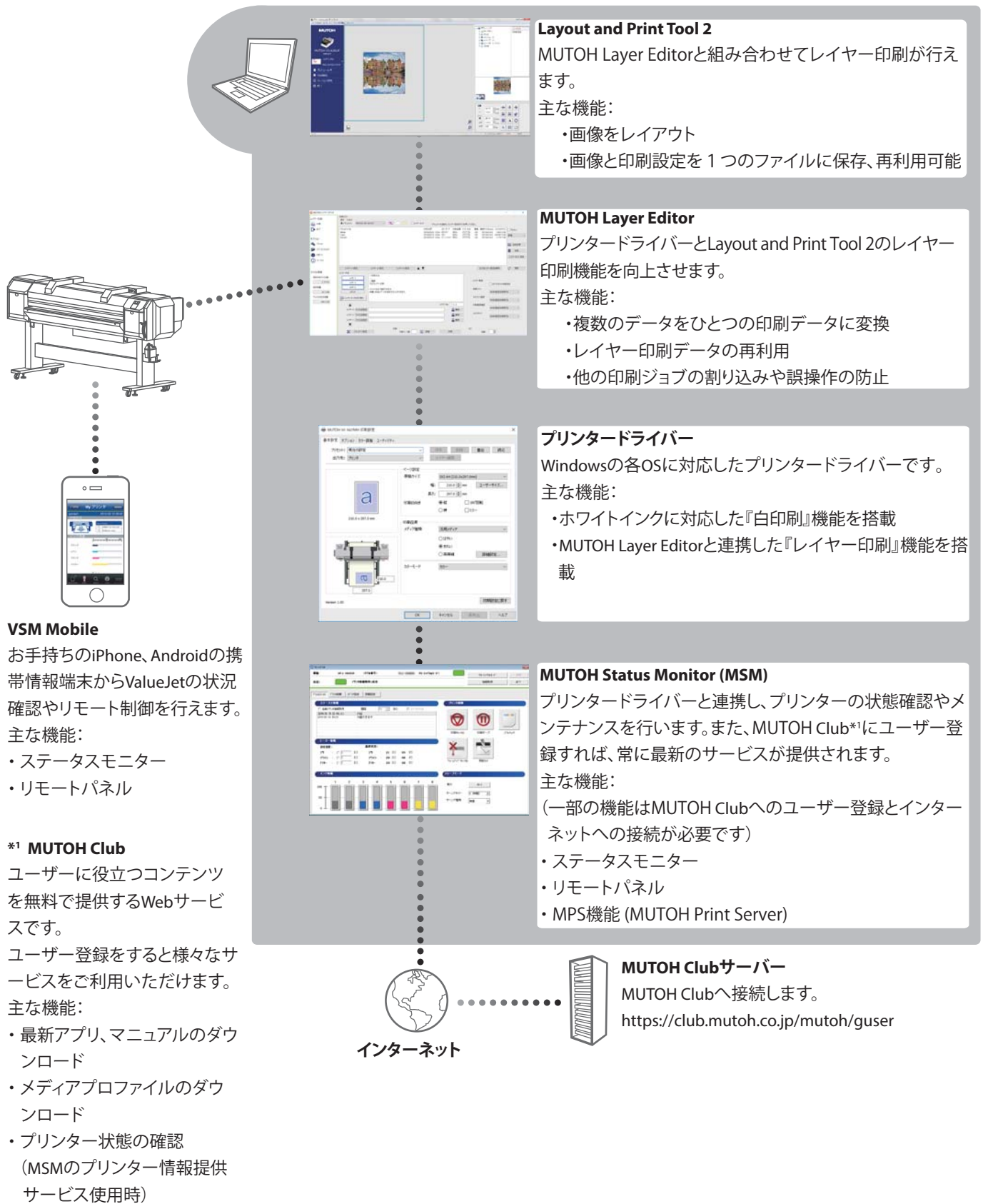
設定メニュー 2







本製品のシステム構成



Layout and Print Tool 2
 MUTOH Layer Editorと組み合わせてレイヤー印刷が行えます。
 主な機能：
 ・画像をレイアウト
 ・画像と印刷設定を1つのファイルに保存、再利用可能

MUTOH Layer Editor
 プリンタードライバーとLayout and Print Tool 2のレイヤー印刷機能を向上させます。
 主な機能：
 ・複数のデータをひとつの印刷データに変換
 ・レイヤー印刷データの再利用
 ・他の印刷ジョブの割り込みや誤操作の防止

プリンタードライバー
 Windowsの各OSに対応したプリンタードライバーです。
 主な機能：
 ・ホワイティンクに対応した『白印刷』機能を搭載
 ・MUTOH Layer Editorと連携した『レイヤー印刷』機能を搭載

MUTOH Status Monitor (MSM)
 プリンタードライバーと連携し、プリンターの状態確認やメンテナンスを行います。また、MUTOH Club*1にユーザー登録すれば、常に最新のサービスが提供されます。
 主な機能：
 (一部の機能はMUTOH Clubへのユーザー登録とインターネットへの接続が必要です)
 ・ステータスマニター
 ・リモートパネル
 ・MPS機能 (MUTOH Print Server)

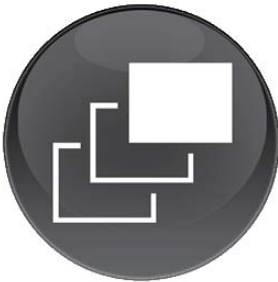

VSM Mobile
 お手持ちのiPhone、Androidの携帯情報端末からValueJetの状況確認やリモート制御を行えます。
 主な機能：
 ・ステータスマニター
 ・リモートパネル

*1 **MUTOH Club**
 ユーザーに役立つコンテンツを無料で提供するWebサービスです。
 ユーザー登録をすると様々なサービスをご利用いただけます。
 主な機能：
 ・最新アプリ、マニュアルのダウンロード
 ・メディアプロファイルのダウンロード
 ・プリンター状態の確認 (MSMのプリンター情報提供サービス使用時)

MUTOH Clubサーバー
 MUTOH Clubへ接続します。
<https://club.mutoh.co.jp/mutoh/guser>

Layout and Print Tool 2 と MUTOH Layer Editor の使い分け

本製品で印刷を行う場合、Layout and Print Tool 2 をご利用ください。
MUTOH Layer Editor とは以下のような違いがあります。

	Layout and Print Tool 2	MUTOH Layer Editor
		
ソフトウェアの目的	画像をレイヤー印刷します。 レイアウトの編集と保存が可能です。	<ul style="list-style-type: none"> プリンタードライバーからの出力を受信します。受信した印刷データを組み合わせ、レイヤー印刷を行います。 印刷を行うには Layout and Print Tool2 がグラフィックアプリケーションをご使用ください。
主な活用方法	<ul style="list-style-type: none"> 少量生産や、印刷ごとに文字入れなどの追加作業を行う印刷に向いています。 大量生産では MUTOH Layer Editor の利用をおすすめします。 	プリンター用のデータ形式で印刷データを保存している為に印刷開始までが早く、繰り返し印刷を効率的に行えます。
画像 (PNG/TIFF など) を印刷	○	×
シングルレイヤー印刷 (2 レイヤー同時印刷)	×	○
出力済みの印刷データに手を加える	×	○ (印刷スピード変更、吸着強度変更など)



Note

レイヤー印刷、印刷可能な画像フォーマットの種類については Layout and Print Tool 2、MUTOH Layer Editor のマニュアルを参照してください。

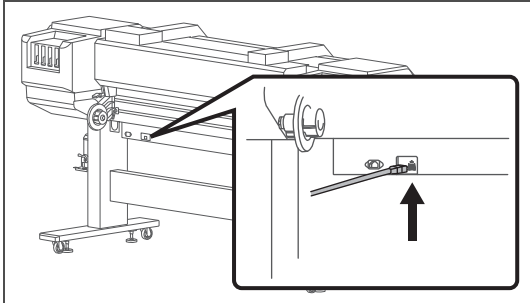
コンピューターとの接続

Important!

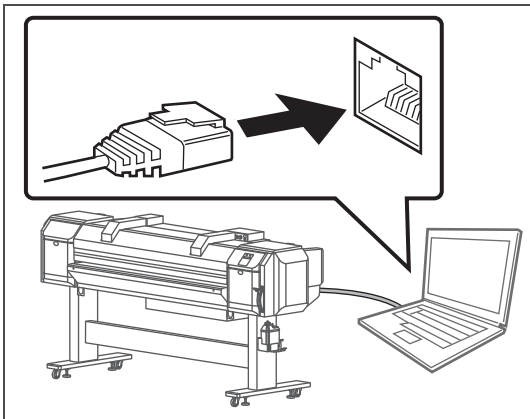
コンピューターは、以下の条件を満たすものをご使用ください。

- OS : Windows 10、Windows 8/8.1、Windows 7

[1] イーサネットケーブルを本製品に接続します。



[2] イーサネットケーブルを、コンピューターに接続します。



[3] プリンターの操作パネルで、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを設定します。

☞ 「初期設定 3 : IP アドレス」P.94 「初期設定 4 : サブネットマスク」P.95 「初期設定 5 : ゲートウェイ」P.95

Note

- 上図は本製品とコンピューターを 1 対 1 接続した例です。接続方法はご使用の環境により異なります。
- 本製品を LAN で使用する場合は、接続先のコンピューターと同じサブネットになるようにしてください。

プリンタードライバーの印刷設定画面の表示方法

[1] Windows 10

[スタート] - [すべてのアプリ] - [Windows システムツール] - [コントロールパネル] の順にクリックします。
開いた画面で [デバイスとプリンター] をクリックします。

Windows 8 / Windows 8.1

デスクトップ上でチャームバーを表示し、[設定] をクリックします。
[コントロールパネル] - [デバイスとプリンターの表示] の順にクリックします。

Windows 7

[スタート] - [デバイスとプリンター] の順にクリックします。

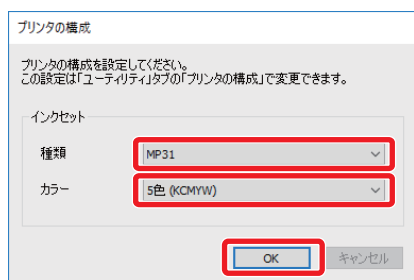
[2]



「MUTOH VJ-1627MH」のアイコンを右クリックし、[印刷設定] をクリックします。

- ・初回のみ「プリンタの構成」画面が開きます。
- ・2回目以降はプリンタードライバーの印刷設定画面が開きます。

[3]



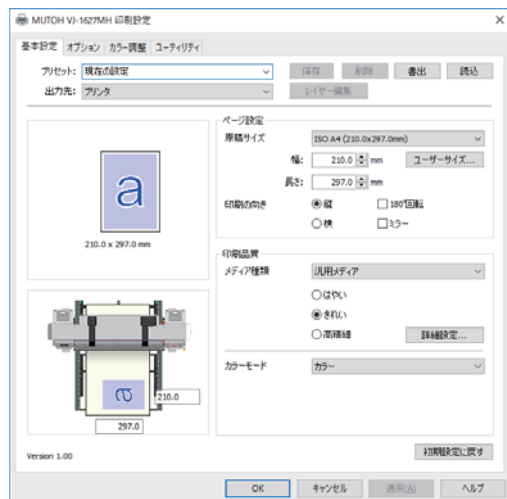
お使いのインク種類、インク色数を選択し、[OK] をクリックします。

- ・プリンタードライバーの印刷設定画面が開きます。



Note

プリンタードライバーを使用して印刷を行う場合は、かならずお使いのインク種類とインク色数を選択してください。



プリンタードライバーの印刷設定画面

MSM の起動方法／表示方法／終了方法

MSM の起動方法



Windows 8 / Windows 8.1

- ・ [スタート] 画面で、[デスクトップ] をクリックします。
- ・ デスクトップの MSM アイコンをダブルクリックします。

Windows 10 / Windows 7

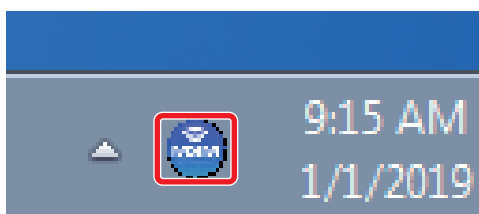
デスクトップの MSM アイコンをダブルクリックします。

Note

Windows のスタートメニューから起動する方法

- ・ Windows 8 / Windows 8.1
[スタート] 画面のタイルが表示されていないところで、右クリックしてアプリバーを表示し、[すべてのアプリ] をクリックします。
[MUTOH Status Monitor] をクリックします。
- ・ Windows 10 / Windows 7
[スタート] メニューから [すべてのプログラム] (または [すべてのアプリ]) - [MUTOH] - [MUTOH Status Monitor] の順にクリックします。

MSM の表示方法

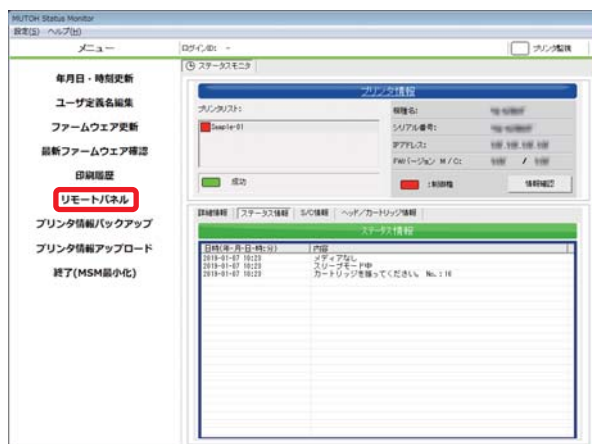


タスクトレイの MSM アイコンをダブルクリックします。

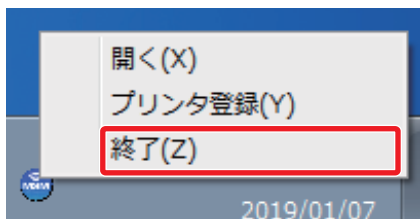
リモートパネルの表示方法

リモートパネルは、本製品の状態を見たり、操作したりするときに使用します。

- [リモートパネル] をクリックします。
- ・ リモートパネルが開きます。



MSM の終了方法



タスクトレイの MSM アイコンを右クリックし、[終了] をクリックします。

Note

通常のご使用時は MSM を終了させないでください。MSM の画面を閉じるときは、メニューバーの [設定] - [閉じる] の順にクリックします。

Windows 8.1


[スタート] 画面の下矢印 をクリックします。

[MUTOH Status Monitor] をクリックします。

Layout and Print Tool 2 の起動方法

Windows 8 / Window 8.1

デスクトップ上でチャームバーを表示し、[検索] をクリックします。

[Layout and Print Tool 2] と入力し、 をクリックします。

検索結果に表示された [Layout and Print Tool 2] のアイコンをクリックします。


Windows 10 / Windows 7

[スタート] メニューから [すべてのプログラム (または [すべてのアプリ])] - [MUTOH] - [Layout and Print Tool 2] の順にクリックします。

MUTOH Layer Editor の起動方法

Windows 8 / Window 8.1

デスクトップ上でチャームバーを表示し、[検索] をクリックします。

[MUTOH Layer Editor] と入力し、 をクリックします。

検索結果に表示された [MUTOH Layer Editor] のアイコンをクリックします。

Windows 10 / Windows 7

[スタート] メニューから [すべてのプログラム (または [すべてのアプリ])] - [MUTOH] - [MUTOH Layer Editor] の順にクリックします。

ヘルプの表示方法

プリンタードライバーはヘルプをご利用いただけます。

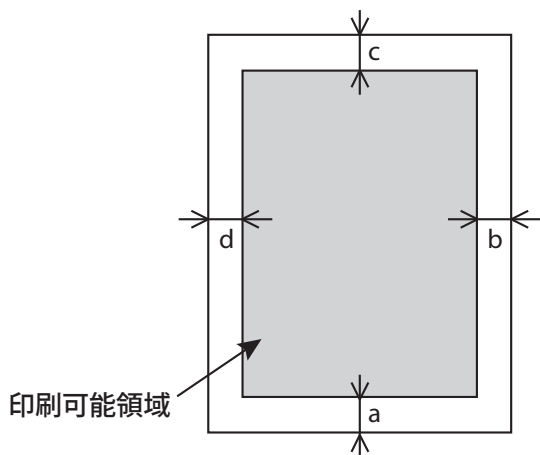
プリンタードライバーのヘルプ

プリンタードライバーの印刷設定画面を表示し、[ヘルプ] をクリックします。



本製品の印刷エリア

印刷は常に原点位置（印刷開始点）から開始します。下図は印刷結果の例です。



a=5 mm *¹
b=5 mm~25 mm
c=5 mm
d=5 mm~25 mm

*¹ ただし下記の場合は15 mmとなる

- メディアイニシャル直後
- メディア送りを[Backward ↑]キーで行ったとき

また、下記の場合は40 mmとなる

- メディア検出「Top&Width」設定時

使用できるメディアの条件

本製品は、以下のメディアを使用することができます。

使用可能サイズ

ロール紙をお使いの場合

外径	150 mm 以下
紙管径	2 インチまたは 3 インチ
重量	30 kg 以下
最大幅	1,625 mm
最小幅	182 mm
最大厚さ	16 mm (メディアの反り：1 mm 以下)

リジッドメディアをお使いの場合

長さ	200 mm ~ 1,200 mm
重量	15 kg 以下
最大幅	1,625 mm
最小幅	182 mm
最大厚さ	16 mm (メディアの反り：1 mm 以下)



Note

リジッドメディアをお使いの場合は、専用の搬送台（オプション）を用意してください。

 [「オプション・サプライ品リスト」P.159](#)

メディア取り扱い上のご注意

良好な画質を得るために、以下のことに十分注意してください。

以下の注意に従っていただけない場合、本製品の故障につながる恐れがあります。

- ・ 温度・湿度によるメディアの伸縮にご注意ください。
未開封のメディアは、開封後、約 30 分間放置して環境に慣らしてください。
- ・ シワや折れ、反りなどが無いメディアを使用して下さい。
端が折れているなど、平らにならないメディアを使用する場合、メディア押さえを使用して、浮いている部分がないようにしてください。
- ・ ロールメディアを本製品にセットした状態で、長時間放置しないでください。
癖がつき印刷に適さなくなることがあります。
長時間使用しない場合は、ロールメディアを取り外し、元の梱包箱に入れて保管してください。

ご使用上のお願い

電源をオフにしないでください

本製品は、電源を常時オンにしてご使用ください。使わないときは電源をオフにせず、かならずスリープモードにしてください。

スリープモードにすると、本製品は定期的に本体内部のインクを循環し、ヘッドクリーニングを自動で行います。スリープモードにしないと本体内部のインクが沈殿・凝固し、画質不良や故障の原因となります。



長期間（1か月以上）ご使用しない場合は、「お問い合わせ先」P.156までご連絡ください。

インクをかくはんしてください

インクパックは、はじめて使用する前にかくはんしてください。また、パネルメッセージに従って、定期的にかくはんする必要があります。

放置するとパック内部のインクが沈殿・凝固し、画質不良や故障の原因となります。


定期的にご使用してください

本製品は1週間に1度は使用することをおすすめいたします。

長時間放置するとプリントヘッドのノズルが詰まり、故障の原因となります。

定期メンテナンスを実施してください

本製品は日常のメンテナンスが必要です。

- 印刷前と後に、ノズルチェックを行ってください。
ノズル抜けがある場合はヘッドクリーニングを行ってください。
- 1日の作業終了後に、かならずデイリーメンテナンスを行ってください。
デイリーメンテナンスを行わない場合、画質不良や故障の原因となります。
 「デイリーメンテナンス」P.108
- 廃液タンクを定期的に確認し、満タンになる前に廃液を排出してください。
- 長時間（1週間以上）使用しない場合は、1週間に1度ヘッドクリーニングを行ってください。
- 1か月に1度は内部の清掃を行ってください。

インクの取り扱いに注意してください

- インクを取り扱う時は保護具（手袋、ゴーグルまたは保護メガネ、保護マスク、保護衣）を着用してください。
- インクをはじめて使用する前に、かならず安全データシート（SDS）をお読みの上、作業を行ってください。
- インクパックを分解しないでください。
分解すると、インクが目に入ったり皮膚に付着し、炎症やアレルギー反応を起こす場合があります。
- インクパックを落としたり、強く叩いたりしないでください。
インクが漏れる場合があります。
- インクを取り扱うときは、インクが目に入ったり、皮膚に付着しないように注意してください。
目に入ったり皮膚に付着した場合は、直ちに水で洗い流してください。
そのまま放置すると、目の充血や軽い炎症を起こす恐れがあります。万一異常がある場合は、直ちに医師にご相談ください。

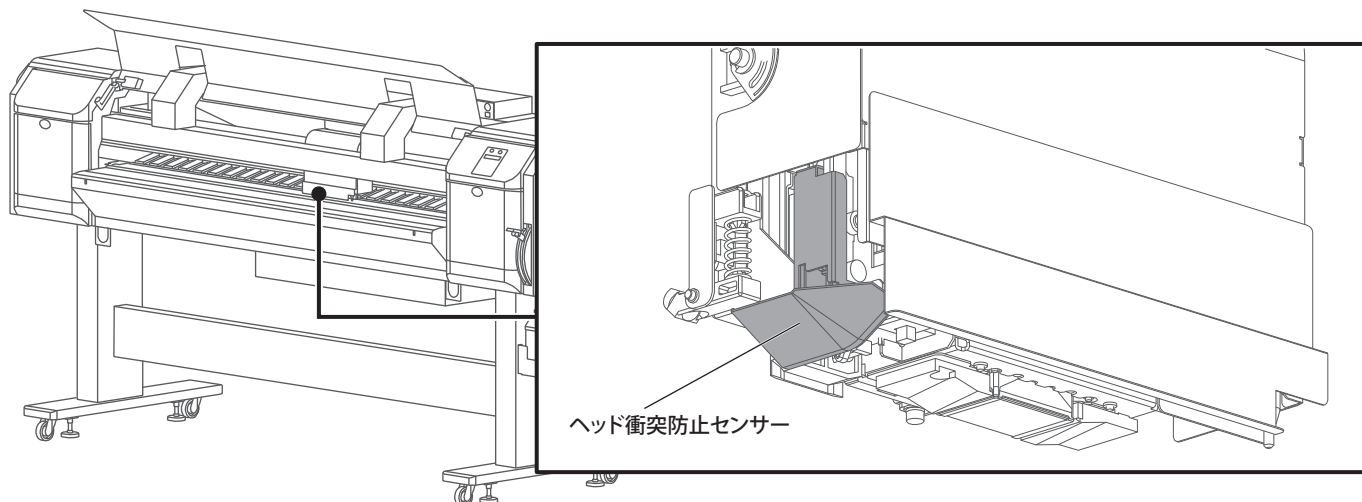
定期的な交換が必要な部品があります

本製品には、長期間のご使用により交換が必要になる部品があります。

- ユーザーによる交換が必要な部品：
フラッシングボックス用吸収材、クリーニングワイパー
- サービスマンによる交換が必要な部品：
各種モーター、各種ポンプ、プリントヘッド

ヘッド衝突防止センサーについて

本製品は、プリントヘッドの保護のため、ヘッド衝突防止センサーを搭載しています。



Important!

ヘッド衝突防止センサーは、プリントヘッドにメディア等が衝突し、破損することを防止するためのものです。ロールメディアの紙浮きが原因のヘッド擦れを防止することはできません。紙浮きが発生するメディアを使用する場合は、メディア押さえでメディアの端の浮きを防止するか、吸着ファンの設定を変更して、紙浮きが発生しない状態で印刷を行ってください。

👉 「メディアをセットしたら・・・」P.37、「**>4：吸着ファン」P.71

ヘッド衝突防止センサーが反応したときは

メディアイニシャル中の場合：

- [1] キャリッジの動作を停止します。
 - ・自動でキャリッジの高さが最大まで上昇し、ホームポジションに移動しキャップインします。
- [2]

ショウガイブツケンシュツ	→	E
--------------	---	---

 左のメッセージが表示されます。
- [3] 障害物を取り除き、[Enter] キーを押します。
- [4] メディアセットをやり直します。

印刷中の場合：

- [1] キャリッジの動作を停止します。
 - ・自動でキャリッジの高さが最大まで上昇し、ホームポジションに移動しキャップインします。
- [2]

ショウガイブツケンシュツ	→	E
--------------	---	---

 左のメッセージが表示されます。
- [3] 障害物を取り除き、[Enter] キーを押します。
- [4]

サクガサイカイ?	イイエ
----------	-----

 左のメッセージが表示されます。
 - ・印刷を終了する場合は、[Enter] キーを押します。

- [5]

サクガサイカイ?	ハイ
----------	----

 印刷を再開する場合は、[+]キー / [-]キーで「サクガサイカイ? ハイ」を選択して、[Enter]キーを押します。
- [6]

ヘンコウ:	X.X mm	->
-------	--------	----

 左のメッセージが表示されます。
・ [+]キー / [-]キーで高さ補正を行い、[Enter]キーを押します。
- [7]


タカサホセイヲホゾンシマスカ?	イエ
-----------------	----

 左のメッセージが表示されます。
・ 入力したメディア厚補正值で、ユーザ定義のメディア厚補正值を上書きしないで印刷する場合は、[Enter]キーを押します。
- [8]

タカサホセイヲホゾンシマスカ?	ハイ
-----------------	----

 入力したメディア厚補正值で、ユーザ定義のメディア厚補正值を上書きする場合は、[+]キー / [-]キーで「タカサホセイヲホゾンシマスカ? ハイ」を選択して、[Enter]キーを押します。
- [9] 印刷を再開します。
・ 再びセンサーが障害物を検出すると、「ショウガイブツケンシュツ -> E」と表示されます。
メディア厚補正值を調整してください。
・ 繰り返し障害物が検出される場合は、「サクガサイカイ? イイエ」を選択し、印刷を終了して、センサーに異常がないことを確認します。

 Note

- ・ 障害物が検出された場合は、障害物を取り除いてください。繰り返し障害物が検出される場合は、センサーに異常がないことを確認します。
 - ・ センサーの下面にインクが付着した場合は、以下の手順を参考に、清掃を行ってください。インクが堆積すると、障害物の検出を正しく行えなくなる恐れがあります。
-  「デイリーメンテナンス後も印刷を行う場合の手順」P.118、「ヘッド衝突防止センサーを清掃する」P.115

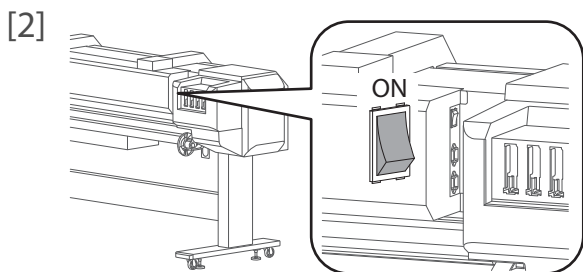
 Important!

ヘッド衝突防止センサーが反応して印刷が中断した場合や、印刷を再開した場合は、印刷品質は保証できません。

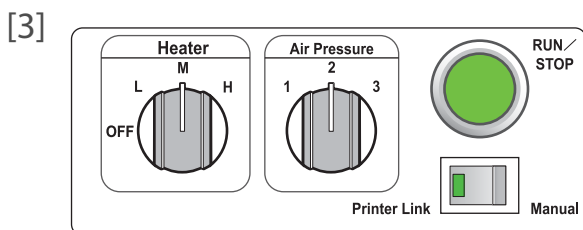
電源のオンオフ

電源をオンにする

[1] フロントカバーを閉じます。

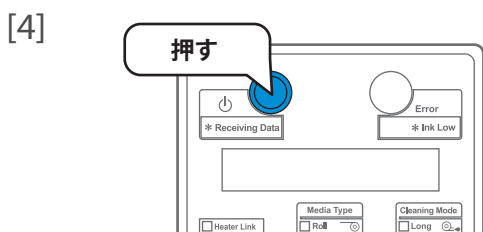


製品背面のブローヒーターの電源をオンにします。



製品正面のブローヒーターのリンクスイッチを「Printer Link」にします。

- ・リンクスイッチが点滅します。



本製品の電源ボタンを押します。

- ・青色のランプが点灯します。
- ・本製品が初期動作を開始します。

電源をオフにする

Important!

・本製品は、電源を常時オンにしてご使用ください。使わないときは電源をオフにせず、かならずスリープモードにしてください。スリープモードにしないと本体内部のインクが沈殿・凝固し、画質不良や故障の原因となります。

👉 「スリープモード」P.31

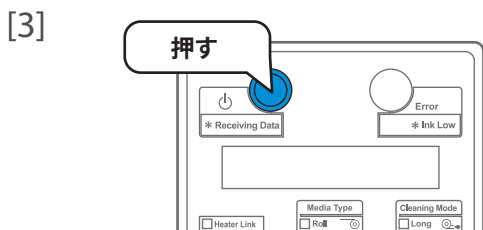
・本製品を使用しない期間が2週間以上の場合は、「長期保存」を行ってください。

👉 「長期保存と初期充電」P.131

[1] 印刷が終了し、メディアが取り外されていることを確認します。

[2] デイリーメンテナンスに必要なものを準備します。

👉 「デイリーメンテナンスの準備」P.109



本製品の電源ボタンを押します。

- ・本製品が電源オフ動作を開始します。
- ・青色のランプが消灯します。

[4]

デイリーメンテナンス:	Start
-------------	-------

[Enter] キーを押します。

[5]

アライナガシ シマスカ?:	イイエ
---------------	-----

4色設定でお使いの場合、クリーニングワイパーユニットおよびフラッシングボックスを洗浄液で洗い流すかどうかを選択します。

アライナガシ シマスカ?:	ハイ
---------------	----

- ・「アライナガシ シマスカ? イイエ」: 洗い流しを行いません。
- ・「アライナガシ シマスカ? ハイ」: 洗い流しを行います。

 Note

洗い流しを行うことで、フラッシングボックス吸収材の交換までの寿命をのばすことができます。ただしプリントヘッド内のインクが洗浄液により排出されるため、インクを消費します。

[6]

クリーニングチュウ	** %
-----------	------

自動で微量クリーニングを行います。


シバラクオマチクダサイ

- ・キャリッジがメンテナンス位置へ移動します。
- ・クリーニングワイパーが上側へ移動します。

[7]

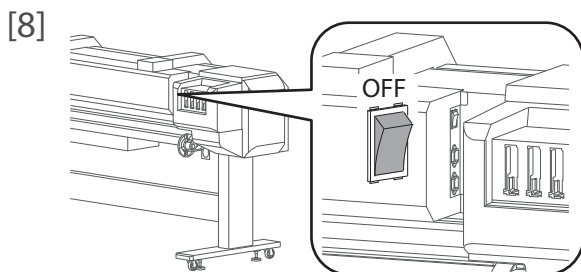
デイリーメンテナンス:	End
-------------	-----

左のメッセージが表示されます。

- ・デイリーメンテナンスを行います。
 「[デイリーメンテナンスを行う](#)」P.111
- ・メンテナンス終了後、[Enter] キーを押します。

デンゲンシャダンチュウ

本製品が電源オフ動作を開始します。



ブローヒーターの電源をオフにします。

スリープモード

本製品を使わないときは、電源をオフにせず、かならずスリープモードにしてください。スリープモードにしないと本体内部のインクが沈殿・凝固し、画質不良や故障の原因になります。

また、スリープモードにする前は、操作パネルの指示に従って、かならずデイリーメンテナンスを行ってください。

スリープモード中は以下の動作を行います。

- ・ プリンター内にあるインクの一部を循環する（24 時間ごと）
- ・ インクの微量充てん（週 1 回）

Important!

- ・ スリープモードは 2 週間以上継続しないでください。
本製品を使用しない期間が 2 週間以上の場合は、「長期保存」を行ってください。
👉 「[長期保存と初期充てん](#)」P. 131
- ・ スリープモードを 1 週間以上継続するような場合は、1 週間に 1 度、以下のお手入れを行ってください。
 - ・ インクをかくはんする。
👉 「[インクをかくはんする](#)」P. 99
 - ・ スリープモードを解除する（プリンターが微量充てんを自動的に行います）。
 - ・ ノズルチェックを行い、プリントヘッドに目詰まりがないことを確認する。
 - ・ デイリーメンテナンスを行い、スリープモードにする。

スリープモードを開始する

手順

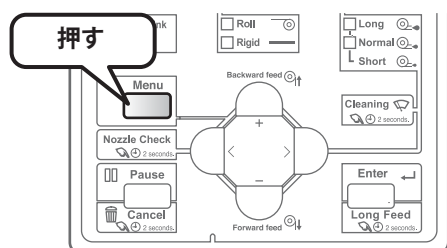
- [1] 製品の動作状態について以下を確認します。
 - ・ フロントカバー、メンテナンスカバーが閉じていること。
 - ・ メディアが取り外されていること。
 - ・ インクパックの残量が十分にあること。
 - ・ 廃液タンクの空き容量が十分にあること。

Important!

長時間スリープモードを継続する場合は、廃液タンクから廃液を排出してください。

- [2] デイリーメンテナンスに必要なものを準備します。
👉 「[デイリーメンテナンスの準備](#)」P. 109

- [3] [Menu] キーを押します。



- [4]

メニュー1:	スリープモード>
--------	----------

 [>] キーを押します。
- [5]

スリープモード:	スタート
----------	------

 [Enter] キーを押します。
- [6]

スリープモードヲカイシマスカ?

 [Enter] キーを押します。
- [7]

デイリーメンテナンス:	Start
-------------	-------

 [Enter] キーを押します。
- [8]

アライナガシ シマスカ?:	イイエ
---------------	-----

アライナガシ シマスカ?:	ハイ
---------------	----

 - 4色設定でお使いの場合、クリーニングワイパーユニットおよびフラッシングボックスを洗浄液で洗い流すかどうかを選択します。
 - ・「アライナガシ シマスカ? イイエ」：洗い流しを行いません。
 - ・「アライナガシ シマスカ? ハイ」：洗い流しを行います。

 **Note**

洗い流しを行うことで、フラッシングボックス吸収材の交換までの寿命をのばすことができます。ただしプリントヘッド内のインクが洗浄液により排出されるため、インクを消費します。

- [9]

クリーニングチュウ	** %
-----------	------

 自動で微量クリーニングを行います。
- | |
|-------------|
| シバラクオマチクダサイ |
|-------------|

 - ・キャリッジがメンテナンス位置へ移動します。
 - ・クリーニングワイパーが上側へ移動します。
- [10]

デイリーメンテナンス:	End
-------------	-----

 左のメッセージが表示されます。
- ・デイリーメンテナンスを行います。
 - ☞ 「[デイリーメンテナンスを行う](#)」P.111
 - ・メンテナンス終了後、[Enter] キーを押します。
- | |
|-----------------|
| Enter デ サイカイシマス |
|-----------------|

 - スリープモードを開始します。
 - ・スリープモードから復帰する場合は、[Enter] キーを押します。

 **Note**

- ・スリープモード中は、電源ボタンが青色に点滅します。
- ・ブローヒーターは、冷却のため停止するまでに時間がかかる場合があります。
- ・ブローヒーターは、Manual モード時は手動で停止してください。
- ・本製品は、スリープモード、または電源オフからの復帰時に、自動でヘッドクリーニングや充電を行うことがあります。動作は経過時間により異なります。この動作はスリープモードの設定によるものではなく、本製品の自動メンテナンス機能によるものです。

 Important!

スリープモードに設定してから1週間が経過すると、以下のメッセージが表示されます。


- ・「ノズルチェックヲ シテクダサイ → E」

以下の手順に従って、ノズルチェックを行い、ノズル抜けがないことを確認してください。

- ・ [Enter] キーを押して、スリープモードを解除します。
- ・ 操作パネルのメッセージに従って、インクをかくはんします。
- ・ ノズルチェック用のメディアをセットし、ノズルチェックを行います。

 「ノズルチェック」P.43

- ・ ノズル抜けがある場合は、ヘッドクリーニングを行います。

 「クリーニング」P.45

再び、スリープモードに設定します。

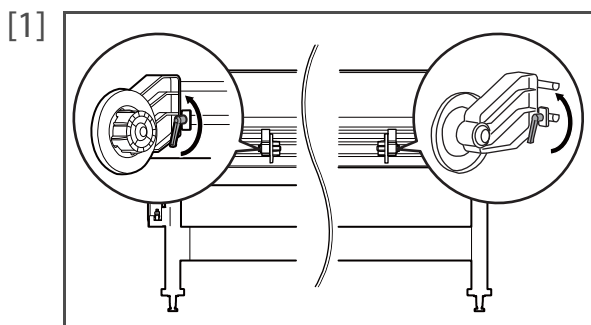
メディアのセット方法

プリンターにメディアをセットする（ロール紙の場合）

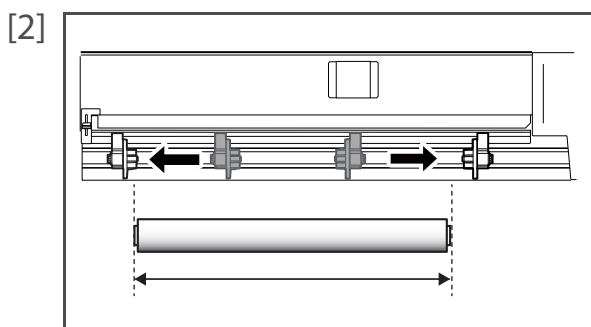
Important!

メディアをセットする場合は、セットするメディアに合わせて、2人以上で作業することをおすすめします。

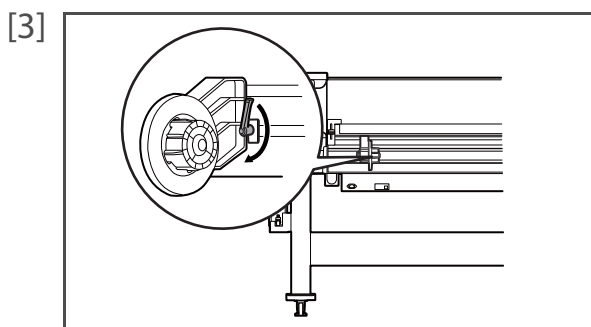
1. ロール紙受けにメディアを取り付ける



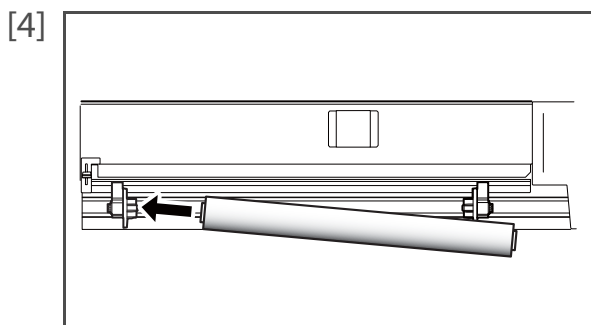
プリンター背面の左右のロール紙受けの固定レバーを緩めます。



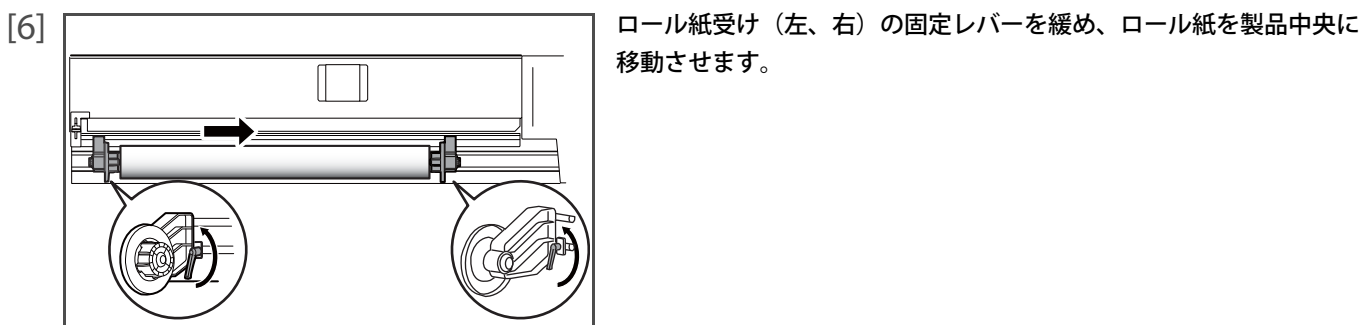
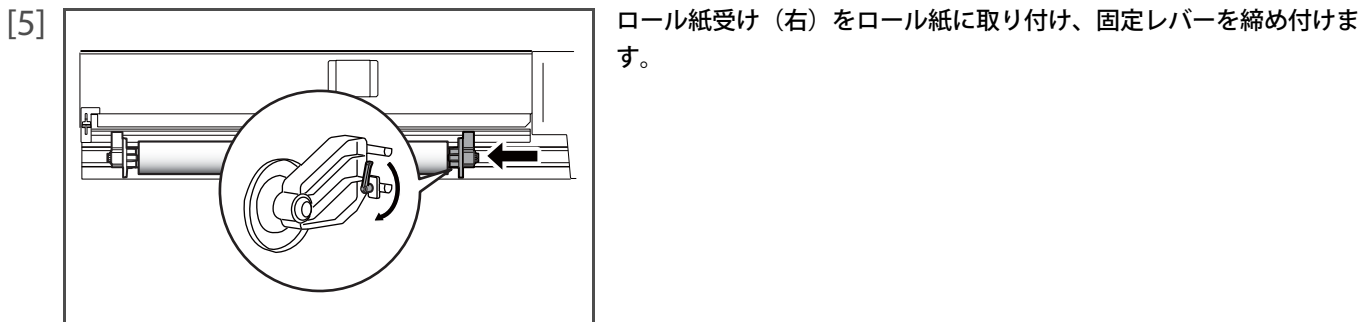
左右のロール紙受けの間隔を、セットするロール紙幅より大きく広げます。



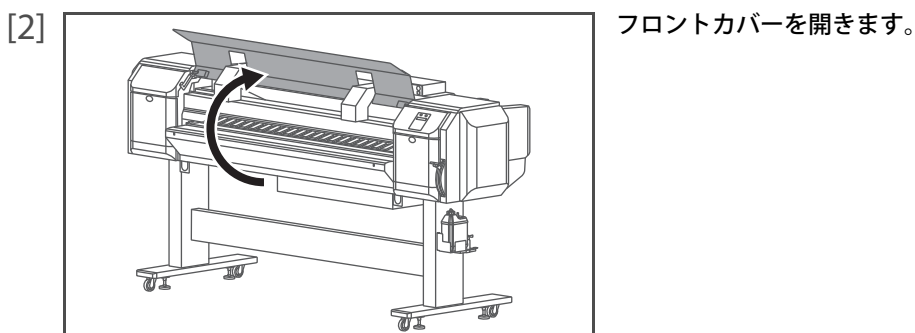
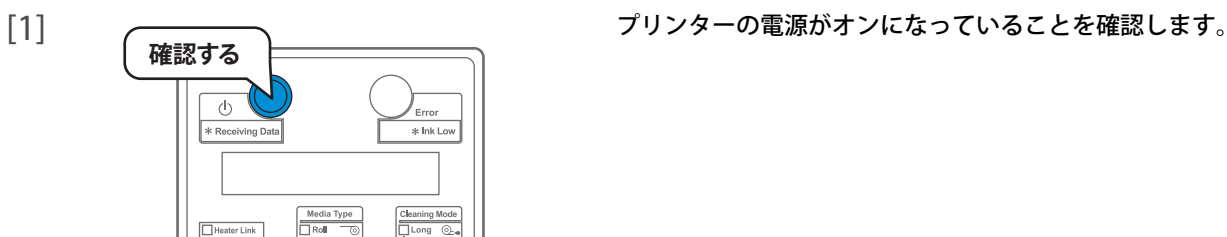
ロール紙受け（左）の固定レバーを締め付け、ロール紙受け（左）を固定します。

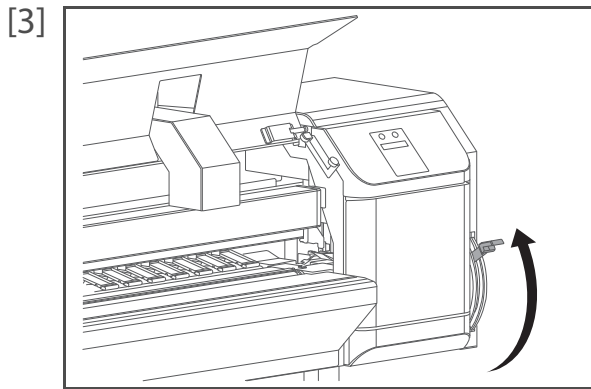


ロール紙をロール紙受け（左）に取り付けます。

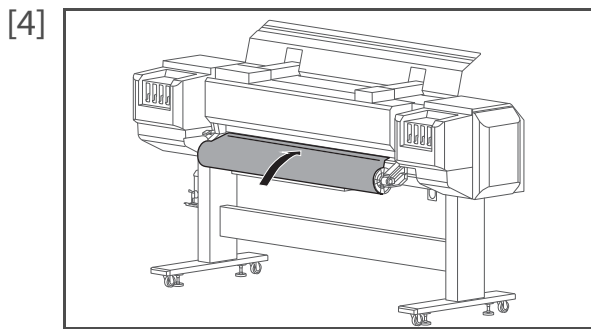


2. プリンターにメディアをセットする





メディアセットレバーを上げます。

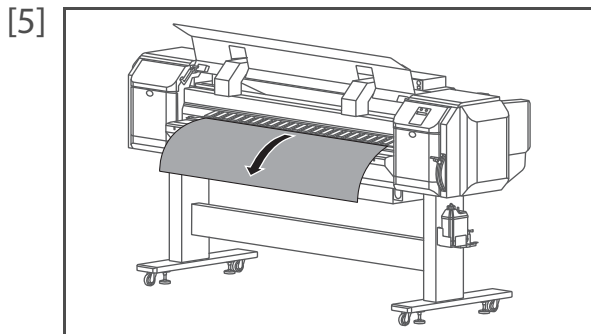


メディアを給紙スロットに差し込みます。

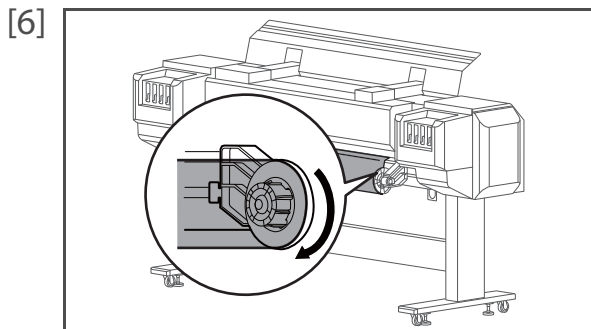


Note

ロール紙端に巻乱れがある場合は、巻きなおしてからセットしてください。



正面側の給紙スロットから、メディアを約 1m 引き出します。

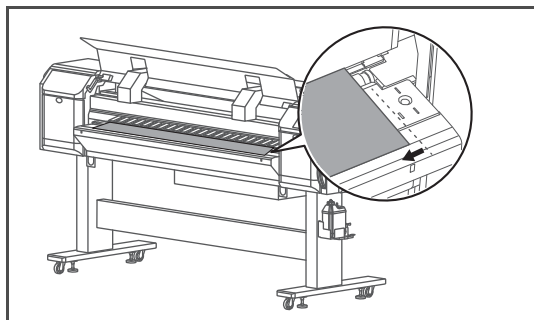


メディア先端を押さえながら、ロール紙受けのフランジを回してロール紙を少し巻き戻し、メディアのたわみおよび斜行を取り除きます。



Note

メディアを巻き戻している途中で手を放すと、メディアが給紙スロットから抜けて製品背面側に落ちることがあります。



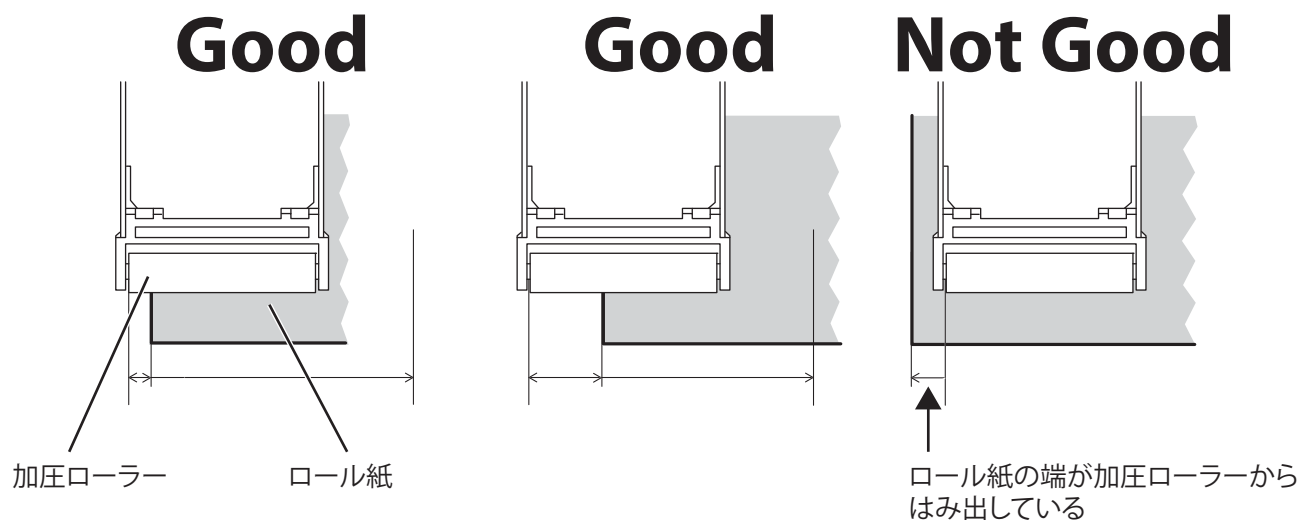
メディアの右端がメディアセット目安よりも右側に入らないようにしてください。印刷品質に影響する場合があります。

3. メディアをセットしたら・・・

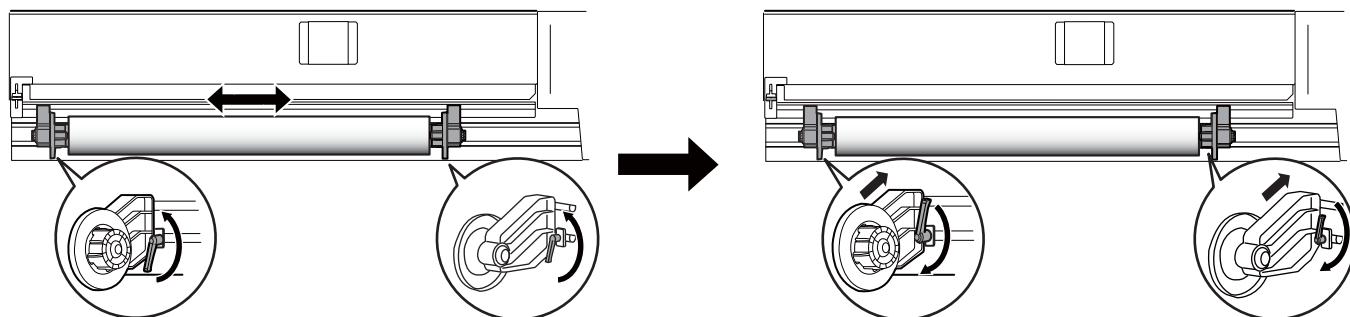
- [1] **メディアヲセットシテクダサイ** 操作パネルに「メディアヲセットシテクダサイ」と表示されます。

- [2]  メディアセットレバーを下げます。

- [3] メディアの端が加圧ローラーに適切に押さえられていることを確認します。

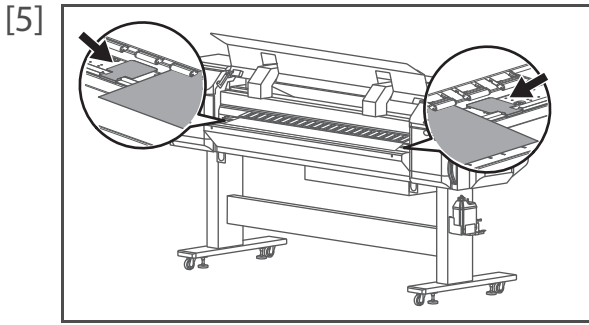


- [4] メディアが適切に押さえられていない場合は、以下の手順に従って、メディアの位置を調整してください。
- メディアセットレバーを上げます。
 - ロール紙受け（左、右）の固定レバーを緩め、ロール紙を左または右に動かします。
 - ロール紙受けをプリンター側に押しつけながら、ロール紙受け（左、右）の固定レバーを締め付けます。



Note

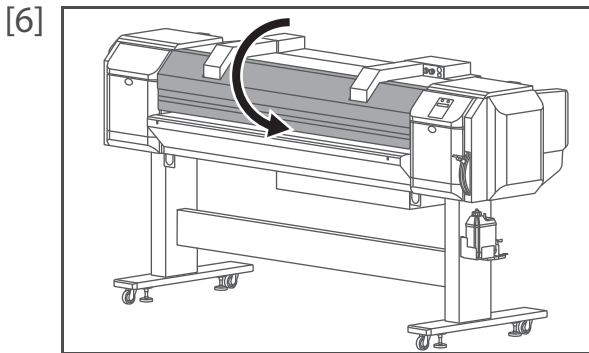
- メディアが適切に押さえられていない場合、印刷時にメディアのズレ、シワ等が発生する恐れがあります。
- 固定レバーを締め付けるときに、ロール紙受けをプリンター側に押し付けてください。押し付けないと、ロール紙の重みでレバーが完全にロックできない場合があります。



メディアの両端にメディア押さえをセットします。

Important!

初期設定では、メディアの端から 5 mm の部分から印刷を行います。
メディア押さえは、メディアと重なる部分が 5 mm 未満になるようにセットしてください。



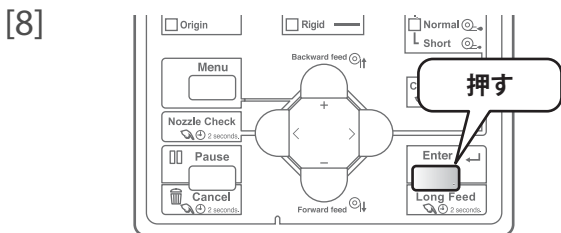
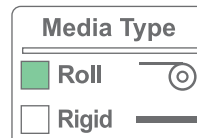
フロントカバーを閉じます。



操作パネルに「シユルイ： Type ** OK?」と表示されます。

- 使用するユーザ定義を [+] キー / [-] キーで選択します。
- ユーザ定義のメディア種類が「ロール紙」に設定されていることを確認してください。

「** > 10：メディア種類」P.73



[Enter] キーを押して、メディアイニシャルを実行します。

- メディアセットを終了します。

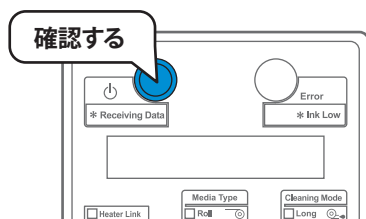
プリンターにメディアをセットする（リジッドメディアの場合）

Important!

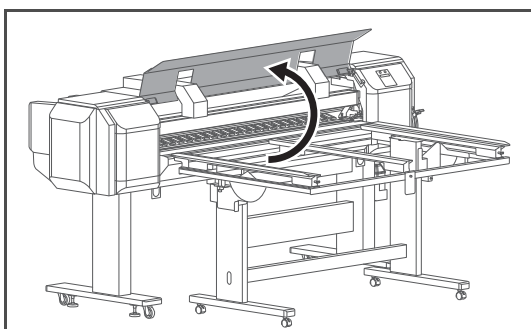
メディアをセットする場合は、セットするメディアに合わせて、2人以上で作業することをおすすめします。

1. リジッドメディアをセットする

- [1] プリンターの電源がオンになっていることを確認します。



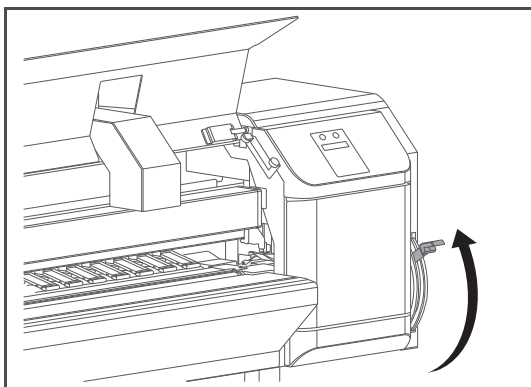
- [2] フロントカバーを開きます。



Note

かならずフロントカバーが開いている状態で、リジッドメディアをセットしてください。
閉じている状態でリジッドメディアをセットすると、正常に動作しなくなる恐れがあります。

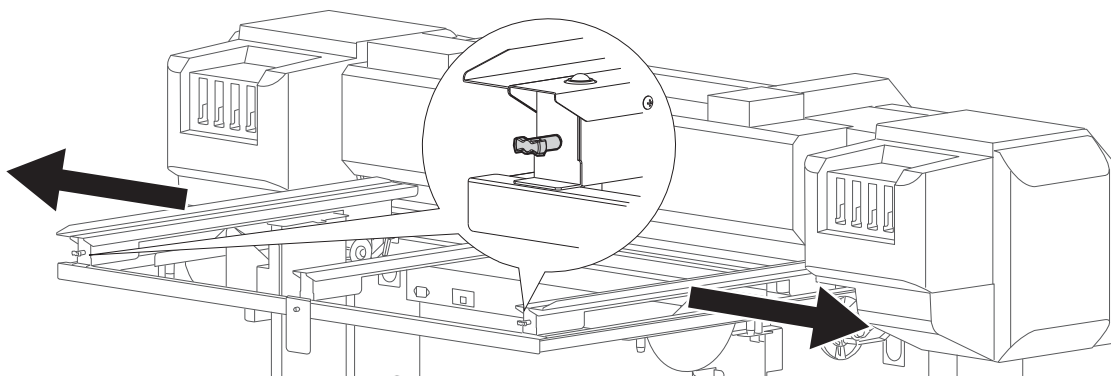
- [3] メディアセットレバーを上げます。



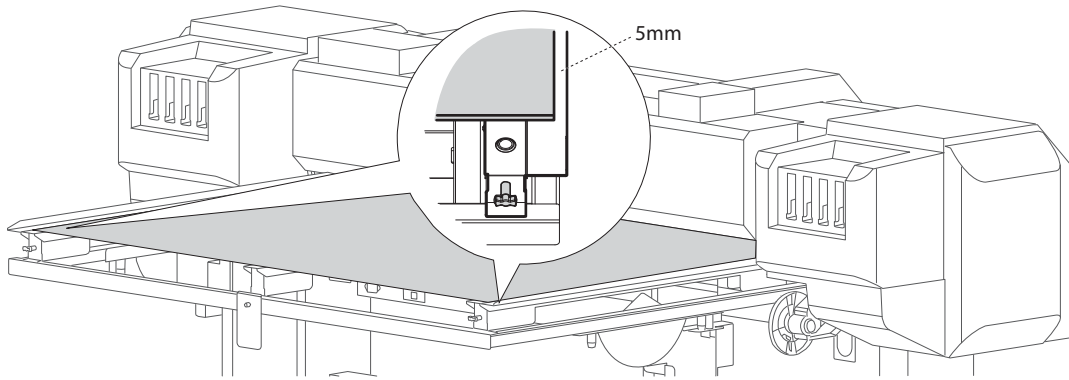
Note

簡略化のため、イラストでは搬送台を省略しています。

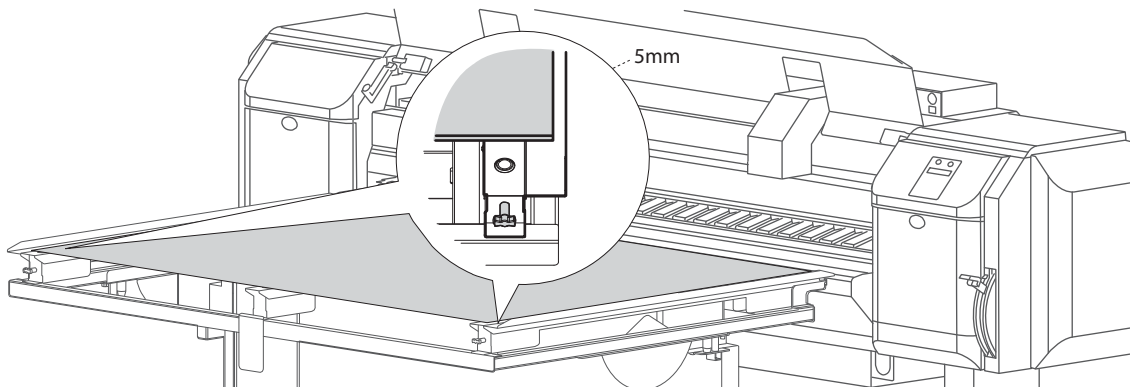
- [4] 搬送台（背面側）のレール固定ネジをゆるめ、リジッドメディアが置けるようにレールを左右に広げます。
リジッドメディアはプリンター中央にセットされるようにします。



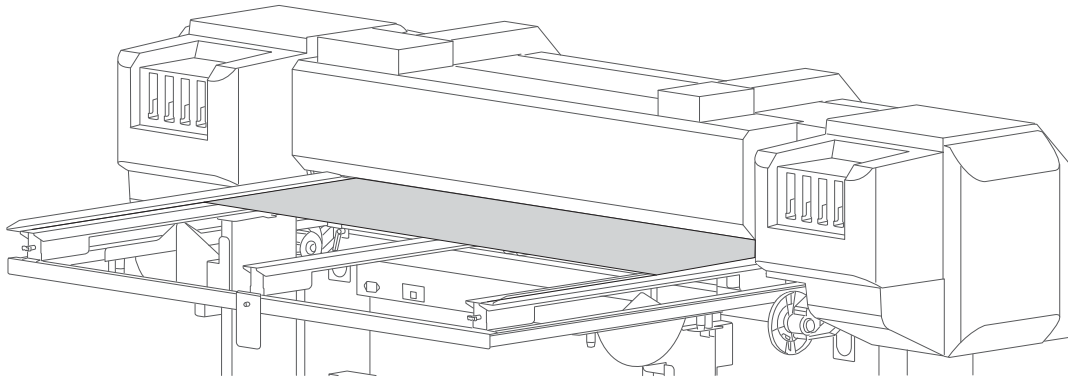
- [5] レール上にリジッドメディアを載せ、左右のストッパーとリジッドメディアの隙間が 5mm 以上ある位置で、レール固定ネジを締め付けます。



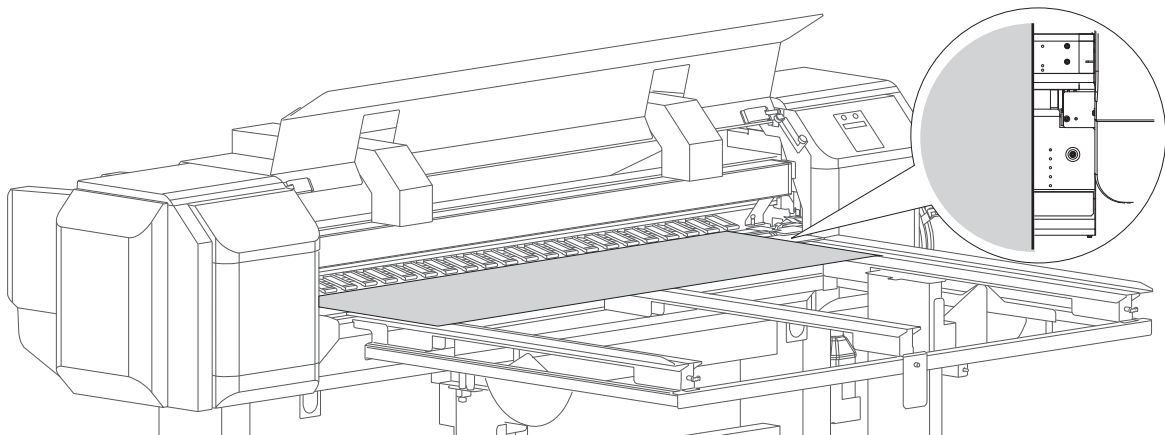
- [6] 搬送台（前側）も同様に、リジッドメディアを載せてみて、左右のストッパーとメディアとの隙間が 5mm 以上ある位置でレールを固定してください。



- [7] プリンター背面側から、リジッドメディアを給紙スロットに差し込みます。

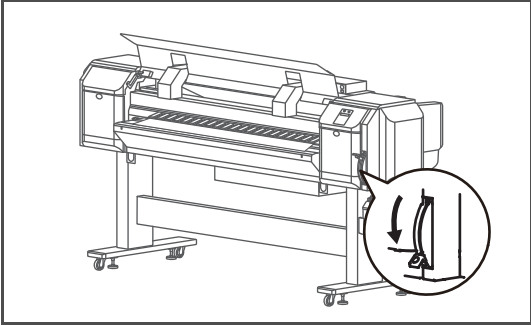


- [8] 正面から見て、メディアの右端が用紙セット目安より右側に入ってしまう場合は、搬送台のレールの位置を調節してください。



2. メディアをセットしたら・・・

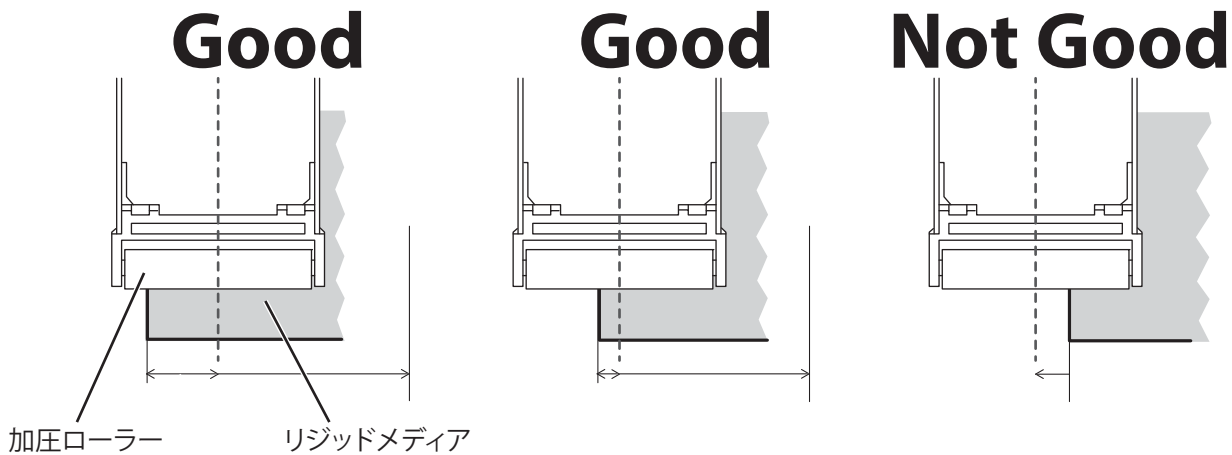
[1] **メディアヲセットシテクダサイ** 操作パネルに「メディアヲセットシテクダサイ」と表示されます。

[2]  メディアセットレバーを下げます。
・メディアセットレバーは、下方に押しつけるようにしてしっかり下げてください。

 Note

簡略化のため、イラストでは搬送台を省略しています。

[3] メディアの端が加圧ローラーに適切に押さえられていることを確認します。
メディアの両端が加圧ローラに半分以上かかっていない場合は、搬送台のレールの位置を調節してください。

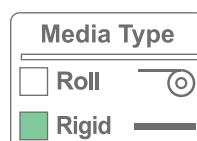


[4]  フロントカバーを閉じます。
 Note
簡略化のため、イラストでは搬送台を省略しています。

[5] **シュルイ: Type ** OK?** 操作パネルに「シュルイ: Type ** OK?」と表示されます。

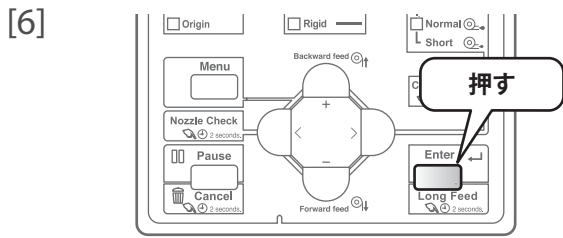
- ・使用するユーザ定義を [+] キー / [-] キーで選択します。
- ・ユーザ定義のメディア種類が「リジッド」に設定されていることを確認してください。

 「** > 10: メディア種類」P.73

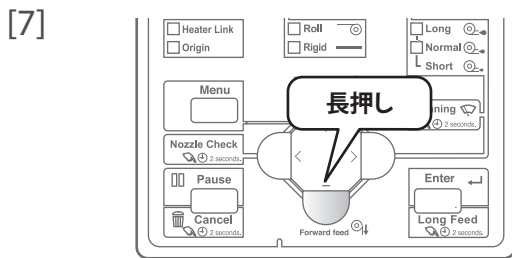


 Note

メディア種類が「リジッド」に設定されていない場合は、「メニュー2：ユーザティギ>」-「ユーザ：Type*」-「** > 10：メディアシュルイ」から「メディアシュルイ：リジッド」を選択してください。

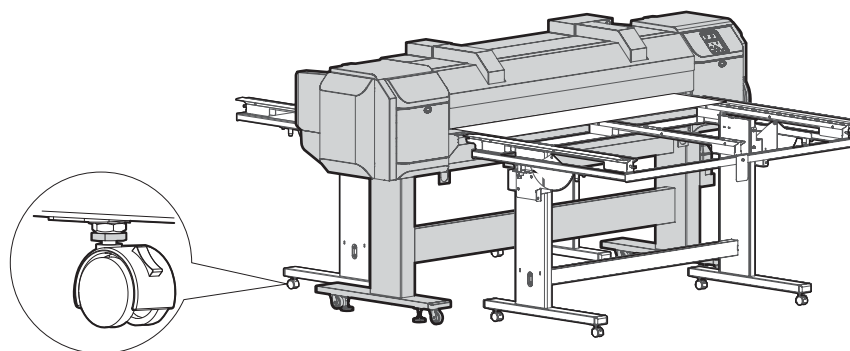


[Enter] キーを押して、メディアイニシャルを実行します。
• メディアセットを終了します。

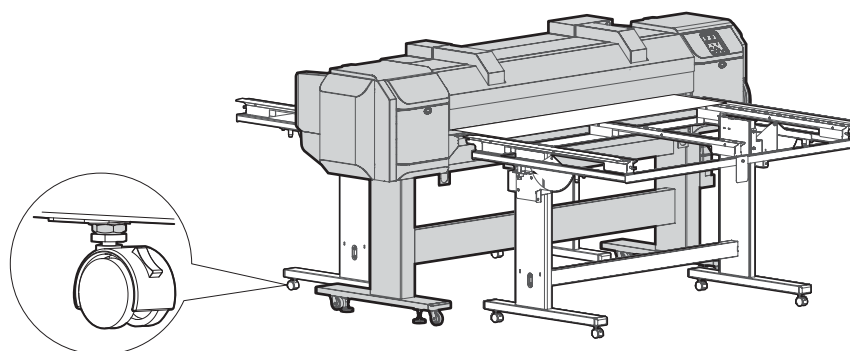


[-] キーを長押しして、リジッドメディアが問題なく搬送できることを確認します。

[8] 搬送不良がある場合は、前後の搬送台のキャスター（各4箇所）のネジをスパナで回して、高さを少しずつ上げ、搬送ができる位置に調節してください。



[9] 調整後、搬送台のキャスター（4箇所）の六角ナットを、搬送台のテーブルに向かってスパナで締めます。
• キャスターの高さが固定されます。



ノズルチェックとクリーニング

毎日の作業前にノズルチェックをしてください。ノズル抜けがあるときは、クリーニングをしてください。

本製品のノズルチェックには下記の種類があります。

- ・ ノズルチェック：ノズルチェックを印刷します。
- ・ ノズルチェック B：一部のノズルチェックパターンの背景に色をつけて印刷します。

Note

- ・ 5色設定時のみ、メニューに「ノズルチェック B」を表示します。
- ・ ホワイトインクを使用する場合は、有色メディアや、透明または半透明のメディア（OHP フィルム、トレーシングペーパーなど）をおすすめします。

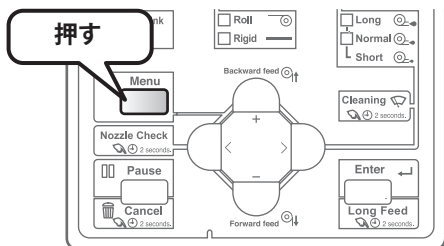
ノズルチェック

ノズルチェックの手順

- [1] ノズルチェックで使用するメディアをセットします。

👉 「メディアのセット方法」P.34

- [2]  [Menu] キーを押します。



- [3]

メニュー4:	テストサクガ >
--------	----------

 [-] キーを何回か押して、左の表示にします。

- ・ [>] キーを押します。

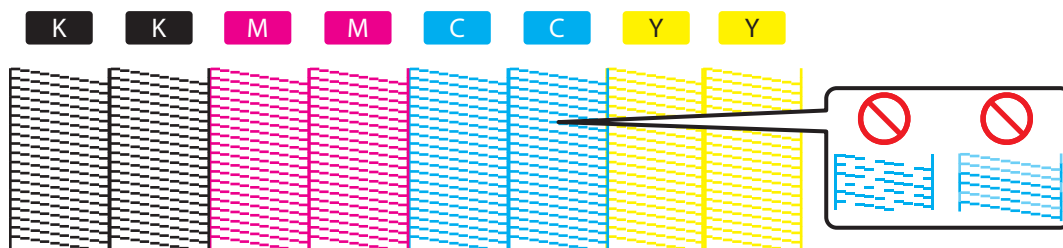
- [4]

テスト1:	ノズルチェック
-------	---------

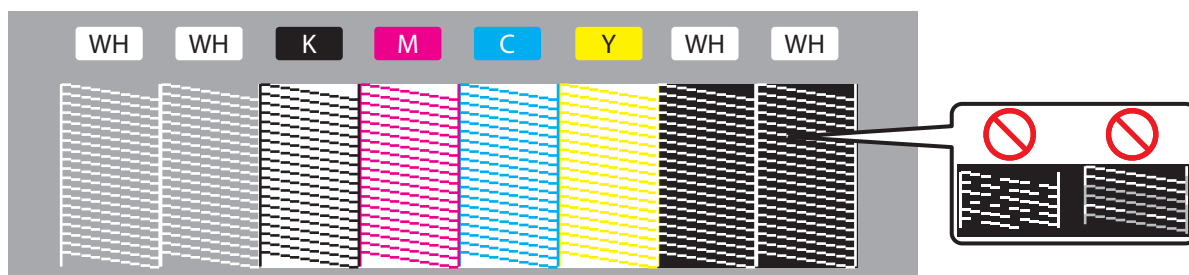
テスト2:	ノズルチェックB
-------	----------

 [Enter] キーを押します。
- ・ ノズルチェック B を選択する場合は、[-] キーを押してノズルチェック B を表示してから [Enter] キーを押してください。
 - ・ ノズルチェックを印刷します。

- [5] パターンを確認します。
- ・ノズル抜け（線が抜けている）があったり、線がかすれている場合は、「クリーニングの手順」P.45 に進みます。
 - ・パターンが正常に印刷されている場合は、印刷を開始できます。
 - ・下図は 4 色設定時のノズルチェックの印刷例です。



- ・ノズルチェック B の場合、ノズルチェックパターンの背景の一部に色がつきます。
- ・下図はノズルチェック B の印刷例です。この例では、背景に色がつかない部分をグレーにしています。



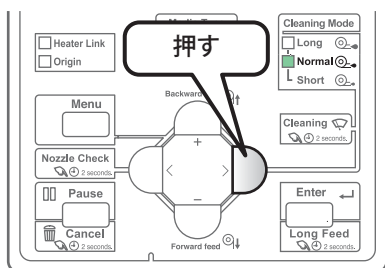
 Note

プリンター情報（印刷時刻、シリアル番号、ファームウェアバージョン）が印刷されます。

クリーニング

クリーニングの手順

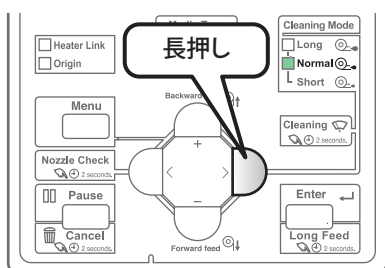
[1]



[Cleaning] キーを押して、[Cleaning Mode] ランプが [Normal] に点灯しているようにします。

- ・クリーニングモードが「通常」に設定されます。

[2]



[Cleaning] キーを 2 秒以上長押しします。

- ・クリーニングを開始します。

[3] もう一度、ノズルチェックを行います。

 「ノズルチェックの手順」P.43

- ・ノズル抜けが直らない場合は、通常クリーニングを繰り返してください。「微量」「強力」「微量充てん」「初期充てん」については、「ヘッドクリーニング」P.120 を参照してください。

印刷精度の調整

初回の印刷を開始する前に、印刷精度の調整を行ってください。

画質調整

プリントヘッドの往復動作のズレを、本メニューの調整パターンの印刷結果で確認し、調整することができます。

本メニューには以下の調整方式があります。

チョウセイサクガ1:	Standard
------------	----------

現在のユーザ定義で使用している作画モードのみを調整します。
Standard で調整したときは、RIP 側の作画モードの解像度、パス数、作画方向をユーザ定義の作画モードと同じにしてください。

チョウセイサクガ2:	Custom
------------	--------

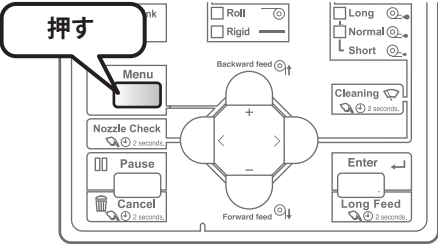
現在のユーザ定義で使用している作画モード以外の作画モードでも調整できます。
RIP 側の作画モードがユーザ定義の作画モードと違っていても、画質が最適になります。

Note

- 製品の設置環境、使用するメディア等を変更して、作画画質が変化した場合に、画質調整を行ってください。
- Standard 画質調整を行った後に、作画モードを変更する場合は、かならず画質調整も合わせて行ってください。
- Custom 画質調整を行った場合は、すべての作画モードを一度に調整するため、作画モードを変更しても画質調整は不要です。
- RIP ソフトなどで、ユーザ定義での設定とは異なる作画モードを指定するような場合は、Custom 画質調整であらかじめすべてのパターン（A～I）に対して調整を行っておいてください。

画質調整の手順

- [1] メディアをセットします。
☞ 「メディアのセット方法」P.34

- [2]  [Menu] キーを押します。

- [3]

メニュー1:	スリープモード >
--------	-----------

 [-] キーを押します。

- [4]

メニュー2:	ユーザティギ >
--------	----------

 [>] キーを押します。

- [5]

ユーザ:	Type 1
------	--------

 [+] キー / [-] キーで使用するユーザ定義を選びます。
• [Enter] キーを押します。

- [6]

**> 2:	チョウセイサクガ >
--------	------------

 [-] キーを何回か押して、左の表示にします。
• [>] キーを押します。

- [7]

チョウセイサクガ1:	Standard
------------	----------

 [+] キー / [-] キーで調整方式を選択します。
• [Enter] キーを押します。

チョウセイサクガ2:	Custom
------------	--------

Note

Standard 画質調整と Custom 画質調整では、選択するパターンの名称が異なります。詳しくは以下のページを参照してください。

☞ 「調整作画 1 : Standard」P.64

☞ 「調整作画 2 : Custom」P.65

調整前の確認を行う場合は、「カクニンパターン」を選択します。

「カクニンパターン」の印刷結果を確認し、

- ズレ量が大いと思われる場合は、「ソチョウセイパターン」を選択します。
- ズレ量が小さいと思われる場合は、「チョウセイパターン」を選択します。

- [8] 以下の手順に従って、調整します。
☞ 「手順」P.66

メディア送り補正

次の場合には、この調整をかならず行ってください。

- ・ 本製品をはじめて使用するとき。
- ・ メディアの種類を変更するとき。

それ以外の場合は、「ノズルチェックとクリーニング」P.43 に進んでください。

この調整には定規を使用します。市販の定規をご用意ください。



Note

印刷結果に次のような不具合があるときも、メディア送り補正を行うと改善する場合があります。

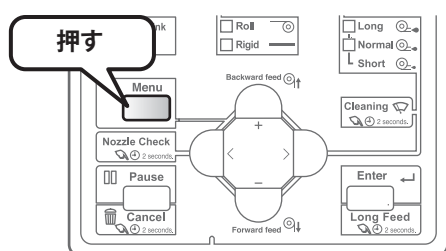
- ・ 画像が重なっている。
- ・ 画像に白いスジが入っている。

メディア送り補正の手順

- [1] メディアをセットします。

「メディアのセット方法」P.34

- [2]



[Menu] キーを押します。

- [3]



[-] キーを押します。

- [4]



[>] キーを押します。

- [5]



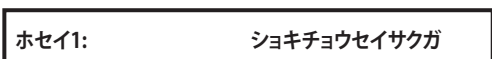
[-] キーを何回か押して、使用するユーザ定義を選びます。
・ [Enter] キーを押します。

- [6]

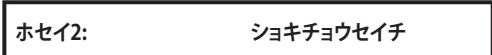


[-] キーを何回か押して、左の画面にします。
・ [>] キーを押します。

- [7]



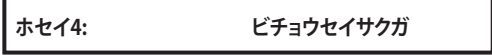
[+] キー / [-] キーでメニューを選択します。



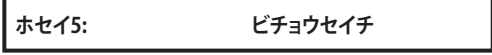
・ [Enter] キーを押します。



・ 以下の手順に従って、調整します。

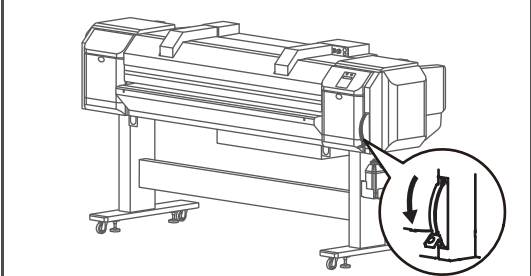


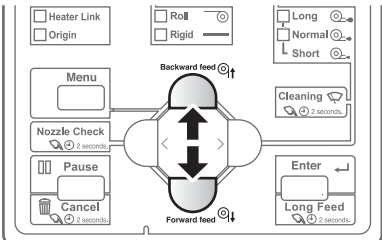
「手順」P.68



操作パネルからの各種操作

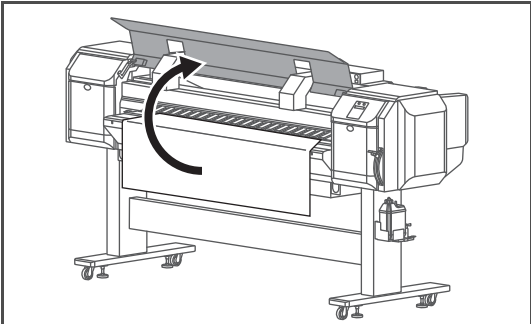
メディア送りとメディアのカット

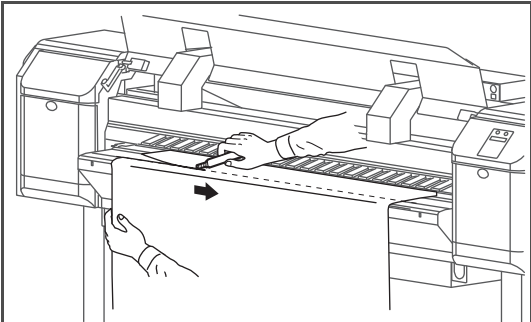
[1] メディアセットレバーが下がっていることを確認します。

[2] 操作パネルの [Forward] キーまたは [Backward] キーを押します。

- [Forward] キー：メディアが順方向に送られます。
- [Backward] キー：メディアが逆方向に送られます。

[3] メディアを任意の位置まで送ったら、操作パネルの [Forward ↓] キーまたは [Backward ↑] キーをはなします。

[4] フロントカバーを開きます。

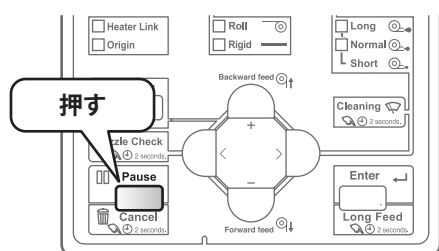
[5] メディアガイド上にあるメディアカット溝に沿うように、市販のカッターの刃を当て、メディアをカットします。

⚠ 注意

❗ メディアをカットする場合は、以下の事項に注意してください。取り扱いを誤ると、カッターで指や手を切る可能性があります。

- メディアを押える場合は、メディアカット溝の上に指を乗せない
- カッターはメディアカット溝に沿ってゆっくり動かす

印刷の一時停止／再開



印刷中に、[Cancel] キーを押します。

- 印刷が一時停止します。
- [Enter] キーを押すと、印刷が再開します。

Note

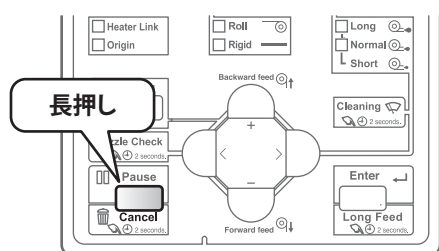
- 本操作では本製品に送信された印刷データを削除しません。
- 印刷を中止しデータを削除する場合は、以下をご覧ください。

「印刷のキャンセル」P.50

Important!

印刷を一時停止させた場合、印刷品質は保証できません。

印刷のキャンセル



印刷中に、操作パネルの [Cancel] キーを 2 秒以上長押しします。

- 印刷がキャンセルされます（再開はできません）。
- 本製品に送信された印刷データを削除します。

Note

MSM のリモートパネルでも同じことができます。

ウォームアップ中に印刷を開始する

手順

- [1]

ウォームアップチュウ

 製品がウォームアップ中であることを確認します。
 - 操作パネルに「ウォームアップ° チュウ」と表示されます。
- [2]

スキップ	→	Enter
------	---	-------

 印刷データを送信します。
 - 操作パネルに「ウォームアップ° チュウ」「スキップ° → Enter」と表示されます。

注意



「ウォームアップ° チュウ」表示のときは、メディアガイドに触れないでください。やけどの恐れがあります。

- [3] 操作パネルの [Enter] キーを押します。
 - 製品が印刷を開始します。




 Important!

ウォームアップ中に印刷を開始した場合、印刷品質は保証できません。

 Note

ウォームアップ中に印刷を開始した場合も、ウォームアップは設定温度まで継続されます。

印刷中に操作パネルでできること

- [1]
- | |
|------------|
| データジュシンチュウ |
| データサクガチュウ |
| データカイセキチュウ |
- 左のメッセージのどれかが表示されているときに、[Menu] キーを押します。
- [2]
- | | |
|---------|-----------|
| メニュー 1: | オクリビチョウセイ |
| メニュー 2: | ホゾン |
| メニュー 3: | Job ステータス |
- [+] キー / [-] キーでメニューを選択します。
-  「メニュー 1：送り微調整」P.51
 -  「メニュー 2：保存」P.52
 -  「メニュー 3：Job ステータス」P.52

メニュー 1：送り微調整

このメニューでは、送り補正の調整値を、現在の印刷の間だけ変更できます。

- パネル設定メニューの関連箇所については、以下をご覧ください。

 [「**> 3：送り補正」P.68](#)

- [1]
- | | |
|---------|-----------|
| メニュー 1: | オクリビチョウセイ |
|---------|-----------|
- [Enter] キーを押します。
- [2]
- | | |
|------------|--------|
| オクリチョウセイチ: | 5.00 % |
|------------|--------|
- [+] キー / [-] キーで設定値を変更します。
- [Enter] キーを押して確定します。

 Note

- このメニューでの設定値の変更は、印刷完了後は無効になります。
- 変更を、現在選択中のユーザ定義に反映する場合は「メニュー 2：ホゾン」から保存してください。

メニュー 2：保存

このメニューでは、「メニュー 1：オクリビチョウセイ」での変更を、現在選択中のユーザ定義に反映できます。

[1] [Enter] キーを押します。

メニュー 2: ホゾン

[2] [Enter] キーを押します。

パラメータヲ ホゾンシマスカ?

設定値が保存されます。

** パラメータ ホゾンチュウ **

メニュー 3：Job ステータス

印刷中のデータについて情報を表示します。

- ・ パネル設定メニューの関連箇所については、以下をご覧ください。

 「メニュー 10：Job ステータス」P.59

[1] [Enter] キーを押します。

メニュー 3: Jobステータス

[2] [+] キー / [-] キーでメニューを選択します。

データナガサ: XXX.X mm

- ・ データナガサ：印刷中のデータの全長（メディア送り方向）を確認します。

インサツズミ: XXX.X mm

- ・ インサツズミ：印刷中のデータについて、印刷済みの部分の長さを確認します。

インサツノコリ: XXX.X mm

- ・ インサツノコリ：印刷中のデータについて、まだ印刷されていないデータの長さを確認します。

ノコリジカン: XXXX min

- ・ ノコリジカン：印刷にかかる残り時間を表示します。

Note

- ・ この機能で表示される数値は目安です。厳密な精度を保証するものではありません。
- ・ 印刷データに長さ情報が含まれていない場合は、すべての項目で「0」を表示します。

第2章 パネル設定メニュー

はじめに	55
キー操作	55
パネル設定メニュー	56
メニュー 1: スリープモード	60
メニュー 2: ユーザ定義	61
メニュー 3: 設定	74
セット 1: フラッシング	74
セット 2: サイドマージン	75
セット 3: 巻き取り装置	76
セット 4: 用紙セット位置	76
セット 5: 原点設定	77
セット 6: 待機ヒート	78
セット 7: CR 作画移動幅	78
セット 8: 重ね描き回数	78
セット 9: 斜行チェック	78
セット 10: オートクリーニング	79
セット 11: ロール紙長さ設定	81
セット 12: 先端処理	82
セット 13: 後端処理	82
セット 14: インクステータス	83
セット 15: 寿命確認	83
セット 16: ヘッダーダンプ	84
セット 17: スタートフィード	84
セット 18: 障害物チェック	85
セット 19: 初期化	85
セット 20: 一時詳細表示	85
メニュー 4: テスト作画	86
テスト 1: ノズルチェック	86
テスト 2: ノズルチェック B	86
テスト 3: モードプリント	87
テスト 4: 設定内容	87
テスト 5: パレット	88
メニュー 5: クリーニング	89
メニュー 6: 簡易選択	90

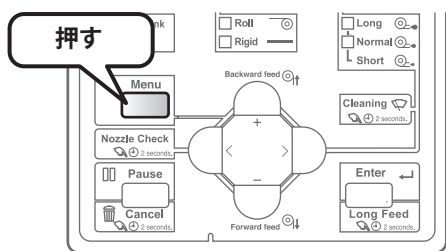
メニュー 7: メンテナンス	91
メンテナンス 1: デイリーメンテナンス	91
メンテナンス 2: 長期保存	91
メンテナンス 3: キャップアウト	92
メンテナンス 4: ヘッド洗浄	92
メンテナンス 5: インク置換	92
メンテナンス 6: 洗浄液置換	92
メンテナンス 7: カラーメンテナンス	93
メニュー 8: バージョン	93
メニュー 9: 初期設定	94
初期設定 1: 言語	94
初期設定 2: 長さ	94
初期設定 3: IP アドレス	94
初期設定 4: サブネットマスク	95
初期設定 5: ゲートウェイ	95
初期設定 6: 警告ブザー	95
メニュー 10: Job ステータス	96

はじめに

本製品の各種設定は、パネル設定メニューで行います。

キー操作

[1]



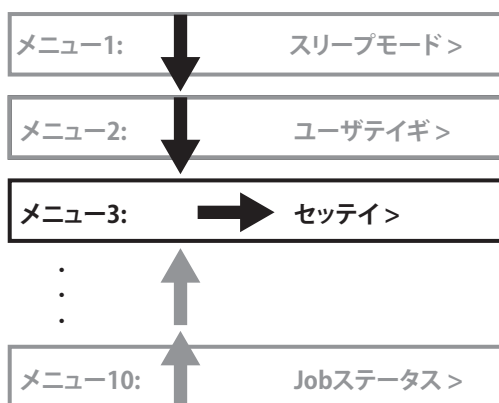
パネル設定メニューに入るには、[Menu] キーを押します。



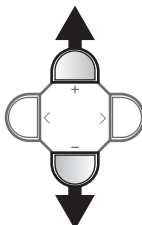
Note

印刷中や、データ受信中（電源ボタン点滅中）は、パネル設定メニューに入れません。

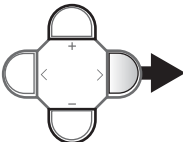
[2]



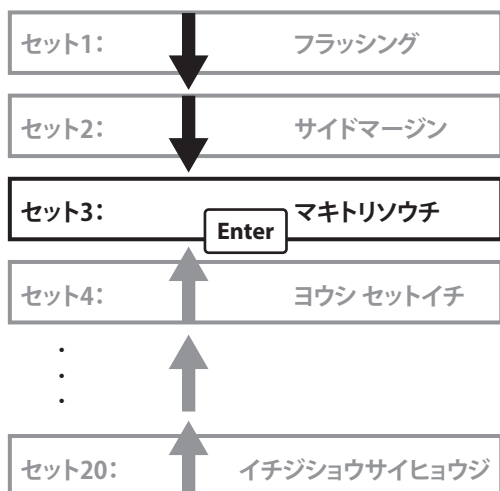
[+] キー / [-] キーで上下に移動します。



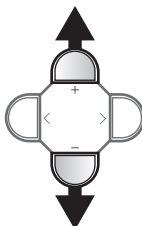
[>] キーでメニューに入ります。



[3]



サブメニューから選択したり、数値を入力したりするときは、[+] キー [-] キーを押します。



[Enter] キーで確定 / 実行します。



[Cancel] キーで1つ前の階層のメニューに戻ります。
(左図の場合、「メニュー3：セッテイ>」に戻ります。)



パネル設定メニュー


メニュー 1：スリープモード

メニュー1: スリープモード >

スリープモードの起動を行います。

サブメニュー

スリープモード1: スタート

 [メニュー 1:スリープモード](#)


メニュー 2：ユーザ定義

メニュー2: ユーザ定義 >

メディアの設定を行います。

サブメニュー

**> 1: サクガモード

 [** > 1：作画モード](#)

**> 2: チョウセイサクガ >

 [** > 2：調整作画](#)

**> 3: オクリホセイ >

 [** > 3：送り補正](#)

**> 4: キュウチャクファン

 [** > 4：吸着ファン](#)

**> 5: メディアアツ

 [** > 5：メディア厚](#)

**> 6: メディアアツホセイ

 [** > 6：メディア厚補正](#)

**> 7: メディアケンシュツ >

 [** > 7：メディア検出](#)

**> 8: メディアハバ

 [** > 8：メディア幅](#)

**> 9: バスカンウェイト

 [** > 9：パス間ウェイト](#)

**> 10: メディアシュルイ

 [** > 10：メディア種類](#)

**> 11: ショキカ

 [** > 11：初期化](#)

メニュー 3：設定

メニュー3: セッテイ >

本製品の各種設定を行います。

サブメニュー

セット1: フラッシング

 [セット 1：フラッシング](#)

セット2: サイドマージン

 [セット 2：サイドマージン](#)

セット3: マキトリソウチ

 [セット 3：巻き取り装置](#)

セット4: ヨウシセットイチ

 [セット 4：用紙セット位置](#)

セット5:	ゲンテンセッテイ	👉 セット 5 : 原点設定
セット6:	タイキヒート	👉 セット 6 : 待機ヒート
セット7:	CRサクガイドウハバ	👉 セット 7 : CR 作画移動幅
セット8:	カサネガキカイスウ	👉 セット 8 : 重ね描き回数
セット9:	シャコウチェック	👉 セット 9 : 斜行チェック
セット10:	オートクリーニング	👉 セット 10 : オートクリーニング
セット11:	ロールシナガサセッテイ	👉 セット 11 : ロール紙長さ設定
セット12:	センタンショリ	👉 セット 12 : 先端処理
セット13:	コウタンショリ	👉 セット 13 : 後端処理
セット14:	インクステータス	👉 セット 14 : インクステータス
セット15:	ジュミョウカクニン	👉 セット 15 : 寿命確認
セット16:	ヘッダーダンプ	👉 セット 16 : ヘッダーダンプ
セット17:	スタートフィード	👉 セット 17 : スタートフィード
セット18:	ショウガイブツチェック	👉 セット 18 : 障害物チェック
セット19:	ショキカ	👉 セット 19 : 初期化
セット20:	イチジショウサイヒョウジ	👉 セット 20 : 一時詳細表示

メニュー 4 : テスト作画

メニュー4: テストサクガ >

ノズルチェックや、設定内容の確認印刷などを行います。

サブメニュー

テスト1:	ノズルチェック	👉 テスト 1 : ノズルチェック
テスト2:	ノズルチェックB	👉 テスト 2 : ノズルチェック B
テスト3:	モードプリント	👉 テスト 3 : モードプリント
テスト4:	セッテイナイヨウ	👉 テスト 4 : 設定内容
テスト5:	パレット	👉 テスト 5 : パレット

Note

5色設定時のみ、メニューに「ノズルチェック B」を表示します。

メニュー 5：クリーニング

メニュー5: クリーニング >

プリントヘッドのクリーニングや初期充てんを行います。

サブメニュー

クリーニング: ビリョウ

 [メニュー 5: クリーニング](#)

クリーニング: ツウジョウ

クリーニング: キョウリョク

クリーニング: ビリョウジュウテン

クリーニング: ショキジュウテン

メニュー 6：簡易選択

メニュー6: カンイセンタク >

「メニュー 3：セッテイ」に各メニューを表示するかどうかを選択できます。

 [メニュー 6: 簡易選択](#)


メニュー 7：メンテナンス

メニュー7: メンテナンス >

プリンターの定期的なメンテナンスを行います。

サブメニュー

メンテナンス1: デイリーメンテナンス

 [メンテナンス 1: デイリーメンテ
ナンス](#)

メンテナンス2: チョウキホゾン

 [メンテナンス 2: 長期保存](#)

メンテナンス3: キャップアウト

 [メンテナンス 3: キャップアウト](#)

メンテナンス4: ヘッドセンジョウ

 [メンテナンス 4: ヘッド洗淨](#)

メンテナンス5: インクチカン

 [メンテナンス 5: インク置換](#)

メンテナンス6: センジョウエキチカン

 [メンテナンス 6: 洗淨液置換](#)

メンテナンス7: カラーメンテナンス

 [メンテナンス 7: カラーメンテナ
ンス](#)

メニュー 8：バージョン

メニュー8: バージョン >

ファームウェアのバージョンを表示します。

 [メニュー 8: バージョン](#)

メニュー 9：初期設定

メニュー9: ショキセッテイ>

表示言語や単位の設定、ネットワーク設定やメニューの表示設定を行います。

サブメニュー

ショキセッテイ1: ゲンゴ

 [初期設定 1：言語](#)

ショキセッテイ2: ナガサ

 [初期設定 2：長さ](#)

ショキセッテイ3: IPアドレス

 [初期設定 3：IP アドレス](#)

ショキセッテイ4: サブネットマスク

 [初期設定 4：サブネットマスク](#)

ショキセッテイ5: ゲートウェイ

 [初期設定 5：ゲートウェイ](#)

ショキセッテイ6: ケイコクブザー

 [初期設定 6：警告ブザー](#)

メニュー 10：Job ステータス

メニュー10: Jobステータス>

前回の印刷結果について、各種情報を表示します。

 [メニュー 10: Job ステータス](#)

メニュー1:スリープモード

メニュー1: スリープモード>

スリープモードを開始します。
操作パネルの指示に従って、かならずデイリーメンテナンスを行ってください。

 「スリープモード」P.31

サブメニュー

スリープモード1: スタート

[Enter] キーを押すと、スリープモードを開始します。

Important!

スリープモード中に以下の状態になった場合は、設定時間が経過してもヘッドクリーニングを行いません。

- フロントカバーが開いている
- メンテナンスカバーが開いている
- 廃液タンクが満タンになっている
- 大容量パックアダプターが取り外されている
- 純正品以外のインクパック、SIC カードが挿入されている

ヘッドクリーニング中に、上記の状態になった場合は、ヘッドクリーニング動作を停止します。
正常な状態に戻すと、ヘッドクリーニングを再開します。

メニュー2: ユーザ定義

メニュー2: ユーザ定義>

Type1 ~ Type30 のユーザ定義を持つことができます。ユーザ定義を選択して [Enter] キーを押すと、そのユーザ定義が本製品にセットされます。また、サブメニューを表示します。

設定値

ユーザ: Type 1

Type 1 ~ Type30 から選択できます。

Important!

別のユーザ定義に変更すると、ユーザ定義で変更できる設定がすべて切り替わります。初めて使うときやメディアを切り替えた時は、ユーザ定義の各項目を設定してください。

ユーザ: Type 1

メディアの設定を行います。

サブメニュー

**> 1:	サクガモード	☞ ** > 1: 作画モード
**> 2:	チョウセイサクガ>	☞ ** > 2: 調整作画
**> 3:	オクリホセイ>	☞ ** > 3: 送り補正
**> 4:	キュウチャクファン	☞ ** > 4: 吸着ファン
**> 5:	メディアアツ	☞ ** > 5: メディア厚
**> 7:	メディアケンシュツ>	☞ ** > 7: メディア検出
**> 8:	メディアハバ	☞ ** > 8: メディア幅
**> 9:	パスカンウェイト	☞ ** > 9: パス間ウェイト
**> 10:	メディアシュルイ	☞ ** > 10: メディア種類
**> 11:	シヨキカ	☞ ** > 11: 初期化

** > 1：作画モード

**> 1: サクガモード

作画モードの設定を行います。

- ・各作画モードを表示中に、[>] キーを押している間は、その作画モードの詳細情報（解像度、パス数、印刷方向）を表示します。
- ・作画モードを設定すると、エフェクトの設定に移ります。

設定値

モード: Quality X ->

高品質な印刷を行いたいときに設定します。
Quality 1~Quality 2 の 2 パターンがあります。

モード: Graphics X ->

標準画質で印刷を行いたいときに設定します。
Graphics 1~Graphics 2 の 2 パターンがあります。
初期値は Graphics 2 です。

モード: Banner X ->

高速印刷を行いたいときに設定します。
Banner 1~Banner 2 の 2 パターンがあります。

作画モードの詳細

作画モード	解像度	パス数	印刷方向	エフェクト初期値
Quality 1	1440 × 1440	16 pass	Uni (片方向印刷)	Fine & Fog
Quality 2	1440 × 1440	16 pass	Bi (双方向印刷)	Fine & Fog
Graphics 1	720 × 1440	8 pass	Uni (片方向印刷)	Fine & Fog
Graphics 2	720 × 1440	8 pass	Bi (双方向印刷)	Fine & Fog
Banner 1	720 × 1080	6 pass	Bi (双方向印刷)	Fine & Fog
Banner 2	720 × 720	4 pass	Bi (双方向印刷)	Fine & Fog

エフェクトの設定

モード: Graphics 2 ->

エフェクト機能を設定します。
設定した作画モードに微調整を加えて、画質を向上します。

設定値

エフェクト: None	エフェクトを使用しません。
エフェクト: Wave	印刷のつなぎ目を波状にします。
エフェクト: Fog	印刷のつなぎ目をぼかします。 「Wave」で白スジや縦ムラ等が目立つ場合に設定します。
エフェクト: Fine & Fuzz	印刷のつなぎ目を波状にし、かつぼかします。 「Wave」より若干遅い速度で作画を行います。
エフェクト: Fine & Fog	印刷のつなぎ目をぼかします。 「Fine&Fuzz」で横ムラが目立つ場合に設定します。「Fine&Fuzz」より遅い速度で印刷します。 初期値はこの設定です。
エフェクト: Fine & Wave	「Wave」より若干遅い速度で作画を行います。 「Wave」より作画画質を向上させたい場合に設定します。
エフェクト: A - S. Fine & Wave	プリントヘッドの半分のノズルを使用して「Wave」作画を行います。 半分のノズルしか使用しないため作画速度が「Wave」の約半分になります。 「Fine&Wave」より作画画質を向上させたい場合に設定します。 5色使用時は表示されません。
エフェクト: B - S. Fine & Wave	「A-S.Fine&Wave」の反対側の半分のノズルを使用して「Wave」作画を行います。 半分のノズルしか使用しないため作画速度が「Wave」の約半分になります。 「Fine&Wave」より作画画質を向上させたい場合に設定します。 5色使用時は表示されません。

** > 2 : 調整作画

**>2: チョウセイサクガ>

最適な画質に調整するときに設定します。
調整を行う前に、メディアの厚さを入力します。

サブメニュー

チョウセイサクガ1: Standard

現在のユーザ定義で使用している作画モードのみ、調整を行います。

チョウセイサクガ2: Custom

現在のユーザ定義で使用している作画モード以外の作画モードも調整できます。

調整作画 1 : Standard

チョウセイサクガ1: Standard

現在のユーザ定義で使用している作画モードのみ、調整を行います。

☞ 「1. 確認パターン」P.66

☞ 「2. 粗調整パターン」P.67

☞ 「3. 微調整パターン」P.67

サブメニュー

チョウセイ1: カクニンパターン

画質微調整のためのテストパターンを印刷します。調整前の確認を行います。

チョウセイ2: ソチョウセイパターン

ズレ量が大きいと思われる場合に実行します。調整パターンを印刷し、設定値を入力します。

チョウセイ3: チョウセイパターン

ズレ量が小さいと思われる場合に実行します。調整パターンを印刷し、設定値を入力します。

調整作画 2 : Custom

チョウセイサクガ2:

Custom

A～Iのすべてのパターンに対する調整を行います。

☞ 「1. 確認パターン」P.66

☞ 「2. 粗調整パターン」P.67

☞ 「3. 微調整パターン」P.67

サブメニュー

チョウセイ1: カクニンパターン

画質微調整のためのテストパターンを印刷します。調整前の確認を行います。

チョウセイ2: ソチョウセイALL

A～Iのすべての調整パターンを印刷します。

チョウセイ3: ソチョウセイパターンA

A～Iのうちから選択された調整パターンを印刷します。

⋮

チョウセイ11: ソチョウセイパターンI

チョウセイ12: チョウセイALL

A～Iのすべての調整パターンを印刷します。

チョウセイ13: チョウセイパターンA

A～Iのうちから選択された調整パターンを印刷します。

⋮

チョウセイ21: チョウセイパターンI

作画モードに対応する調整パターン

作画モード	作画モードの仕様	調整パターン
Quality 1	1440 x 1440, 16 pass, Uni	B
Quality 2	1440 x 1440, 16 pass, Bi	
Graphics 1	720 x 1440, 8 pass, Uni	H
Graphics 2	720 x 1440, 8 pass, Bi	
Banner 1	720 x 1080, 6 pass, Bi	
Banner 2	720 x 720, 4 pass, Bi	

手順

1. 確認パターンを印刷し、ズレがあるか確認します。
2. 粗調整パターンを印刷し、印刷結果から、ズレがないところを探します。
 - 「調整作画 2 : Custom」を選択した場合は、「ALL」または「A」～「I」を選びます。
 - ズレのないパターンの下に印刷されている番号が調整値です。
3. 調整値を入力します。
4. 微調整パターンを印刷し、印刷結果から、ズレがないところを探します。
 - 「調整作画 2 : Custom」を選択した場合は、「ALL」または「A」～「I」を選びます。
 - ズレのないパターンの下に印刷されている番号が調整値です。
5. 調整値を入力します。

Note

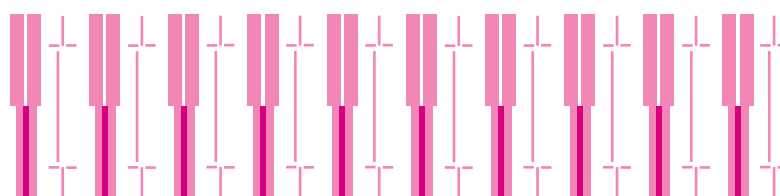
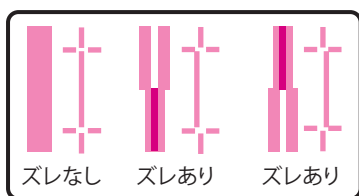
- 確認パターンと調整パターンの印刷前に、ヒーターのウォームアップを行います。操作パネルに「ウォームアップ° チュウ スキップ° → Enter」と表示されます。
- ウォームアップ中に印刷を開始することができます。
👉 「ウォームアップ中に印刷を開始する」P. 50

注意

- 🚫 「ウォームアップ° チュウ」表示のときは、メディアガイドに触れないでください。やけどの恐れがあります。

1. 確認パターン

- [Enter] キーを押すと、印刷を行います。
- 印刷結果を確認し、ズレがあれば、粗調整パターンに進みます。
- 下図の場合、ズレがあります。



パターン名

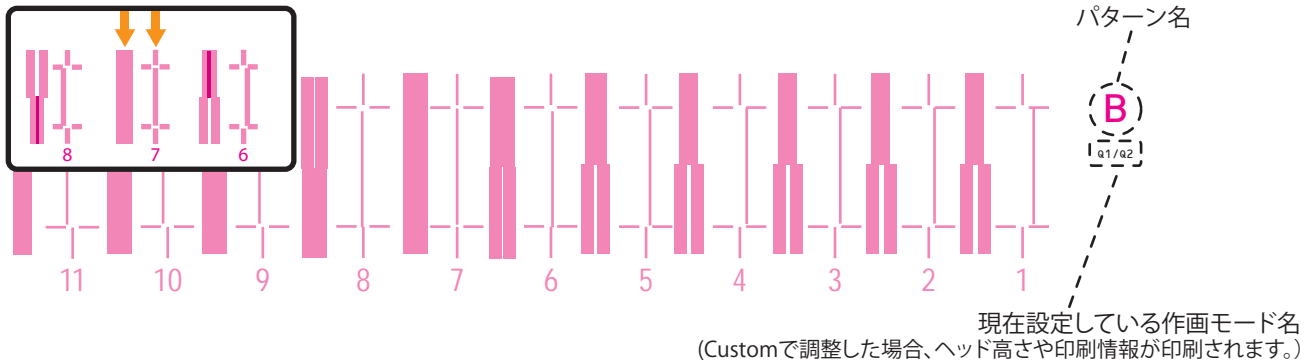
B

q1/q2

現在設定している作画モード名

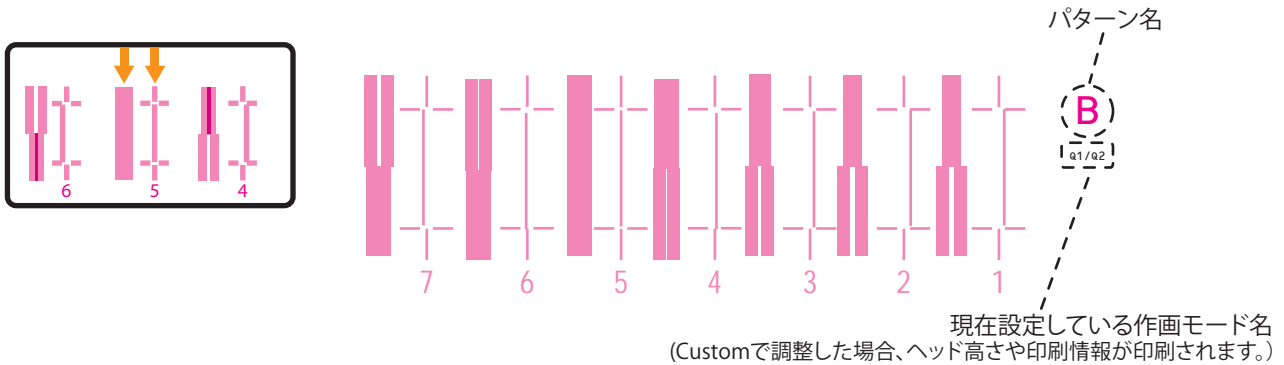
2. 粗調整パターン

- [Enter] キーを押すと、印刷を行います。
- 印刷結果を見て、もっともズレのないパターンの下に印刷されている番号を探します。
- ディスプレイに「パターン B： 6」などと表示されているので、もっともズレのないパターンの番号を [+] キー / [-] キーで入力して [Enter] キーを押します。
- 下図の場合「パターン B： 7」と入力します。



3. 微調整パターン

- [Enter] キーを押すと、印刷を行います。画質微調整パターンは、メディア両端と中央に印刷されます。
- メディア両端と中央の印刷結果を見て、もっともズレのないパターンの下に印刷されている番号を探します。
- ディスプレイに「パターン B： 4」などと表示されているので、もっともズレのないパターンの番号を [+] キー / [-] キーで入力して [Enter] キーを押します。
- 下図の場合「パターン B： 5」と入力します。



** > 3：送り補正

** > 3: オクリホセイ>

メディア送り補正についての各種設定を行います。

印刷結果に次のような不具合があるとき、メディア送り補正を行うと改善する場合があります。

- ・画像が重なっている。
- ・画像に白いスジが入っている。

サブメニュー

ホセイ1:	シヨキチョウセイサクガ	☞ 「補正 1：初期調整作画」 P. 69
ホセイ2:	シヨキチョウセイチ	☞ 「補正 2：初期調整値」 P. 69
ホセイ3:	カクニンチョウセイサクガ	☞ 「補正 3：確認調整作画」 P. 70
ホセイ4:	ビチョウセイサクガ	☞ 「補正 4：微調整作画」 P. 70
ホセイ5:	ビチョウセイチ	☞ 「補正 5：微調整値」 P. 71

手順

1. 「補正 1：初期調整作画」を選択します。

- ・「フィート`ナカ`サ：250 mm」と表示されます。

2. 初期調整作画終了後、メディアをカットします。

- ・定規等を使用して、初期調整作画の「 ∇ 」間の長さを測ります。

3. 1章の「メディア送り補正の手順」P. 48 を参考に、操作パネルで「補正 2：初期調整値」を選択します。

4. 操作パネルの [+] キーまたは [-] キーを押して、手順 2 で測った実測値を入力します。

- ・[Enter] キーを押して、初期調整値を保存します。

5. 「補正 3：確認調整作画」を選択します。

- ・「フィート`ナカ`サ：250 mm」と表示されます。

6. 確認調整作画終了後、メディアをカットします。

- ・定規等を使用して、確認調整作画の「 ∇ 」間の長さを測り、印刷時のフィード長さとも一致しているか確認します。
- ・長さが一致していない場合は、手順 1～5 に従って再度調整を行います。
- ・長さが一致した場合は、手順 7 に進みます。

7. 1章の「メディア送り補正の手順」P.48を参考に、操作パネルで「補正4：微調整作画」を選択します。

- パターンを見て、微調整値を確認します。パターンの中でもっとも白スジ・画像の重なりがないところを探します。そのパターンの下にある数字が、微調整値です。

8. 手順7の印刷結果に従って微調整値を入力します。

すでに調整値が分かっている場合の手順（メディア交換など）

1. 「補正5：微調整値」に調整値を入力します。
2. 確認作画の有無を選択し、調整を終了します。

補正1：初期調整作画

ホセイ1: ショキチョウセイサクガ


左の表示のときに [Enter] キーを押すと、初期調整作画を行います。

設定値

フィードナガサ: 250 mm

100 mm ~ <250 mm> ~ 500 mm

<> は初期値を表します。

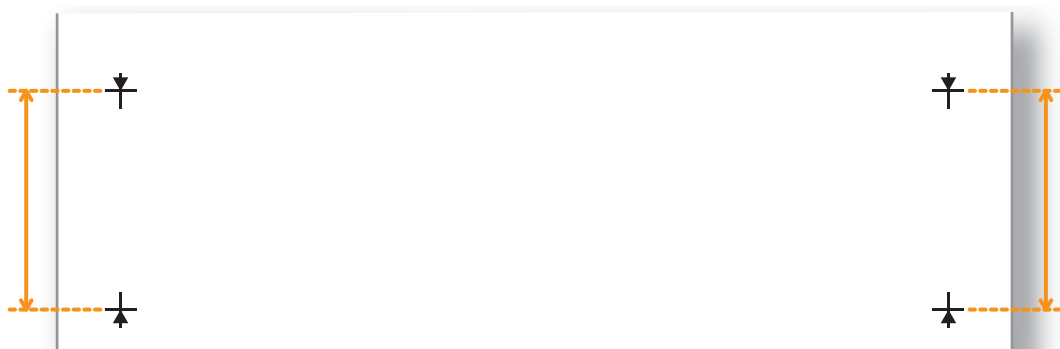
- 初期調整作画終了後、メディアをカットします。
- 定規等を使用して、初期調整作画の「」間の長さを測ります。以下の例では、測る場所をオレンジ色の点線と矢印で示しています（オレンジ色の部分は実際は印刷されません）。

Note

初期調整作画のメディア搬送方向の長さ（フィード長さ）は、通常は 250 mm に設定されています。

フィード長さを長くすると、メディア送り補正の精度が若干向上します。

フィード長さを変更する場合は、操作パネルの [+] キーまたは [-] キーを押して、設定値を変更してください。



補正2：初期調整値

ホセイ2: ショキチョウセイイチ

調整値を [+] キー / [-] キーで入力して [Enter] キーを押します。

設定値

チョウセイイチ: 250.0 mm / 250 mm

設定値は、初期調整作画で設定したフィード長さ ±50 mm の間で入力できます。

補正 3：確認調整作画

ホセイ3: カクニンチョウセイサクガ

左の表示のときに [Enter] キーを押すと、確認調整作画を行います。

設定値

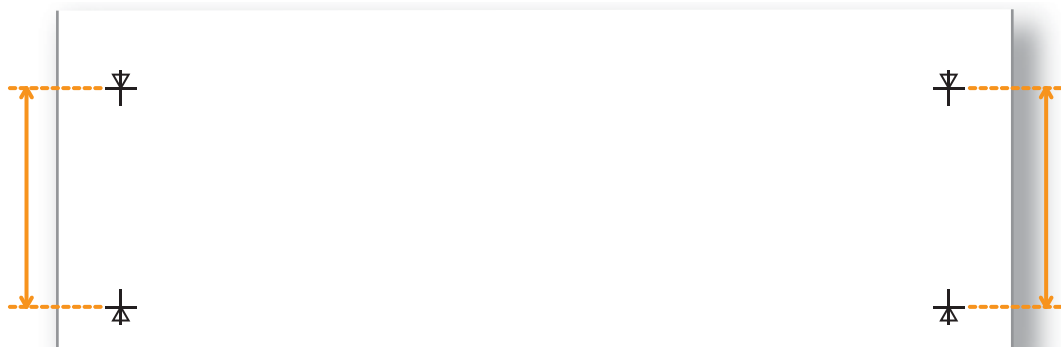
フィードナガサ: 250 mm

100 mm ~ <250 mm> ~ 500 mm
<> は初期値を表します。

- 確認調整作画終了後、メディアをカットします。
- 定規等を使用して、確認調整作画の「平」間の長さを測ります。
下の例では、測る場所をオレンジ色の点線と矢印で示しています（オレンジ色の部分は実際は印刷されません）。
- 長さが一致していない場合は、「補正 1：初期調整作画」で再度調整を行います。
- 長さが一致した場合は、「補正 4：微調整作画」に進みます。

Note

確認調整作画のメディア搬送方向の長さ（フィード長さ）は、通常は 250 mm に設定されています。
フィード長さを長くすると、メディア送り補正の精度が若干向上します。
フィード長さを変更する場合は、操作パネルの [+] キーまたは [-] キーを押して、設定値を変更してください。

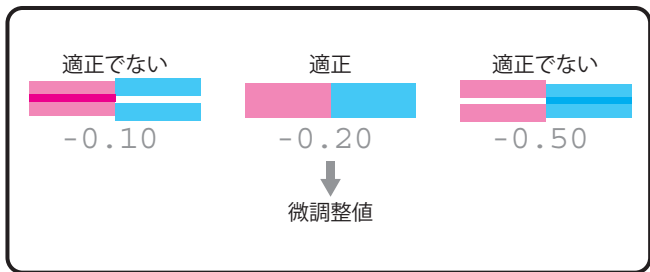


補正 4：微調整作画

ホセイ4: ビチョウセイサクガ

左の表示のときに [Enter] キーを押すと、微調整作画を行います。

- パターンを見て、微調整値を確認します。パターンの中でもっとも白スジ・画像の重なりがないところを探します。そのパターンの下にある数字が、微調整値です。印刷結果に従って微調整値を入力します。



Note

微調整値を入力し保存すると、その値が基準値となるように各微調整値が増減します。
微調整値に「-0.20」を保存し印刷した場合、調整パターンの下にある数字は、左から「+1.00」、「+0.60」、「+0.30」、「0.00」、「-0.10」、「-0.20（基準値）」、「-0.30」、「-0.40」、「-0.70」、「-1.00」、「-1.40」となります。

補正 5：微調整値

ホセイ5: ピチヨウセイチ

調整値を [+] キー / [-] キーで入力して [Enter] キーを押します。
確認作画の有無を選択し、調整を終了します。

設定値

ピチヨウセイチ: 0.00% -5.00% ~ <0.00%> ~ 5.00%
<> は初期値を表します。

** > 4：吸着ファン

** > 4: キュウチャクファン


吸着ファンの動作を設定します。
[+] キー / [-] キーで選択して [Enter] キーを押します。
・薄いメディアや柔らかいメディアを使用していてシワになる場合は、弱めてください。

設定値

キュウチャクファン: High <High> / Middle / Low / Off
<> は初期値を表します。

** > 5：メディア厚

** > 5: メディアアツ

使用するメディアの厚さを設定します。
[+] キー / [-] キーで入力して [Enter] キーを押します。
「** > 7：メディア検出」メニュー内の「メディアイニシャル 1：高さ」を、「On」に設定した場合は、検出したメディアの厚さを表示します。
 [「** > 7：メディア検出」P.72](#)

設定値

アツサ: 0.1 mm 0.1 mm ~ 16.5 mm

Note

・本メニューは、ある程度の画質調整を自動で行うためものです。より画質を高めたい場合は、画質調整を手動で行ってください。

 [「** > 2：調整作画」P.64](#)

・画質調整を行った場合、本メニューでメディア厚さを設定しなくても問題ありません。

** > 6: メディア厚補正

**>6: メディアアツホセイ

実際のメディア厚さにあわせて、ヘッド高さを上下させたい場合に設定します。
[+] キー / [-] キーで入力して [Enter] キーを押します。

設定値

ホセイ: 0.0 mm 0.0 mm ~ 1.5 mm

Important!

補正値を入力してヘッド高さを上げた場合は、印刷品質を保証できませんのでご注意ください。

** > 7: メディア検出

**>7: メディアケンシュツ >

メディアイニシャル時にメディア厚さや幅の検出を行うかどうかを設定します。

サブメニュー

メディアイニシャル1: タカサ メディア厚さの検出を設定します。

メディアイニシャル2: メディア メディア幅、メディア先端の検出を設定します。

「メディアイニシャル1：高さ」メニュー

メディアイニシャル1: タカサ

メディアイニシャル時にメディア厚さの検出を行うかどうかを設定します。

設定値

タカサ: Off メディア厚さの検出を行いません。

タカサ: On メディア厚さの検出を行います。
初期値はこの設定です。

Note

メディア厚さ検出は、プリントヘッドとメディアとの隙間を一定に保ち、印字品質を安定させるための機能のため、測定された値は実際のメディアの厚さと異なる場合があります。

「メディアイニシャル2：メディア」メニュー

メディアイニシャル2: メディア

メディアイニシャル時にメディア幅、メディア先端の検出を行うかどうかを設定します。

設定値

メディア: Off メディアの幅、先端の検出を行いません。

メディア: Top&Width メディアイニシャル時に、メディアの幅および先端の検出を行います。

メディア: Width メディアイニシャル時に、メディアの幅の検出を行います。
初期値はこの設定です。

** > 8：メディア幅

**>8: メディア幅

「**>7：メディア検出」メニュー内の「メディアイニシャル2：メディア」メニューを、「Off」に設定した場合は、セットしたメディアの幅を設定します。
[+] キー / [-] キーで入力して [Enter] キーを押します。

「**>7：メディア検出」メニュー内の「メディアイニシャル2：メディア」メニューを、「Off」以外に設定した場合は、検出されたメディアの幅を表示します。

 「**>7：メディア検出」P.72

設定値

メディア幅: 1000 mm

182 mm ～ <1,000 mm> ～ 1,625 mm
<> は初期値を表します。

** > 9：パス間ウェイト

**>9: パス間ウェイト

重ね描き印刷時および通常印刷時の、パス間のウェイト時間を設定します。

設定値

パス間ウェイト: 0.0 sec

<0.0 秒> ～ 5.0 秒
<> は初期値を表します。

** > 10：メディア種類

**>10: メディアシュルイ

ロール紙またはリジッドメディアのどちらを使用するかを設定します。

設定値

メディアシュルイ: ロールシ

ロール紙を使用する場合に設定します。

メディアシュルイ: リジッド

リジッドメディアを使用する場合に設定します。

Note

ロール紙の設定で重たいリジッドメディアを印刷した場合、印刷途中でエラーとなる場合があります。また、リジッドメディアの設定でロール紙に印刷した場合は、良好な印刷結果を得られない場合があります。

必ずお使いのメディアの種類によって設定を変更して印刷を行ってください。

** > 11：初期化

**>11: ショキカ

選択されているユーザ定義の設定内容を、工場出荷時の初期値に戻します。

メニュー3: 設定

セット 1: フラッシング

セット1: フラッシング

印刷中のフラッシング動作を設定します。

フラッシング設定が「オン」と「メディア上」の場合、リターン回数の設定に移ります。

設定値

フラッシング: オン

プリントヘッドが1往復する毎に、原点側のフラッシングボックスに戻ってフラッシング動作を行います。
初期値はこの設定です。

フラッシング: メディアジョウ

プリントヘッドが、メディアの余白上でもフラッシング動作を行います。
原点側のフラッシングボックスまで戻る回数が減るため、印刷速度が向上します。

フラッシング: オフ

フラッシング動作を行いません。

Note

- フラッシング動作は、プリントヘッドのノズル詰まりを防ぐためのメンテナンス動作です。インクを消費します。
- フラッシングを「オフ」に設定すると、フラッシング動作を行わないため、ノズル詰まりが発生しやすくなります。その場合、印刷品質は保証できません。
- フラッシング設定が「メディア上」の場合は、最大印刷幅が **16 mm** 小さくなります。そのため左右の余白はそれぞれ、「サイドマージンメニューで設定した値」+8 mm となります。

 [「セット 2: サイドマージン」P.75](#)

リターン回数メニュー

フラッシング: オン

Enter

フラッシング: メディアジョウ

プリントヘッドが、原点側のフラッシングボックスでフラッシング動作を行う間隔を設定します。

設定した回数だけプリントヘッドが往復するごとに、フラッシング動作を行います。

[+] キー / [-] キーで入力して [Enter] キーを押します。

設定値

リターンカイスウ: 1カイ

<1 回> ~ 999 回
<> は初期値を表します。

Important!

リターン回数を多く設定すると、長時間印刷する場合にノズル詰まりが発生しやすくなります。
その場合、印刷品質は保証できません。

<フラッシング動作例>

フラッシング設定	リターン回数設定	動作
オン	1回	プリントヘッドが1往復する毎に、原点側のフラッシングボックスでフラッシング動作を行います。 メディア上ではフラッシング動作を行いません。
オン	5回	プリントヘッドが5往復する毎に、原点側のフラッシングボックスでフラッシング動作を行います。 メディア上ではフラッシング動作を行いません。
メディア上	1回	プリントヘッドが1往復する毎に、原点側のフラッシングボックスでフラッシング動作を行います。 また、プリントヘッドが1往復する毎に、メディア上でもフラッシング動作を行います。
メディア上	5回	プリントヘッドが5往復する毎に、原点側のフラッシングボックスでフラッシング動作を行います。 また、プリントヘッドが1往復する毎に、メディア上でもフラッシング動作を行います。
オフ	—	フラッシングボックスでもメディア上でもフラッシング動作を行いません。

セット2：サイドマージン

セット2: サイドマージン

印刷時の左右のマージン（サイドマージン）を設定します。
[+] キー / [-] キーで入力して [Enter] キーを押します。

設定値

サイドマージン: 5 mm

<5 mm> ~ 25 mm

<> は初期値を表します。

Note

- 「フラッシングメニュー」で「メディア上」に設定した場合は、最大印刷幅が 16 mm 小さくなります。
そのため左右の余白はそれぞれ、「サイドマージンメニューで設定した値」+8 mm となります。

 「[セット1：フラッシング](#)」P.74

セット 3：巻き取り装置

セット3: マキトリソウチ

巻き取り装置（オプション）の動作を設定します。

サブメニュー

マキトリソウチ: Off

巻き取り装置を使用しません。
初期値はこの設定です。

マキトリソウチ: On

巻き取り装置を使用する場合に設定します。

「セット 3：巻き取り装置」メニューを「On」に設定した場合

マキトリソウチ: On
Enter

巻き取り装置設定を「On」に設定すると、ページ間余白メニューに移行します。
ページ間余白メニューでは、印刷結果どうしの間余白を変更できます。

設定値

ページカンヨハク: ツウジョウ

印刷間の余白を変更しません。
初期値はこの設定です。

ページカンヨハク: セマイ

印刷間の余白が「通常」よりも狭くなります。

セット 4：用紙セット位置

セット4: ヨウシセットイチ

透明なメディアや薄いメディアなどでメディア検出ができない場合に手動で用紙セット位置を設定します。

- ・ [>] キー / [<] キー：カーソルを移動します。
- ・ [+] キー / [-] キー：入力値を増減させます。

設定値

サイドエッジ: +0000

用紙の右端位置を設定します。入力値が高くなるほど、プリントヘッドは反原点側に移動します。

- ・ [Enter] キーを押すと、操作パネルに「シバラクオマチクダサイ」と表示され、LED ポインターが入力値の位置まで移動します。

トップエッジ: +0000

用紙の先端位置を設定します。入力値が高くなるほど、用紙が送り出されます。

メディアハバ: +0000

メディアの幅を設定します。
メディアの幅を数値入力してください。

Note

- ・ このメニューは、「メディアイニシャル 2：メディア」メニューが「Off」または「Width」の場合のみ有効になります。

👉 [「**>7：メディア検出」P.72](#)

- ・ このメニューはセットされているメディアに対してのみ有効です。
メディア交換などで用紙セット位置が変わった場合は、もう一度このメニューを行ってください。

セット 5：原点設定

セット5: ゲンテンセッテイ

印刷データの印刷開始位置（原点）を設定します。

設定値

ゲンテンセッテイ: Off

原点設定を行いません。

ゲンテンセッテイ: On

原点設定を行います。
初期値はこの設定です。

ゲンテンセッテイ: On

Enter

既に印刷したメディアに、印刷データの配置を変えて余白部分に再度印刷したい場合などに設定します。

[+] キー / [-] キーで入力して [Enter] キーを押します。

設定値

X: 015.0 mm Y: 0005.0 mm

X（メディア送り量）：

15.0 mm ～ 999.9 mm

Y（プリントヘッド移動量）：

5.0 mm ～ 1,405.0 mm

• [Enter] キー：

操作パネルに「ゲンテンニイトウ
チュウ」と表示され、LED ポインタを点
灯させながらプリントヘッドが入力位置
まで移動します。

• 移動位置が原点にしたい位置でなけれ
ば、再度操作パネルのキーで位置を微調
整します。

Note

• サイドマージンの設定値により、Y（プリントヘッド移動量）の最大設定値は減少します。

👉 「[セット 2：サイドマージン](#)」P.75

• メディア右側の余白は、設定により下記の合計値になります。

「原点設定メニューのY（プリントヘッド移動量）の値」+「8 mm（フラッシング設定が「メディア上」の場合）」+「サイドマージンメニューで設定した値」

👉 「[セット 1：フラッシング](#)」P.74

👉 「[セット 2：サイドマージン](#)」P.75

セット 6：待機ヒート

セット6: タイキヒート

プリンターが待機中のときに、ヒーターを予熱する時間を設定します。
設定した時間が経過すると、各ヒーターが Off になります。

設定値

タイキヒート: 60 min

10分～<60分>、2時間、3時間、4時間
<>は初期値を表します。



Note

待機ヒート機能は、プロアヒーターが「Printer Link」状態の時のみ有効です。

セット 7：CR 作画移動幅

セット7: CRサクガイドウハバ

印刷中にプリントヘッドが移動する範囲を設定します。

設定値

CRサクガイドウハバ: データハバ

プリントヘッドが印刷データ幅の範囲を移動します。

CRサクガイドウハバ: キカイハバ

プリントヘッドが本製品の最大移動幅まで移動します。

CRサクガイドウハバ: メディアハバ

プリントヘッドがメディアの幅を移動します。
初期値はこの設定です。

セット 8：重ね描き回数

セット8: カサネガキカイスウ

印刷1パスあたりの重ね描き回数を設定します。

設定値

カサネガキカイスウ: 1カイ

<1回>～9回
<>は初期値を表します。

セット 9：斜行チェック

セット9: シャコウチェック

メディア搬送中の斜行検出を設定します。

設定値

シャコウチェック: オフ

斜行チェックを行いません。
初期値はこの設定です。

シャコウチェック: オン

斜行チェックを行います。

セット 10：オートクリーニング

セット10: オートクリーニング

オートクリーニングの動作について、各種設定を行います。

サブメニュー

オートクリーニング1: タイキチュウ>

待機中のオートクリーニングについて設定します。

 「待機中メニュー」P.79

オートクリーニング2: サクガチュウ>

印刷中のオートクリーニングについて設定します。

 「作画中メニュー」P.80

オートクリーニング3: サクガマエ

印刷開始前のオートクリーニングについて設定します。

 「作画前メニュー」P.80

オートクリーニング4: サクガゴ

印刷後のオートクリーニングについて設定します。

 「作画後メニュー」P.80

オートクリーニング5: パワーオン

電源を ON した時、およびスリープモードからの復帰した時のオートクリーニングについて設定します。

 「パワーオンメニュー」P.80

オートクリーニング6: パワーオフ

電源を OFF する時のオートクリーニングについて設定します。

 「パワーオフメニュー」P.81

Note

テスト作画時は、作画前オートクリーニングおよび作画後オートクリーニングを設定していてもオートクリーニングを行いません。

待機中メニュー

タイキチュウ1: シュルイ

オートクリーニングを行うときのクリーニング種類を選択します。「オフ」を選択するとオートクリーニングを行いません。

設定値

タイプ: ビリョウ

オフ / <微量> / 通常 / 強力
<> は初期値を表します。

タイキチュウ2: ジカン

待機中オートクリーニングを行う間隔を設定します。

設定値

ジカン: 6h

1h ~ <6h> ~ 24h
<> は初期値を表します。

Important!

待機中オートクリーニングの設定時間を初期値より長くすると、ノズル詰まりが発生する恐れがあります。

作画中メニュー

サクガチュウ1: シュルイ

オートクリーニングを行うときのクリーニング種類を選択します。
「オフ」を選択するとオートクリーニングを行いません。

設定値

タイプ: Off

< オフ > / 微量 / 通常 / 強力
<> は初期値を表します。

サクガチュウ2: ジカン

印刷中のオートクリーニングを行う間隔を設定します。

設定値

ジカン: 6h

1h ~ <6h> ~ 24h
<> は初期値を表します。

作画前メニュー

オートクリーニング3: サクガマエ

印刷開始前のオートクリーニングについて設定します。
「オフ」を選択するとオートクリーニングを行いません。

設定値

サクガマエ: Off

< オフ > / 微量 / 通常 / 強力
<> は初期値を表します。

作画後メニュー

オートクリーニング4: サクガゴ

印刷後のオートクリーニングについて設定します。
「オフ」を選択するとオートクリーニングを行いません。

設定値

サクガゴ: Off

< オフ > / 微量 / 通常 / 強力
<> は初期値を表します。

パワーオンメニュー

オートクリーニング5: パワーオン

電源を ON した時、およびスリープモードからの復帰した時のオートクリーニングについて設定します。「オフ」を選択するとオートクリーニングを行いません。

設定値

パワーオン: ビリョウ

オフ / <微量> / 通常 / 強力
<> は初期値を表します。



5色使用時はパワーオンクリーニングの実行が不可欠なため、設定値が「On」に固定されています。

パワーオフメニュー

オートクリーニング6: パワーオフ

電源を OFF する時のオートクリーニングについて設定します。
「オフ」を選択するとオートクリーニングを行いません。

設定値

パワーオフ: Off

< オフ > / 微量 / 通常 / 強力
<> は初期値を表します。

セット 11：ロール紙長さ設定

セット11: ロールシナガサセッテイ

セットしたロール紙の長さを設定します。

設定値

ロールシナガサセッテイ: オフ

ロール紙長さ設定を使用しません。
初期値はこの設定です。

ロールシナガサセッテイ: ロールシ1

ロールシナガサセッテイ: ロールシ2

ロールシナガサセッテイ: ロールシ3

セットしたロール紙の長さを設定します。
ロール紙長さの設定値は、「ロール紙 1」
～「ロール紙 3」として、それぞれ 3 通り
設定することができます。

ロール紙長さ設定で、ロール紙 1～ロール紙 3 に設定した場合

長さメニュー

ロールシナガサセッテイ: ロールシ1

Enter

セットしたロール紙の長さを設定します。

設定値

ナガサ: 30 m

1 m ～ <30 m> ～ 200 m
<> は初期値を表します。

作画停止メニュー

ナガサ:	30 m
<input type="button" value="Enter"/>	

プリンターの内部でカウントしているロール紙の長さの値がゼロになったときに、印刷を停止するかどうかを設定します。

設定値

サクガテイシ:	オフ
---------	----

印刷の停止判定にロール紙の残量カウントを使用しません。リアセンサーが反応した場合に印刷が停止します。
初期値はこの設定です。

サクガテイシ:	オン
---------	----

リアセンサーが反応しない場合でも、ロール紙の残量カウントがゼロになると印刷を停止します。

Note

- 通常はロール紙が終わるとリアセンサーで検出されるため、「オフ」設定で問題ありません。
- 紙管から紙が離れにくいタイプのロール紙だと、「作画停止メニュー」を「オフ」に設定していると、ロール紙が終わったときに印刷が停止しないことがあります。そのような場合は、「オン」に設定してください。

ニアエンドメニュー

サクガテイシ:	オン
<input type="button" value="Enter"/>	

プリンターの内部でカウントしているロール紙の長さの値がゼロになる前に「ロールシ ニアエンド: * m」(*は1～10の数字)を表示させることができます。

設定値

ニアエンド:	オフ
--------	----

「ニアエンド」を表示しません
初期値はこの設定です。

ニアエンド:	ノコリ * m
--------	---------

ノコリ 1 m ～ 10 m
ロール紙の残量カウントが設定値に達したときに「ニアエンド」を表示します。

セット 12：先端処理

セット12:	センタンシヨリ
--------	---------

先端処理機能を設定します。

設定値

センタンシヨリ:	Auto
----------	------

<Auto> / Off
<> は初期値を表します。

セット 13：後端処理

セット13:	コウタンシヨリ
--------	---------

後端処理機能を設定します。

設定値

コウタンシヨリ:	On
----------	----

<On> / Off
<> は初期値を表します。

セット 14：インクステータス

セット14: インクステータス

各インクパックのインク残量が表示されます。(単位：%)

1234: XX/XX/XX/XX

567: XX/XX/XX/XX

4色使用時

- ・1：マゼンタ (M)
- ・2：マゼンタ (M)
- ・3：シアン (C)
- ・4：シアン (C)
- ・5：洗浄液 (CI)
- ・6：ブラック (K)
- ・7：イエロー (Y)

5色使用時

- ・1：ブラック (K)
- ・2：マゼンタ (M)
- ・3：シアン (C)
- ・4：イエロー (Y)
- ・5：洗浄液 (CI)
- ・6：洗浄液 (CI)
- ・7：ホワイト (Wh)

Note

- ・インクに関する各種情報を表示させる場合は、純正品のインクおよび S/C カードを使用してください。純正品以外を使用すると、インクステータスが正しく表示されません。
- ・インク残量が 10% で点滅表示している場合、対応しているインクカートリッジに対してスマートチップリカバリーが実行されています。
👉 「スマートチップリカバリー」P. 145

セット 15：寿命確認

セット15: ジュミョウカクニン

製品各部の部品寿命を表示します。

- ・部品寿命は、*印の数（最大 5 個：残り 100%）で表示します。部品寿命が近づくにつれて、*印の数が 1 個（20%）ずつ減っていきます。
- ・*印が全て消えて、「Change」と表示された場合は、部品寿命に達しています。部品の交換を依頼してください。
👉 「お問い合わせ先」P. 156
- ・「Change」になると、メニューに入っていないときに「ジュミョウカクニン [ポンプ]」などと表示が出るようになります。
この表示は [Cancel] キーで削除できます。

ヘッド: E*** F

プリントヘッドの部品寿命を表示します。
この場合は、残り 60% を示します。

ポンプ: E*** F

ポンプ 1 の部品寿命を表示します。

CRモータ: Change

CR モーターの部品寿命を表示します。
この場合は、部品寿命に達しています。部品の交換を依頼してください。

PFモータ: E**** F

PF モーターの部品寿命を表示します。

Cポンプ: E*** F

循環ポンプの寿命を表示します。

セット 16：ヘッダーダンプ

セット16: ヘッダーダンプ

印刷データについて下記の情報を印刷するかどうかを設定できます。

- ・ データヘッダー
- ・ データドット数 (ヘッダーダンプ設定が「オン」設定時のみ印刷します)
- ・ 印刷日時
- ・ プリンターシリアルナンバー
- ・ ファームウェアバージョン
- ・ 受信時間 (ヘッダーダンプ設定が「ダンプ」設定時のみ印刷します)
- ・ 受信サイズ (ヘッダーダンプ設定が「ダンプ」設定時のみ印刷します)

設定値

ヘッダーダンプ:	オフ	ダンプデータを印刷しません。 初期値はこの設定です。
ヘッダーダンプ:	オン	印刷データを印刷後、ダンプデータを印刷します。
ヘッダーダンプ:	ダンプ	ダンプデータのみを印刷します。ただし、「データドット数」は印刷しません。
ヘッダーダンプ:	インサツ	前回印刷したダンプデータを印刷します。ダンプデータの履歴が無い場合は、「データが アリマセン」と表示されます。

Note

- ・ ダンプデータは、テクニカルサポートを受ける場合に参考情報として活用します。
- ・ コンピュータと接続して印刷する場合は、「データヘッダー」に RIP ソフトの印刷設定が印刷されます。

セット 17：スタートフィード

セット17: スタートフィード

スタートフィードを設定しておく、印刷結果どうしの間の余白を変更できます。

- ・ 値が 0 以上：「0」設定時よりも余白が増えます。
- ・ 値が 0：印刷間の余白を変更しません。
- ・ 値が 0 以下：「0」設定時よりも余白が減ります。

設定値

スタートフィード:	150 mm	-10 mm ~ <150 mm> ~ 500.0 mm <> は初期値を表します。
-----------	--------	---

Note

巻き取り装置をご使用の場合に「スタートフィード」を 0 未満に設定するときは、「ページ間余白メニュー」を「狭い」に設定してください。「通常」のままだと、「スタートフィード」での設定値が正しく反映されません。

 「[セット 3：巻き取り装置](#)」メニューを「On」に設定した場合 P.76

セット 18：障害物チェック

セット18: ショウガイブツチェック

ヘッド衝突防止センサーを使って、障害物の確認を行うかどうか設定します。

 「ヘッド衝突防止センサーについて」P.27

設定値

ショウガイブツチェック: Off

障害物の確認を行いません。

ショウガイブツチェック: On

ヘッド衝突防止センサーを使って、障害物の確認を行います。

初期値はこの設定です。

セット 19：初期化

セット19: ショキカ

本製品の各設定値を、工場出荷時の設定値（初期値）に戻します。

サブメニュー

ショキカ: ALL

全ての設定値を初期化します。

ショキカ: セッテイメニュー

設定メニューの設定値を初期化します。

セット 20：一時詳細表示

セット20: イチジショウサイヒョウジ

簡易選択メニューで非表示に設定した項目を、設定メニューで一時的に表示させることができます。

[Enter] キーを押すと、設定メニューのすべての項目が表示された状態で、前階層のメニューに戻ります。

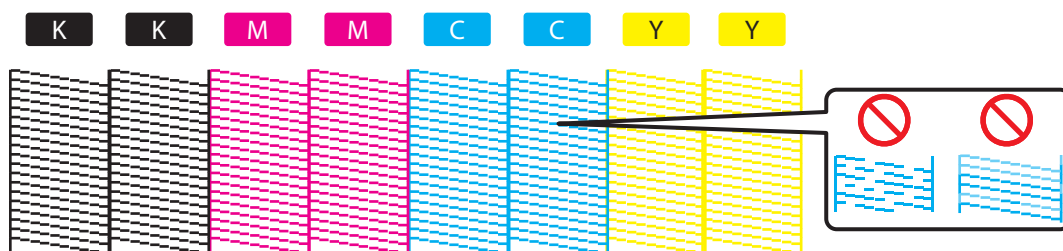
メニュー4: テスト作画

テスト 1: ノズルチェック

テスト1: ノズルチェック

印刷に使用するヘッドの目詰まりや印刷の欠け・かすれがないか確認をする時に使用します。

👉 「ノズルチェックの手順」P.43



Note

- 4色使用時のノズルチェックの印刷例です。
- プリンター情報（印刷時刻、シリアル番号、ファームウェアバージョン）が印刷されます。

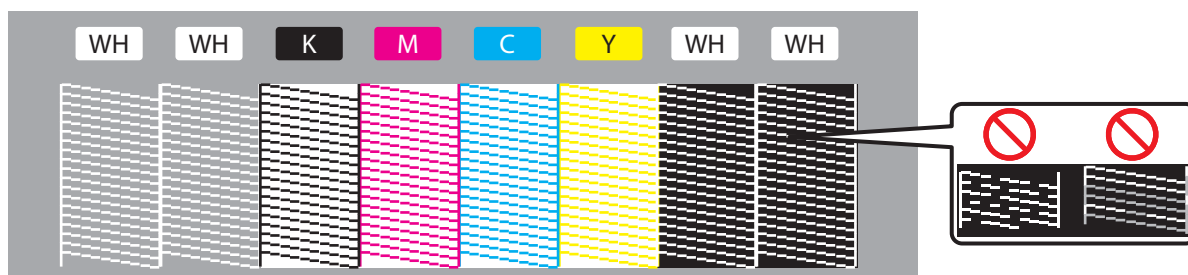
テスト 2: ノズルチェック B

テスト2: ノズルチェックB

一部のノズルチェックパターンの背景に色を付けて印刷します。

- ホワイトのノズルの背景が黒になります。
- CMYKのノズルは背景が白になります。

👉 「ノズルチェックの手順」P.43



Note

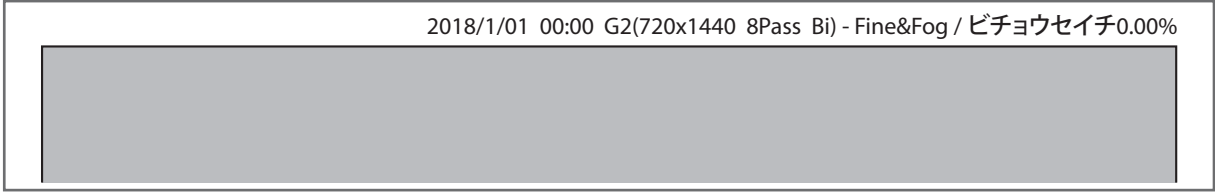
- 5色設定時のみ、メニューに「ノズルチェック B」を表示します。
- プリンター情報（印刷時刻、シリアル番号、ファームウェアバージョン）が印刷されます。

テスト3：モードプリント

テスト3: モードプリント

モードプリント印刷を行います。以下の印刷条件を確認するときに使用します。

- ・ 作画モード
- ・ エフェクト
- ・ 送り補正の微調整値



テスト4：設定内容

テスト4: セツテイナイヨウ

設定内容の印刷を行います。

現在の設定内容および、ユーザ定義を確認するときに使用します。

現在の設定内容

現在の設定内容

メニュー設定	設定値	Head HeightLow	Cleaning	ModeNormal
1) [1]ユーザ定義	Type 1	[1]メンテナンス		
2) [2]作画モード	Barner 2(エフェクト = Fine&Fog)	[2]メンテナンス		
3) [3]印刷速度	2500/2500mm	[3]メンテナンス		
4) [4]印刷濃度	60%	[4]スリープモード		
5) [5]ヒーター(下)	オフ	[5]スリープモードタイマー		
6) [6]ヒーター(上)	オフ	[1]印刷		
7) [7]送紙ファン	High	[2]清掃		
8) [8]送紙ファン	High	[3]戻り		
9) [9]送紙ファン	High	[4]リセットボタン		
10) [10]送紙ファン	High	[5]リセットボタン		
11) [11]送紙ファン	High	[6]リセットボタン		
12) [12]送紙ファン	High	[7]リセットボタン		
13) [13]送紙ファン	High	[8]リセットボタン		
14) [14]送紙ファン	High	[9]リセットボタン		
15) [15]送紙ファン	High	[10]リセットボタン		
16) [16]送紙ファン	High	[11]リセットボタン		
17) [17]送紙ファン	High	[12]リセットボタン		
18) [18]送紙ファン	High	[13]リセットボタン		
19) [19]送紙ファン	High	[14]リセットボタン		
20) [20]送紙ファン	High	[15]リセットボタン		
21) [21]送紙ファン	High	[16]リセットボタン		
22) [22]送紙ファン	High	[17]リセットボタン		
23) [23]送紙ファン	High	[18]リセットボタン		
24) [24]送紙ファン	High	[19]リセットボタン		
25) [25]送紙ファン	High	[20]リセットボタン		

各ユーザ定義設定

ユーザ定義	Type 1	Type 2	Type 3	Type 4	Type 5
作画モード	Graphics 2	Graphics 2	Graphics 2	Graphics 2	Graphics 2
作画モードエフェクト	Standard	Standard	Standard	Standard	Standard
送り補正	2500 / 2500mm	2500 / 2500mm	2500 / 2500mm	2500 / 2500mm	2500 / 2500mm
送り補正濃度	60%	60%	60%	60%	60%
ヒーター(上)	オフ	オフ	オフ	オフ	オフ
ヒーター(下)	オフ	オフ	オフ	オフ	オフ
送紙ファン	High	High	High	High	High
厚さ	170µm	170µm	170µm	170µm	170µm

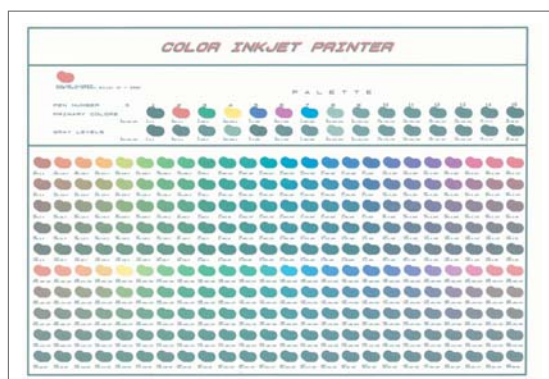
ユーザ定義	Type 6	Type 7	Type 8	Type 9	Type 10
作画モード	Graphics 2	Graphics 2	Graphics 2	Graphics 2	Graphics 2
作画モードエフェクト	Standard	Standard	Standard	Standard	Standard
送り補正	2500 / 2500mm	2500 / 2500mm	2500 / 2500mm	2500 / 2500mm	2500 / 2500mm
送り補正濃度	60%	60%	60%	60%	60%
ヒーター(上)	オフ	オフ	オフ	オフ	オフ
ヒーター(下)	オフ	オフ	オフ	オフ	オフ
送紙ファン	High	High	High	High	High
厚さ	170µm	170µm	170µm	170µm	170µm

ユーザ定義	Type 11	Type 12	Type 13	Type 14	Type 15
作画モード	Graphics 2	Graphics 2	Graphics 2	Graphics 2	Graphics 2
作画モードエフェクト	Standard	Standard	Standard	Standard	Standard
送り補正	2500 / 2500mm	2500 / 2500mm	2500 / 2500mm	2500 / 2500mm	2500 / 2500mm
送り補正濃度	60%	60%	60%	60%	60%
ヒーター(上)	オフ	オフ	オフ	オフ	オフ
ヒーター(下)	オフ	オフ	オフ	オフ	オフ
送紙ファン	High	High	High	High	High
厚さ	170µm	170µm	170µm	170µm	170µm

テスト5：パレット

テスト5: パレット

カラーデモとして、パレット印刷を行います。



Note

現在選択されているユーザ定義の作画モードが、「Banner 1」に設定されている場合は、「パレット作画」メニューは表示されません。



「** > 1：作画モード」P.62

メニュー5: クリーニング

ヘッドクリーニングを行います。

クリーニング: ビリョウ

「通常クリーニング」より少量のインクを消費します。

クリーニング: ツウジョウ

印刷作業の開始前と終了後にノズルチェックを行い、ノズル抜けがある場合に使用します。

クリーニング: キョウリョク

「通常クリーニング」より多くのインクを消費します。「通常クリーニング」でノズル抜けが直らない場合は「強力クリーニング」を行ってください。

クリーニング: ビリョウジュウテン

「強力クリーニング」よりかなり高いクリーニング効果がありますが、多くのインクを消費します。

クリーニング: ショキジュウテン

「微量充てん」よりかなり高いクリーニング効果がありますが、「微量充てん」よりかなり多くのインクを消費します。

メニュー6: 簡易選択

「メニュー 3：セッテイ」に各メニューを表示するかどうかを選択できます。

[Enter] キーを押すと、表示する・しないを変更できます。

[*] =表示する

[] =表示しない

1:[] フラッシング

「フラッシング」メニューを表示します。
初期値は [] です。

2:[] サイドマージン

「サイドマージン」メニューを表示します。
初期値は [] です。

3:[] マキトリソウチ

「マキトリソウチ」メニューを表示します。
初期値は [] です。

⋮

⋮

19:[*] ショキカ

「ショキカ」メニューを表示します。
初期値は [*] です。

20: ALL On

[Enter] キーを押すと、簡易選択メニューのすべての項目を [*] (表示する) に
します。

21: ALL Off

[Enter] キーを押すと、簡易選択メニューのすべての項目を [] (表示しない)
にします。

メニュー7: メンテナンス

メンテナンス 1: デイリーメンテナンス

メンテナンス1: デイリーメンテナンス

以下の場合に使用します。

- ・ヘッドクリーニングを行っても、ノズル抜けが直らない場合に清掃を行うとき
- ・スリープモードにせず、1日中印刷を行う場合にデイリーメンテナンスを行うとき

 「[デイリーメンテナンス後も印刷を行う場合の手順](#)」P.118

サブメニュー

デイリーメンテナンス: Start

[Enter] キーを押して、各部の清掃を行ってください。

デイリーメンテナンス: End

清掃が終了したら、[Enter] キーを押してください。

- ・自動で微量クリーニングを行います。

Important!

1日の作業終了後にデイリーメンテナンスを行う場合は、「[デイリーメンテナンス](#)」P.108を参照してください。

メンテナンス 2: 長期保存

メンテナンス2: チョウキホゾン

洗浄液でプリントヘッドを洗浄した後、プリントヘッドを洗浄液で満たします。以下の場合、長期保存を実行してから電源をOFFしてください。

- ・24時間以上電源をOFFする場合
- ・スリープモードで1週間に1度のお手入れができない場合

手順は以下を参照してください。

 「[長期保存と初期充てん](#)」P.131

メンテナンス 3：キャップアウト

メンテナンス3: キャップアウト

フラッシングボックス用吸収材、クリーニングワイパーの交換を行うときに使用します。

☞ 「フラッシングボックス用吸収材の交換」P.123

☞ 「クリーニングワイパーの交換」P.127

サブメニュー

キャップアウト: Start

[Enter] キーを押して、作業を行ってください。

- ・ キャリッジが本製品の中央へ移動します。
- ・ クリーニングワイパーが上側へ移動します。

キャップアウト: End

作業が終了したら、[Enter] キーを押してください。

- ・ キャリッジ、クリーニングワイパーが元の位置に移動します。

メンテナンス 4：ヘッド洗浄

メンテナンス4: ヘッドセンジョウ

洗浄液でプリントヘッドを洗浄した後、洗浄液を排出します。輸送前に行います。手順は以下を参照してください。

☞ 「輸送の方法」P.130

メンテナンス 5：インク置換

メンテナンス5: インクチカン

一部のインクチューブのインクを洗浄液に置換します。

- ・ このメニューは 5 色設定時のみ表示されます。
- ・ インクを洗浄液に置換した状態で印刷を行った場合、印刷ができません。洗浄液置換を行い、洗浄液をインクに置換してから、印刷を行ってください。

☞ 「メンテナンス 6：洗浄液置換」P.92

メンテナンス 6：洗浄液置換

メンテナンス6: センジョウエキチカン

一部のインクチューブの洗浄液をインクに置換します。

- ・ このメニューは 5 色設定時のみ表示されます。

メンテナンス7：カラーメンテナンス

メンテナンス7: カラーメンテナンス

長時間（24 時間以上）使用しない場合のスリープモード、または電源オフからの復帰時に、カラーメンテナンスを行います。

色合いの変化が気になる場合は、設定を ON にしてください。

設定値

カラーメンテナンス: OFF

カラーメンテナンスを行いません。
初期値はこの設定です。

カラーメンテナンス: ON

カラーメンテナンスを行います。
多くのインクを消費します。

メニュー8: バージョン

メニュー8: バージョン>

ファームウェアのバージョンを表示します。

Ver. M / H: X.XX / X.XX

メイン側 (M) およびヒーター側 (H) の
ファームウェアのバージョンを表示しま
す。

初期設定 4：サブネットマスク

シヨキセツテイ4: サブネットマスク

本製品のサブネットマスクを設定します。

- ・ [+] キー：設定値を増加させます。
- ・ [-] キー：設定値を減少させます。
- ・ [Enter] キー：入力を確定し、カーソルが次の設定値に移動します。
- ・ すべての設定値の入力を確定してください。

設定値

MASK: 255. 255. 255. 0

0.0.0.0 ~ <255.255.255.0> ~ 255.255.255.255

<> は初期値を表します。

初期設定 5：ゲートウェイ

シヨキセツテイ5: ゲートウェイ

本製品のゲートウェイを設定します。

- ・ [+] キー：設定値を増加させます。
- ・ [-] キー：設定値を減少させます。
- ・ [Enter] キー：入力を確定し、カーソルが次の設定値に移動します。
- ・ すべての設定値の入力を確定してください。

設定値

GW: 192. 168. 1. 254

0.0.0.0 ~ <192.168.1.254> ~ 255.255.255.255

<> は初期値を表します。

初期設定 6：警告ブザー

シヨキセツテイ6: ケイコクブザー

エラーが発生したときの警告ブザーの動作を設定します。

「Off」に設定することで、夜間に印刷するときなど、プリンター操作を行う人がいない場合に、警告ブザーが鳴り続けることを防止できます。

サブメニュー

ケイコクブザー: On

操作パネルのいずれかのキーを押すと、ブザー音が止まります。
初期値はこの設定です。

ケイコクブザー: Off

ブザー音が複数回鳴ると、キー操作を行わない場合でも、ブザー音は自動的に止まります。

メニュー10: Jobステータス

メニュー10: Jobステータス >

前回の印刷結果について、各種情報を表示します。

Jobステータス: カンリョウ

印刷が完了したかどうかを表示します。

- ・完了した場合:「カンリョウ」
- ・中断した場合:「キャンセル」

データナガサ: XXX.X m

印刷データの全長 (メディア送り方向) を表示します。

インサツズミ: XXX.X m

印刷済みの部分の長さを表示します。

インサツノコリ: XXX.X m

まだ印刷されていないデータの長さを表示します。

Note

- ・この機能で表示される数値は目安です。厳密な精度を保証するものではありません。
- ・印刷データに長さ情報が含まれていない場合は、すべての項目で「0」を表示します。
- ・この機能は、印刷動作が終了したデータについての情報を見る場合に使用します。印刷中のデータについては、「[印刷中に操作パネルでできること](#)」P.51の「[メニュー3: Jobステータス](#)」P.52を参照してください。

第3章 メンテナンス

メンテナンスについて	98
インクをかくはんする	99
インクをかくはんする.....	99
インクの確認と交換	101
インク残量を確認する.....	101
インクの交換が近づいたら	102
インクの交換.....	102
大容量パックアダプターのプラグ交換	104
廃液タンクを空にする	105
廃液タンクを空にする.....	105
デイリーメンテナンス	108
デイリーメンテナンスの流れ	108
デイリーメンテナンスの準備	109
デイリーメンテナンスを行う	111
デイリーメンテナンス後も印刷を行う場合の手順.....	118
ご使用にあわせたメンテナンス	120
ヘッドクリーニング	120
内部の清掃.....	122
消耗品の交換.....	123
フラッシングボックス用吸収材の交換	123
クリーニングワイパーの交換	127
輸送.....	129
移動の方法.....	129
輸送の方法.....	130
長期保存と初期充てん	131
長期間使用しないときには	131
長期保存を行う	132
初期充てんを行う	136

メンテナンスについて

本製品の性能を維持するために、お客様によるメンテナンスをお願いいたします。
メンテナンスには次のようなものがあります。

毎日の作業の開始前	「インクをかくはんする」P. 99 「ノズルチェックとクリーニング」P. 43
毎日の作業の終了後 1日に1回	「デイリーメンテナンス」P. 108
ご使用に合わせて	「ヘッドクリーニング」P. 120 「インクの交換」P. 102 「大容量パックアダプターのプラグ交換」P. 104 「廃液タンクを空にする」P. 105 「フラッシングボックス用吸収材の交換」P. 123
1か月に1度	「内部の清掃」P. 122
6か月に1度	「クリーニングワイパーの交換」P. 127
1週間以上使用しないとき	「ヘッドクリーニング」P. 120（1週間に1度）

Important!

次の場合には、サービスマンによる対応が必要となりますので、MUTOH カスタマーサポートまでお問い合わせください。

- ・重障害エラーが繰り返し発生した。
- ・各種モーター、ポンプの寿命を知らせるメッセージが表示された。

 「メッセージとエラーメッセージ」P. 140

 「お問い合わせ先」P. 156

インクをかくはんする

インクをかくはんする

インクの沈殿・凝固を防ぐため、インクを次の場合にかくはんしてください。

- ・初めて使用する前
- ・次のメッセージが表示されたとき

5 色設定時

Wカートリッジ フツテクダサイ

ホワイト (Wh) のインクをかくはんしてください。

- ・ 12 時間ごとに表示します

KMCY カートリッジ フツテクダサイ

ブラック (K)、マゼンタ (M)、シアン (C)、イエロー (Y) のインクをかくはんしてください。

- ・ 72 時間ごとに表示します。

ALL カートリッジ フツテクダサイ

すべてのインクをかくはんしてください。

4 色設定時

ALL カートリッジ フツテクダサイ

ブラック (K)、マゼンタ (M)、シアン (C)、イエロー (Y) のインクをかくはんしてください。

- ・ 72 時間ごとに表示します。

Important!

- ・ インクは定期的にかくはんする必要があります。
放置するとインクが沈殿・凝固し、画質不良や故障の原因となります。
- ・ インクをかくはんするメッセージが表示された後、12 時間までは一定時間経過しないと印刷できない状態が続きます。
12 時間経過後は、印刷ができなくなります。どちらの場合も、インクをかくはんすると復帰します。

注意



インクを取り扱う時は保護具 (手袋、ゴーグルまたは保護メガネ、保護マスク、保護衣) を着用してください。

インクが目に入ったり、皮膚に付着しないように注意してください。

目に入ったり皮膚に付着した場合は、直ちに水で洗い流してください。そのまま放置すると、目の充血や軽い炎症を起こす恐れがあります。万一異常がある場合は、直ちに医師にご相談ください。



 Note

大容量パックアダプターの詳しい取り扱い方法につきましては、大容量パックアダプターの取扱説明書を参照してください。

- [1] 

付属の手袋をはめ、大容量パックアダプターをインクカートリッジスロットから取り外します。
- [2] 

プリンター付属のペーパータオルで、大容量パックアダプターの差し込み口に付着しているインクを拭き取ります。
- [3] 

大容量パックアダプターを傾け、垂れてきたインクをクリーンスティックで吸い取ります。

 - ・傾けるときは、大容量パックアダプターの差し込み口がやや下を向くようにします。
 - ・傾けるときは、警告ラベルの貼付面が下向きになるようにします。
- [4] 

 - ・インクパックが大容量パックアダプターから抜けないように、上から押さえ、インクパックの差し込み口を上に向けて3秒待ちます。
 - ・次に、差し込み口を下に向けて3秒待ちます。
 - ・これを10回繰り返します。
- [5] 

大容量パックアダプターを元のカートリッジスロットに取り付けます。

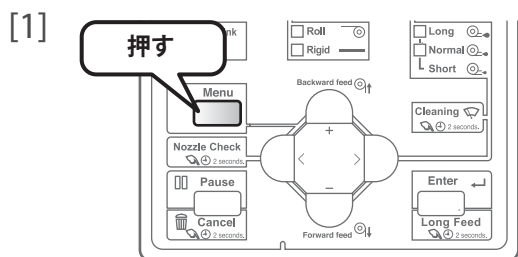
 - ・本製品のラベルと大容量パックアダプターの色を合わせてください。
 - ・奥までしっかり差し込んでください。

 **Important!**

大容量パックアダプターを戻すときは、元のカートリッジスロットに取り付けてください。同じ色であっても、別のカートリッジスロットに取り付けしないでください。

インクの確認と交換

インク残量を確認する



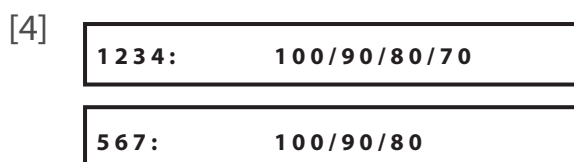
操作パネルの [Menu] キーを押します。



[-] キーを何回か押して、左の表示にします。
• [>] キーを押します。



[-] キーを何回か押して、左の表示にします。
• [Enter] キーを押します。



[-] キーを押すと、表示が切り替わります。
• インクの残量を 0% ~ 100% で表示します。

• 4色使用時

1 M1 (マゼンタ)	2 M2 (マゼンタ)	3 C1 (シアン)	4 C2 (シアン)
5 CI (洗浄液)	6 K (ブラック)	7 Y (イエロー)	

• 5色使用時

1 K (ブラック)	2 M (マゼンタ)	3 C (シアン)	4 Y (イエロー)
5 CI1 (洗浄液)	6 CI2 (洗浄液)	7 Wh (ホワイト)	

Note

インク残量が 10% で点滅表示している場合、対応しているインクカートリッジに対してスマートチップリカバリーが実行されています。

🔗 [「スマートチップリカバリー」P.145](#)

インクの交換が近づいたら

インクの残量が少なくなると、操作パネルのエラー LED が点滅し、ブザーが鳴ります。

手順

[1]

[2] インクスクナイ

[Enter] キーを押します。

- ・ブザーが停止します。
- ・左図では 2 番目のスロットのインクの交換が近づいています。

[2] 交換用のインクを用意します。



Note

スリープモード中は、ブザーを停止した後もスリープモードを継続します。

インクの交換

インクがなくなると、操作パネルのエラー LED が点灯し、ブザーが鳴ります。

また、印刷が一時停止します。新しいインクに交換すると再開します。



Important!

- ・本製品の電源がオフになっている場合は、インクを交換しないでください。インク残量の検出が正しくできなくなります。
- ・インクを寒い所から暖かい所へ移動させた場合は、移動先の環境に慣らすため、3 時間以上放置してから使用してください。



警告



インクパックは、火気や高温のものから遠ざけてください。
火災の原因となります。



注意



インクを取り扱う時は保護具（手袋、ゴーグルまたは保護メガネ、保護マスク、保護衣）を着用してください。

インクが目に入ったり、皮膚に付着しないように注意してください。

目に入ったり皮膚に付着した場合は、直ちに水で洗い流してください。そのまま放置すると、目の充血や軽い炎症を起こす恐れがあります。万一異常がある場合は、直ちに医師にご相談ください。



手順

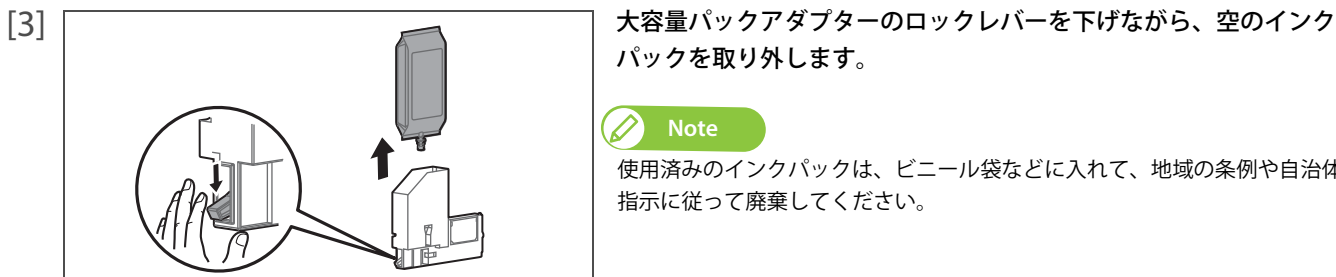
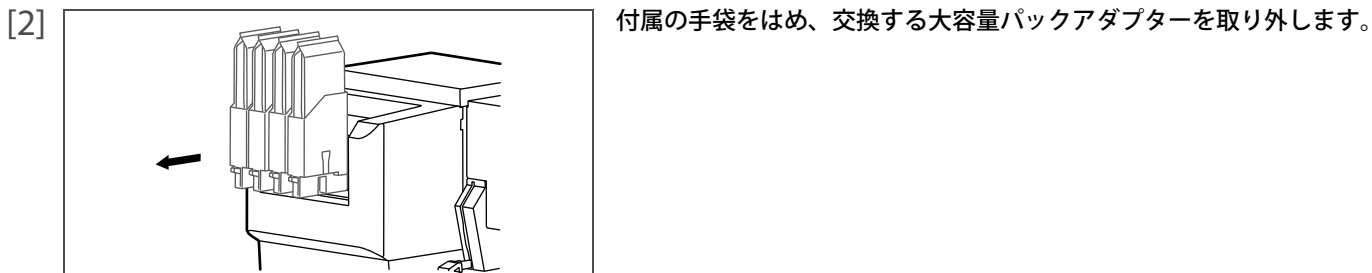
1. 大容量パックアダプターの取り外し

[1]

[46] インクナシ

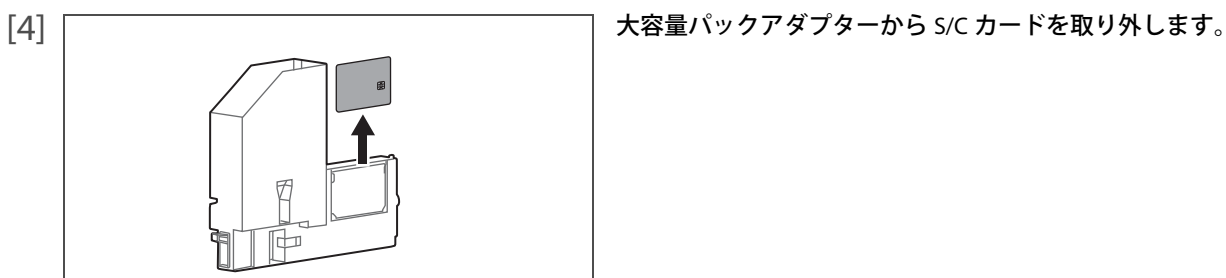
操作パネルの [Enter] キーを押します。

- ・ブザーが停止します。
- ・左図では 4 番目と 6 番目のスロットのインクの交換が必要です。

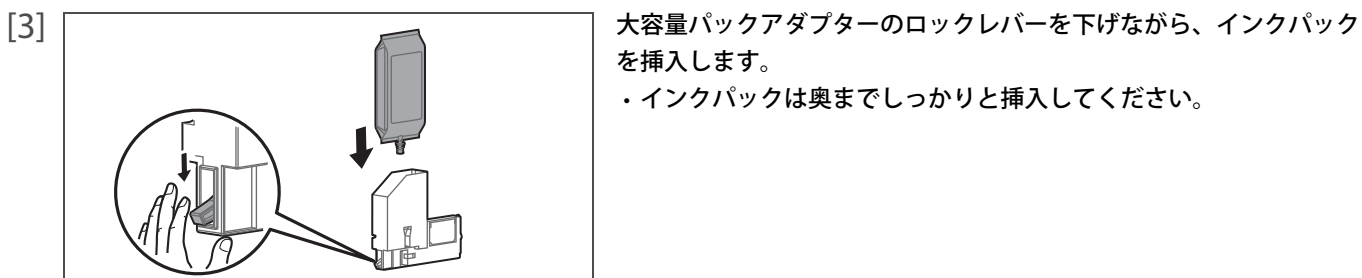
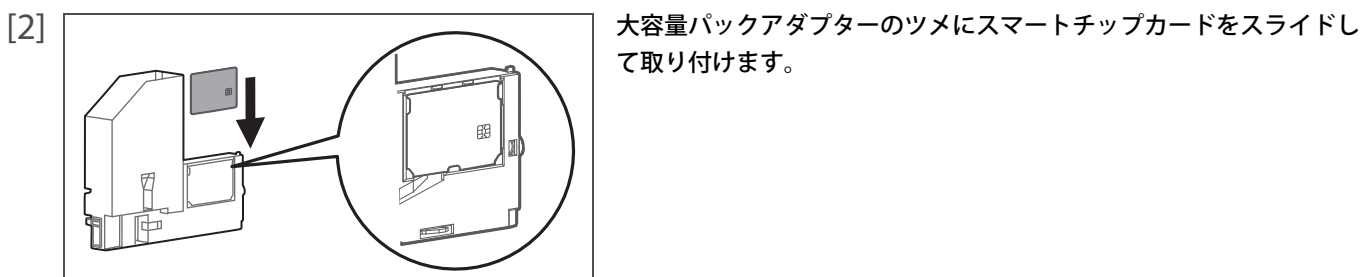
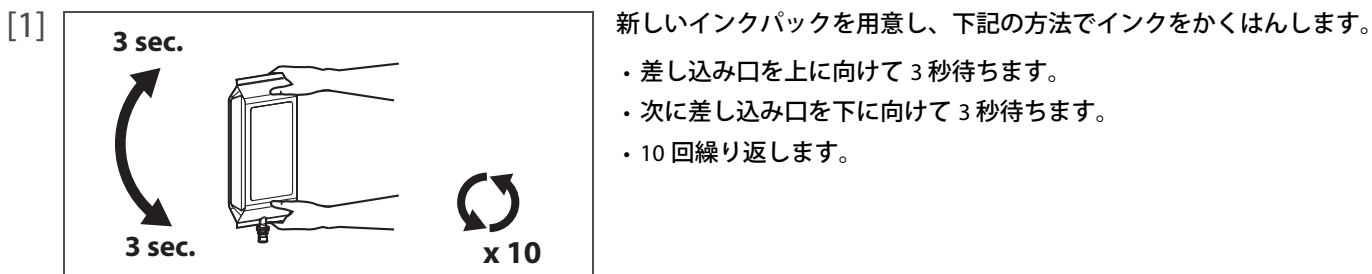


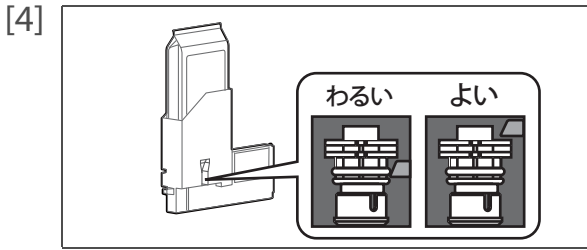
 Note

使用済みのインクパックは、ビニール袋などに入れて、地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

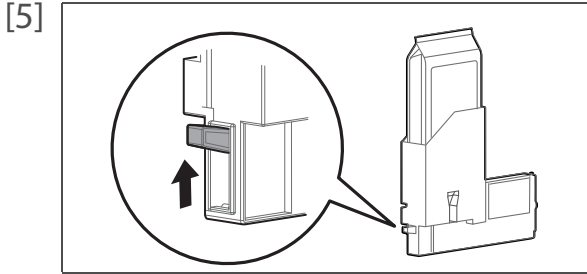


2. インクパックの取り付け

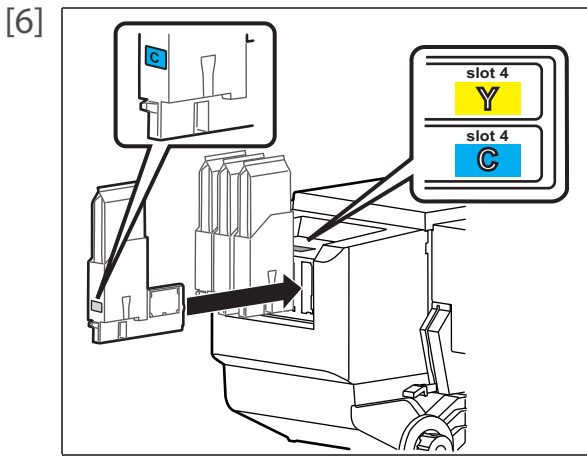




インクパックが奥まで差し込まれ、ロックしていることを確認します。



大容量パックアダプターのロックレバーが元の位置に戻っていることを確認します。



大容量パックアダプターを差し込みます。

- ・本製品のラベルと大容量パックアダプターの色を合わせてください。
- ・奥までしっかり差し込んでください。

大容量パックアダプターのプラグ交換

プラグ寿命がなくなると、操作パネルのエラー LED が点灯し、メッセージが表示されます。
以下の手順で新しいプラグに交換してください。



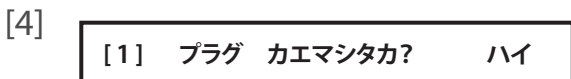
[Enter] キーを押します。

- [2] 大容量パックアダプターの取扱説明書を見ながら、プラグを交換します。
📖 大容量パックアダプター取扱説明書「3.3 アダプタープラグの交換」



交換後、大容量パックアダプターを取り付けると、左のメッセージが表示されます。

- ・[-] キーを押します。



[Enter] キーを押します。

- ・大容量パックアダプターの寿命がリセットされます。

Important!

- ・アダプタープラグを交換していない場合は、「ハイ」を選択しないでください。
- ・アダプタープラグを交換しないまま使用すると、インク漏れの原因となります。

廃液タンクを空にする

廃液タンクを空にする

次の場合には、廃液タンクの廃液を容器に移して排出してください。

- 印刷開始前に廃液が廃液タンクに半分以上たまっている場合
- ディスプレイ表示に「ハイエキワ カラニシテクダサイ → E」と表示された場合
- ディスプレイ表示に「ハイエキタンク マンタン」と表示された場合

ディスプレイ表示

ハイエキワ カラニシテクダサイ → E

廃液を排出してください。

- 洗浄動作は停止します。排出後、[Enter] キーを押すと再開します。

ハイエキタンク マンタン

廃液タンクが満タンになりました。ただちに廃液を排出してください。

- 印刷などの動作は停止します。排出後、再開します。

⚠ 注意



インクを取り扱う時は保護具（手袋、ゴーグルまたは保護メガネ、保護マスク、保護衣）を着用してください。

インクが目に入ったり、皮膚に付着しないように注意してください。

目に入ったり皮膚に付着した場合は、直ちに水で洗い流してください。そのまま放置すると、目の充血や軽い炎症を起こす恐れがあります。万一異常がある場合は、直ちに医師にご相談ください。



1. 廃液を容器に移す

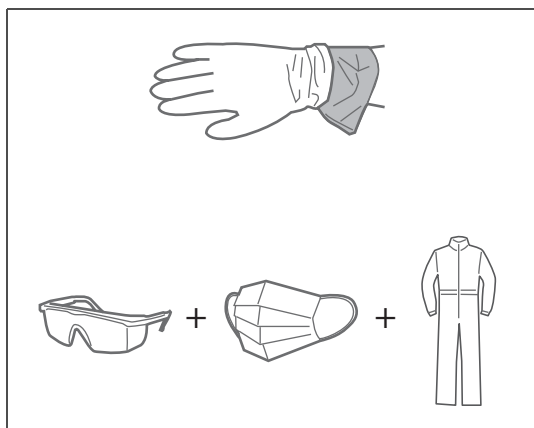
- [1] 廃液を移し替える容器を用意します。

Important!

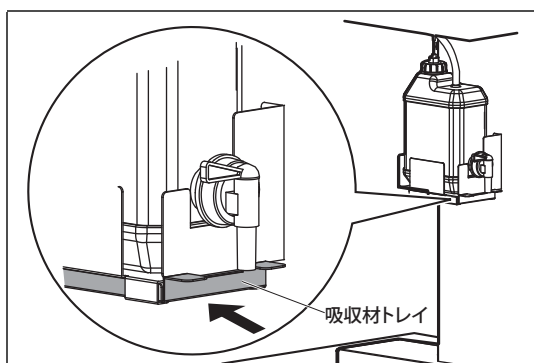
廃液タンクの容量は 2,000ml です。廃液を排出するときは、十分な容量の容器を用意してください。

- [2] いらない用紙などを廃液タンクの下に敷きます。

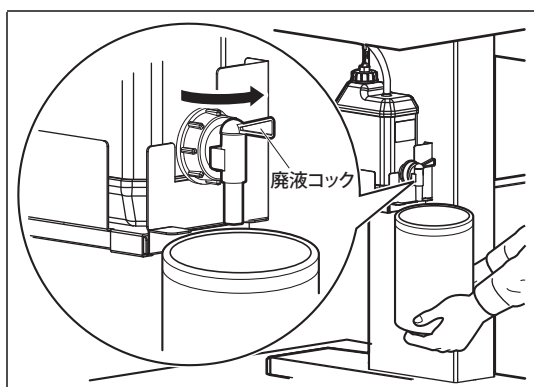
- [3] 手袋、ゴーグル、保護マスク、保護衣など保護具を着用します。



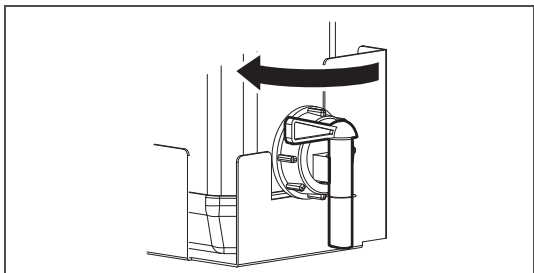
- [4] 廃液ボトル受けの吸収材トレイを押しして収納します。



- [5] 廃液コックを開き、空容器に廃液を移します。

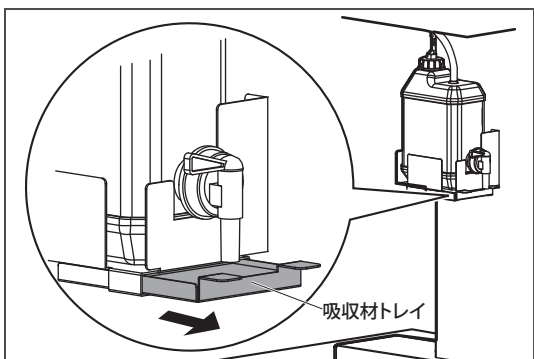


[6] 廃液を空容器に移し終わったら、廃液コックを確実に閉めます。



[7] 廃液コックの口を布などでふき取ります。

[8] 吸収材トレイを引き出します。



[9] 廃液は産業廃棄物として処理します。

警告



プリンターから出る廃液は、産業廃棄物（事業系 19 品目の内）の廃油（廃インキ）に該当します。廃棄物処理法および各自治体の条例に基づき、適正な廃液処理が義務付けられます。廃液処理業者に処理を委託してください。

デイリーメンテナンス

デイリーメンテナンスの流れ

本製品は日常のメンテナンスが必要です。1日の作業終了後に、以下の流れに従って、デイリーメンテナンスを行ってください。

- 前回のデイリーメンテナンスから一定時間が経過すると、操作パネルに「デイリーメンテナンス シテクダサイ」と表示されます。かならずメンテナンスを行ってください。

Important!

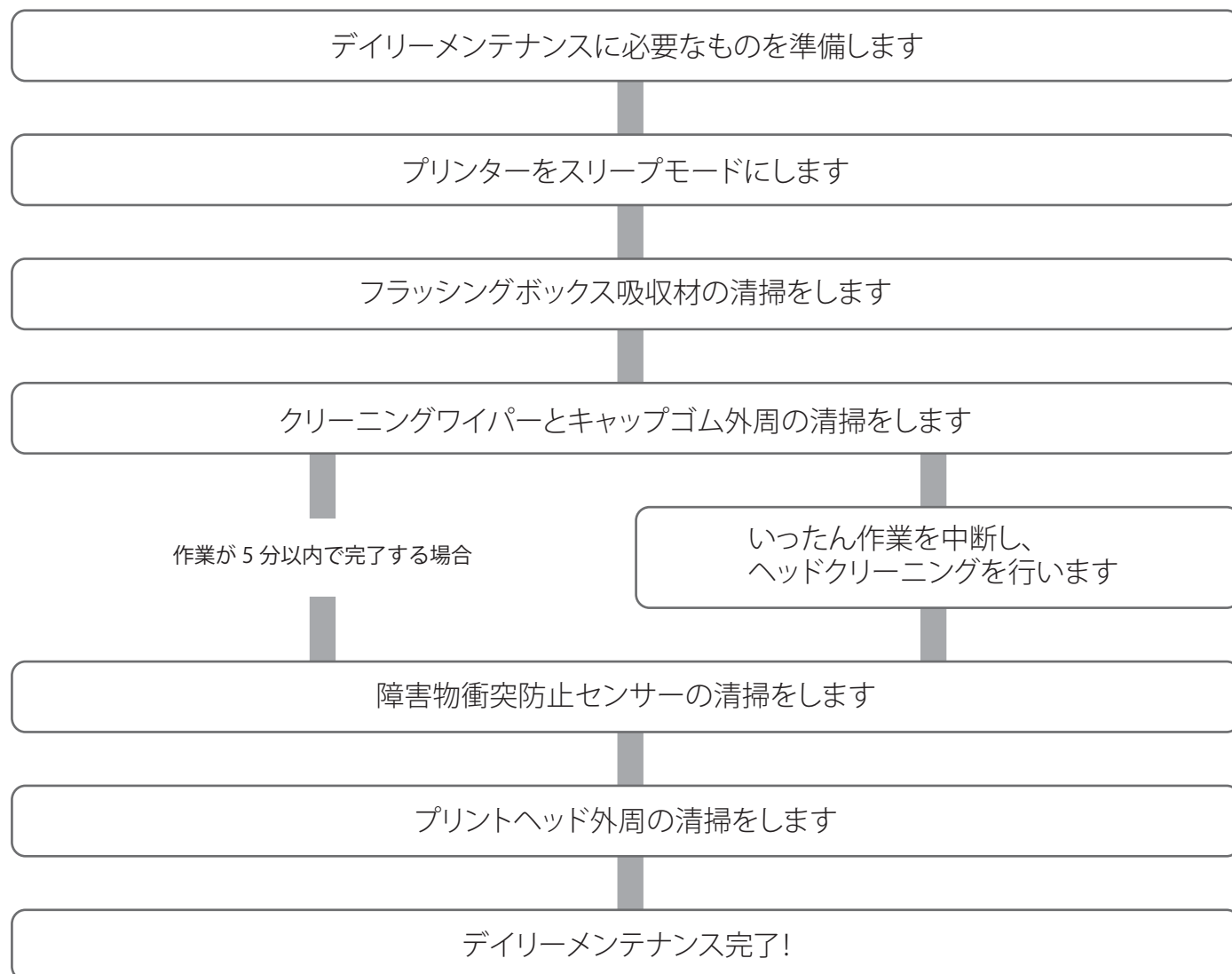
スリープモードにせず1日中印刷を行う場合も、1日に1回、かならずデイリーメンテナンスを行ってください。

デイリーメンテナンスを行わない場合、画質不良や故障の原因となります。

スリープモードにしない場合は、パネル設定メニューの「メンテナンス1: デイリーメンテナンス」から、各部の清掃を行ってください。

👉 「メンテナンス1: デイリーメンテナンス」P.91

👉 「デイリーメンテナンス後も印刷を行う場合の手順」P.118



デイリーメンテナンスの準備

用意するもの

[1] デイリーメンテナンスを行う場合は、以下のものを用意します。



Important!

- ペーパータオルは付属のもの、または別売品のポリニットワイパーをご使用ください。ティッシュペーパーは使用しないでください。紙から出る繊維や粉じんが、プリントヘッドの故障の原因となります。
- メンテナンス液は、専用のもの以外を使用しないでください。
- スポイト用カップは、ボトルからメンテナンス液を直接取ることができない場合に使用してください。取り分けたメンテナンス液が余った場合は、ホコリが入らないようにビニール袋、ラップ等で覆って保管してください。
- 専用メンテナンス液などの別売品のご購入は、お買い求めの MUTOH 製品取扱店または MUTOH 各営業所にお問い合わせください。

「オプション・サプライ品リスト」P.159

[2] 手袋、ゴーグル、保護マスク、保護衣など保護具を着用します。

注意



インクを取り扱う時は保護具（手袋、ゴーグルまたは保護メガネ、保護マスク、保護衣）を着用してください。

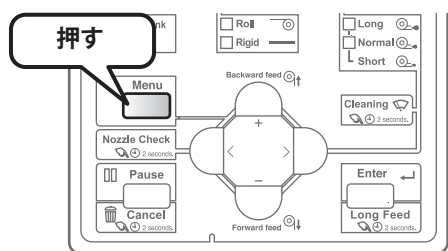
インクが目に入ったり、皮膚に付着しないように注意してください。

目に入ったり皮膚に付着した場合は、直ちに水で洗い流してください。そのまま放置すると、目の充血や軽い炎症を起こす恐れがあります。万一異常がある場合は、直ちに医師にご相談ください。



スリープモードにする

[1]



[Menu] キーを押します。

[2]

メニュー1: スリープモード >

[>] キーを押します。

[3]

スリープモード: スタート

[Enter] キーを押します。

[4]

スリープモードヲカイシマスカ?

[Enter] キーを押します。

[5]

デイリーメンテナンス: Start

[Enter] キーを押します。

[6]

アライナガシ シマスカ?: イエ

4色設定でお使いの場合、クリーニングワイパーユニットおよびフラッシングボックスを洗浄液で洗い流すかどうかを選択します。

アライナガシ シマスカ?: ハイ

- ・「アライナガシ シマスカ? イイエ」: 洗い流しを行いません。
- ・「アライナガシ シマスカ? ハイ」: 洗い流しを行います。

Note

洗い流しを行うことで、フラッシングボックス吸収材の交換までの寿命をのばすことができます。ただしプリントヘッド内のインクが洗浄液により排出されるため、インクを消費します。

[7]

クリーニングチュウ ** %

自動で微量クリーニングを行います。

シバラクオマチクダサイ

- ・キャリッジがメンテナンス位置へ移動します。
- ・クリーニングワイパーが上側へ移動します。

[8]

デイリーメンテナンス: End

- 左のメッセージが表示されます。
- ・デイリーメンテナンスを行います。

Important!

- ・デイリーメンテナンスの作業時間の目安は5分以内です。作業が長引くと、乾燥によりプリントヘッドの故障の原因となります。
- ・作業時間が5分を超えそうな場合は、いったん作業を中止し、ヘッドクリーニングを実行してから、再度清掃作業を行ってください。

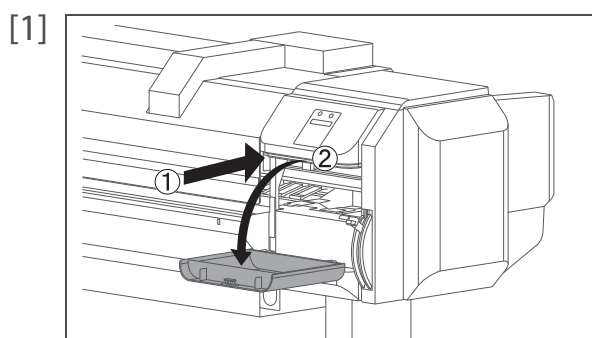
デイリーメンテナンスを行う

Important!

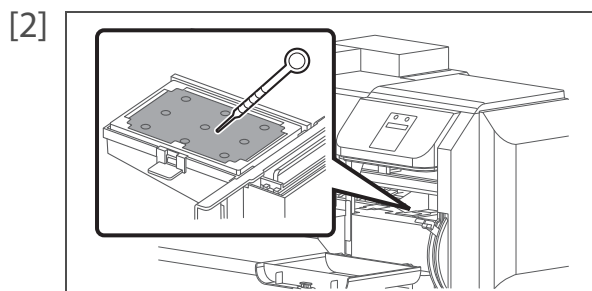
デイリーメンテナンスを行うときは、以下を守ってください。

- クリーニングワイパおよびヘッドキャップユニットには手を触れないでください。油脂が付着してヘッドクリーニングが正常に行えなくなる恐れがあります。
- プリントヘッド表面を指やクリーンスティックでさわらないでください。プリントヘッドの故障の原因となります。
- 必ずクリーンスティックを使用して、専用メンテナンス液に浸してから拭き取ってください。専用メンテナンス液以外で拭き取ると、プリントヘッドが目詰まりする原因となります。
- クリーンスティックの先端を指でさわらないでください。皮脂が付着するとプリントヘッドの故障の原因となります。

1. フラッシングボックス吸収材を清掃する



製品右側のメンテナンスカバーを開けます。

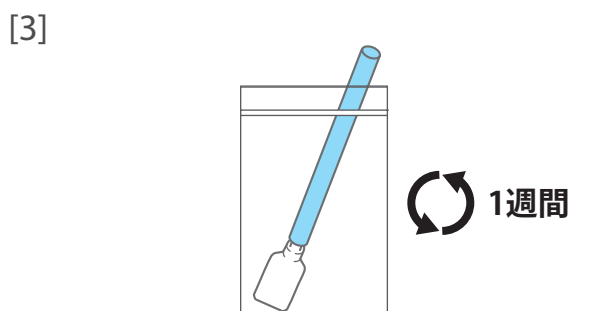


スポイトを使用して、メンテナンス液をフラッシングボックス吸収材全体に垂らします。

- 使用量目安：3.0 ml

Note

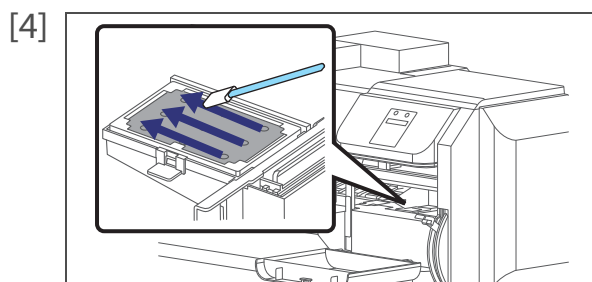
クリーンスティック用カップに取り分けたメンテナンス液は使用しないでください。



フラッシング吸収材を清掃するクリーンスティックを用意します。

Important!

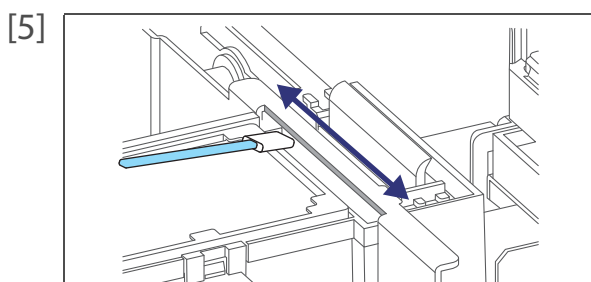
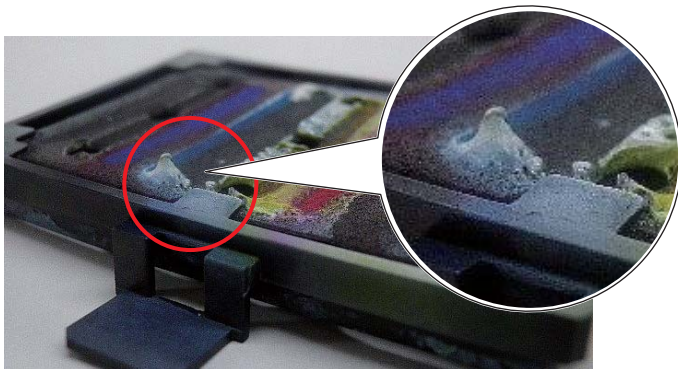
クリーンスティックの使用目安は1週間です。1週間経過後、または付着したインクが取れなくなった場合は、新しいクリーンスティックに交換してください。



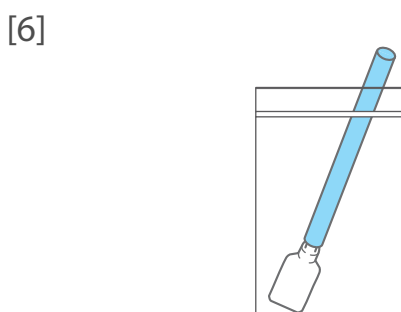
クリーンスティックを使用して、フラッシングボックス吸収材全体を拭き取ります。

インクのかたまりが堆積し、クリーンスティックを使っても取り除けない場合は、フラッシングボックス吸収材を交換してください。

👉 「フラッシングボックス用吸収材の交換」P. 123



フラッシングボックスとクリーニングワイパーとの間の部品のへりに付着したインクを拭き取ります。

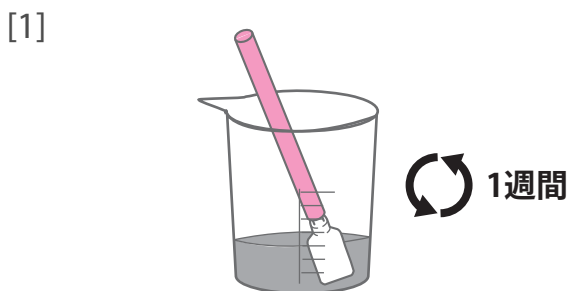


清掃後、フラッシングボックス吸収材を清掃したクリーンスティックは、チャック付き袋に入れて保管してください。

 Note

クリーンスティックにホコリが付着しないように、袋のチャックをしっかりと閉めて保管してください。

2. クリーニングワイパーとキャップゴム外周を清掃する

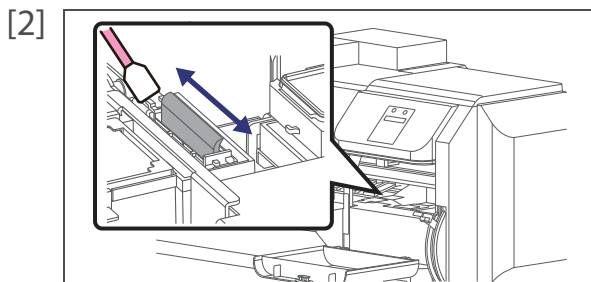


クリーニングワイパー、キャップゴム外周を清掃するクリーンスティックを用意します。

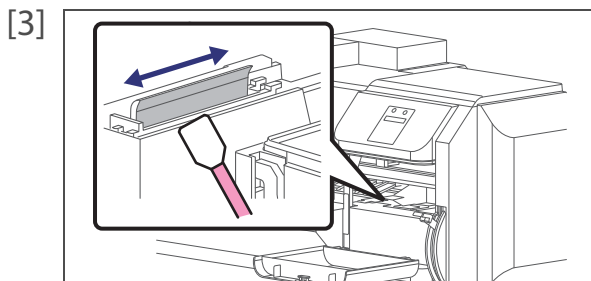
- ・クリーンスティック用カップにメンテナンス液を 30 ml 注ぎ、クリーンスティックを浸します。

 Important!

- ・クリーンスティックの使用目安は 1 週間です。
1 週間経過後、または付着したインクが取れなくなった場合は、新しいクリーンスティックに交換してください。
- ・専用メンテナンス液は、必ず 1 週間ごとに交換してください。
清掃中に、クリーンスティックが汚れた場合は、専用メンテナンス液に浸して、洗浄してください。



クリーンスティックで、クリーニングワイパーを拭き取ります。
 ・クリーニングワイパーの左側面を前後に拭き取ります。

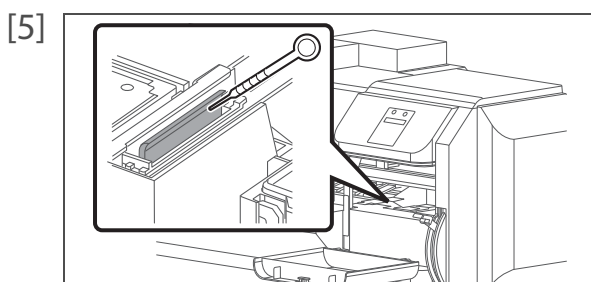
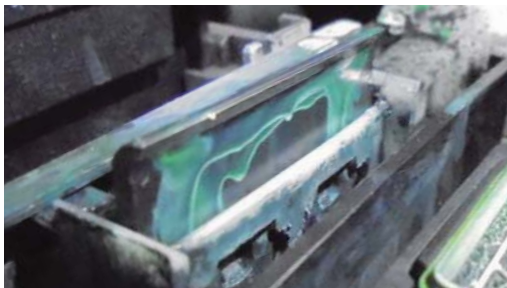


クリーニングワイパーの右側面を前後に拭き取ります。

[4] クリーニングワイパー周辺部がきれいになっているか確認します。
 クリーニングワイパー左側



クリーニングワイパー右側



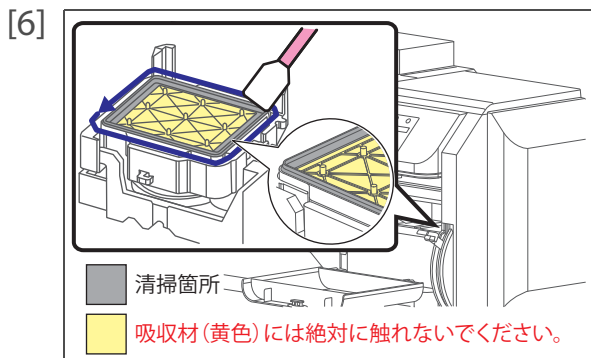
スポイトを使用して、汚れていないメンテナンス液をクリーニングワイパー全体に垂らします。

・使用量目安：5.0 ml



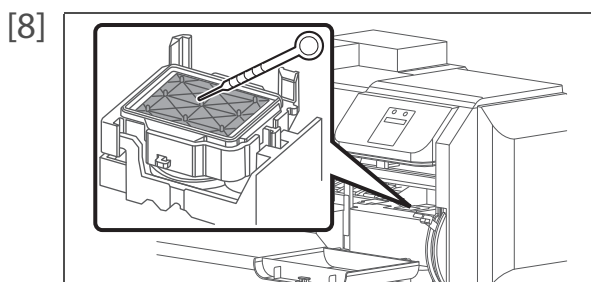
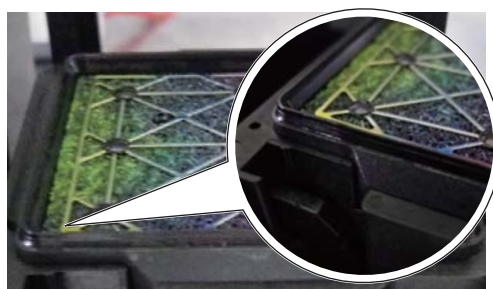
Note

クリーンスティック用カップに取り分けたメンテナンス液は使用しないでください。



クリーンスティックを使用して、キャップゴム外周と、キャップゴムのふちに付着したインクやホコリを拭き取ります。

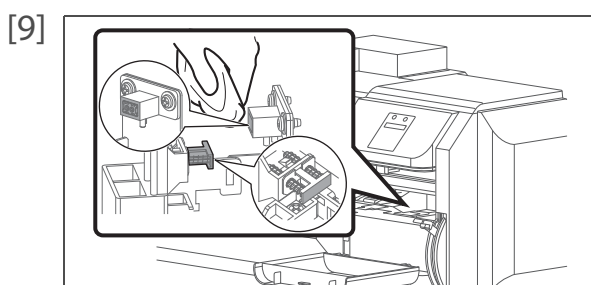
[7] キャップゴムがきれいになっているか確認します。



スポイトを使用して、汚れていないメンテナンス液をキャップ吸収材全体に垂らします。
・使用量目安：1.5 ml

Note

クリーンスティック用カップに取り分けたメンテナンス液は使用しないでください。



ペーパータオルをメンテナンス液数滴で湿らせ、エアバルブに付着したインクを完全に拭き取ります。

Note

メンテナンス液が直接手に触れないように、手袋を着用して作業を行ってください。

[10] 引き続き、障害物衝突防止センサーの清掃を行います。

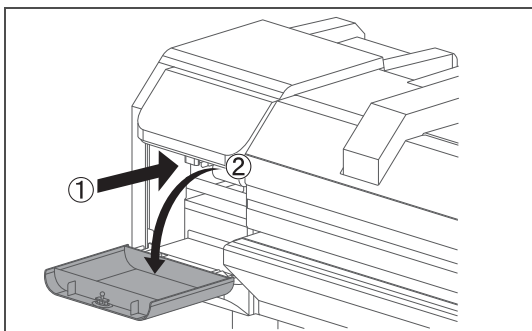
「ヘッド衝突防止センサーを清掃する」P.115

Important!

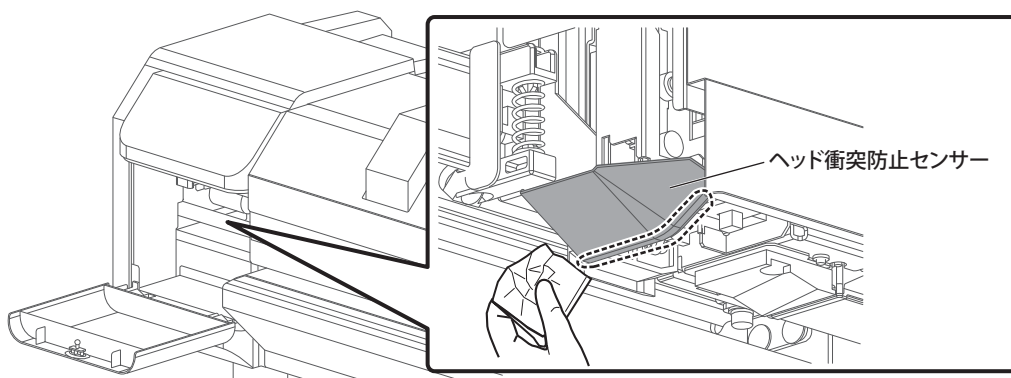
- ・ デイリーメンテナンスの作業時間の目安は 5 分以内です。
- ・ 作業時間が 5 分を超えそうな場合は、いったん作業を中止し、ヘッドクリーニングを実行してから、再度清掃作業を行ってください。

3. ヘッド衝突防止センサーを清掃する

- [1] 製品左側のメンテナンスカバーを開けます。



- [2] ヘッド衝突防止センサーの下面がインクで汚れていないか確認します。
・汚れている場合は、ペーパータオルをメンテナンス液数滴で湿らせ、付着したインクを拭き取ります。



Important!

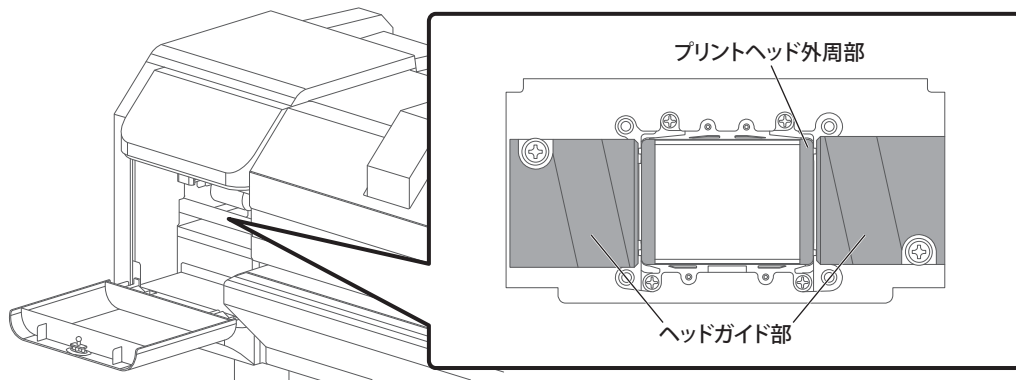
- ・メンテナンス液が直接手に触れないように、手袋を着用して作業を行ってください。
- ・センサーの破損を防ぐため、センサーが上下に動かないように手で押さえて、清掃を行うことをおすすめします。
- ・力を入れてセンサーの清掃を行わないでください。センサーの破損につながる恐れがあります。

- [3] 引き続き、プリントヘッド外周の清掃を行います。

👉 [「プリントヘッド周辺を清掃する」P.116](#)

4. プリントヘッド周辺を清掃する

- [1] キャリッジの下側を見て、クリーンスティックで清掃します。
- ・プリントヘッド外周（銀色の金属部分）
 - ・ヘッドガイド部（黒色プラスチック）



- [2] キャリッジの下側に付着したインクやホコリを、クリーンスティックで清掃します。

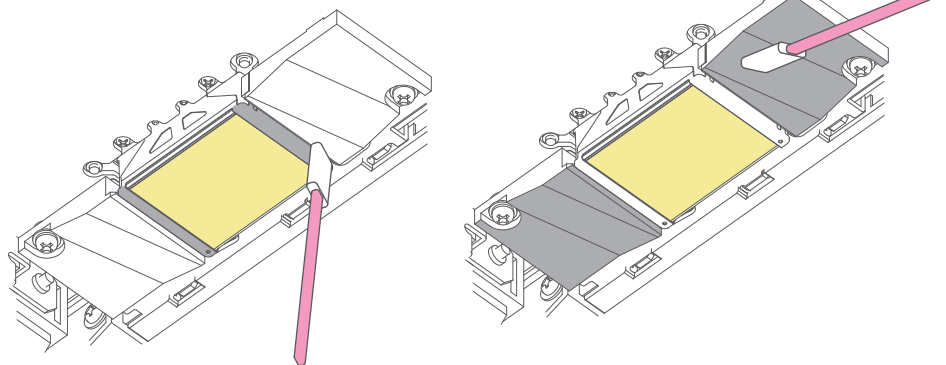
■ 清掃箇所

■ ヘッド面(黄色)には絶対に触れないでください。

プリントヘッド外周(銀色の金属部分)

ヘッドガイド部(黒色プラスチック)

※ヘッドガイド部とヘッドのすき間も清掃してください。



Important!

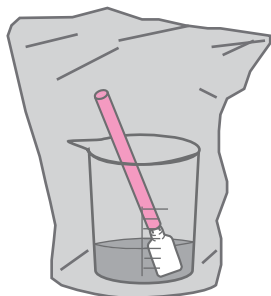
- ・プラテンやメディアガイドにはさわらないようにしてください。温度が高くなっている場合があります。
- ・メンテナンス液が飛び散ってプリンターに付着した場合は、ペーパータオルで拭き取ってください。

[3] プrintヘッド周辺がきれいになっているか確認します。



[4] メンテナンスカバーを閉じます。

[5]



清掃後、クリーンスティックはメンテナンス液に浸して保管してください。

Important!

- ・専用メンテナンス液に、ホコリが入らないようにビニール袋、ラップ等で覆って保管してください。
- ・専用メンテナンス液は、ボトルのふたをしっかりと閉めて保管してください。

[6] 続いて、デイリーメンテナンスを終了します。

5. デイリーメンテナンスを終了する

[1]

デイリーメンテナンス: End

- [Enter] キーを押します。
・スリープモードに移行します。

[2] スポイトに付着した専用メンテナンス液を、ペーパータオルで拭きます。

[3] デイリーメンテナンスを終了します。

デイリーメンテナンス後も印刷を行う場合の手順

以下の場合に、清掃を行ってください。

- ・ヘッドクリーニングを行っても印刷のかすれ・欠けがなくならないとき
- ・スリープモードにせず、1日中印刷を行う場合にデイリーメンテナンスを行うとき

準備：

「[デイリーメンテナンスの準備](#)」P.109 を参照して、準備をしてください。

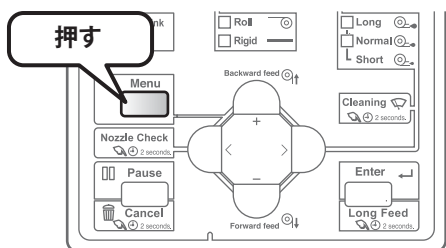
Important!

以下の手順は、メンテナンス後も印刷を行うときの手順です。

1日の作業終了後にデイリーメンテナンスを行うときは、スリープモードにして、メンテナンスを行ってください。

👉 「[デイリーメンテナンス](#)」P.108

1. デイリーメンテナンス状態にする

- [1]  [Menu] キーを押します。
- [2]

メニュー1:	スリープモード >
--------	-----------

 左のメッセージが表示されます。
- [3]

メニュー7:	メンテナンス >
--------	----------

 [-] キーを何回か押して、左の表示にします。
・ [>] キーを押します。
- [4]

メンテナンス1:	デイリーメンテナンス
----------	------------

 [Enter] キーを押します。
- [5]

デイリーメンテナンス:	Start
-------------	-------

 [Enter] キーを押します。
- [6]

アライナガシ シマスカ?:	イイエ
---------------	-----

アライナガシ シマスカ?:	ハイ
---------------	----

 4色設定でお使いの場合、クリーニングワイパーユニットおよびフラッシングボックスを洗浄液で洗い流すかどうかを選択します。
・ 「アライナガシ シマスカ? イイエ」：洗い流しを行いません。
・ 「アライナガシ シマスカ? ハイ」：洗い流しを行います。

Note

洗い流しを行うことで、フラッシングボックス吸収材の交換までの寿命をのばすことができます。ただしプリントヘッド内のインクが洗浄液により排出されるため、インクを消費します。

- [7]

クリーニングチュウ	** %
-----------	------

 自動で微量クリーニングを行います。
- | |
|-------------|
| シバラクオマチクダサイ |
|-------------|
- ・ キャリッジがメンテナンス位置へ移動します。
 - ・ クリーニングワイパーが上側へ移動します。
- [8]

デイリーメンテナンス:	End
-------------	-----

 左のメッセージが表示されます。
- ・ デイリーメンテナンスを行います。

2. 各部の清掃を行う

清掃箇所と手順は、「デイリーメンテナンス」P.108 と同一です。

「デイリーメンテナンスを行う」P.111 を参照して、各部の清掃を行ってください。

- ・ 「フラッシングボックス吸収材を清掃する」P.111
- ・ 「クリーニングワイパーとキャップゴム外周を清掃する」P.112
- ・ 「ヘッド衝突防止センサーを清掃する」P.115
- ・ 「プリントヘッド周辺を清掃する」P.116

Important!

- ・ デイリーメンテナンス状態での作業時間の目安は 5 分以内です。
- ・ 作業時間が 5 分を超えそうな場合は、いったん作業を中止し、ヘッドクリーニングを実行してから、再度清掃作業を行ってください。

3. デイリーメンテナンスを終了する

- [1] フロントカバーとメンテナンスカバーを閉じます。
- [2]

デイリーメンテナンス:	End
-------------	-----



 [Enter] キーを押します。
- [3] スポイトに付着した専用メンテナンス液を、ペーパータオルで拭きます。
- [4] 各部の清掃を終了します。

ご使用にあわせたメンテナンス

ヘッドクリーニング

ノズルチェックをしてノズル抜けがあったときはヘッドクリーニングを行ってください。ヘッドクリーニングはインクを消費します。

本製品にはいくつかのクリーニングモードがあります。ご使用状況によって使いわけてください。

微量クリーニング	通常クリーニングより少量のインクを消費します。
通常クリーニング	印刷作業の開始前と終了後にノズルチェックを行い、ノズル抜けがある場合に使用します。
強力クリーニング	通常クリーニングより多くのインクを消費します。通常クリーニングでノズル抜けが直らない場合は強力クリーニングを行ってください。
微量充てん	強力クリーニングよりかなり高いクリーニング効果がありますが、多くのインクを消費します。 [Cleaning] キーからは選択できません。パネル設定メニューのクリーニングメニューから選択します。  「メニュー 5: クリーニング」P. 89
初期充てん	微量充てんよりかなり高いクリーニング効果がありますが、かなり多くのインクを消費します。 [Cleaning] キーからは選択できません。パネル設定メニューのクリーニングメニューから選択します。  「メニュー 5: クリーニング」P. 89

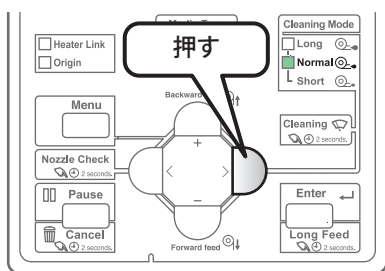
Important!

微量充てん、初期充てんを行うときは、以下のことを遵守してください。
充てん動作が中断するため、再充てんによるインクの損失が発生します。

- ・フロントカバー、メンテナンスカバーを開かないこと。
- ・インク残量の少ないインクパックを使用しないこと。

ヘッドクリーニングの手順

[1]

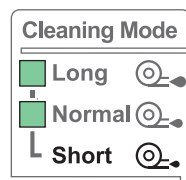


[Cleaning] キーを押して、クリーニングモードを選択します。

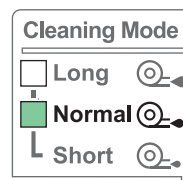
- [Cleaning Mode] ランプが切り替わります。

Note

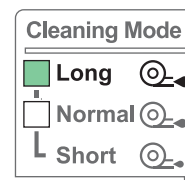
- MSM のリモートパネルでも同じことができます。
- [Cleaning Mode] ランプは下図のように切り替わります。



微量クリーニング

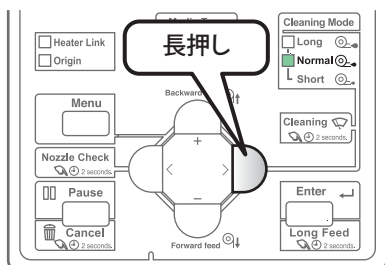


通常クリーニング



強力クリーニング

[2]



[Cleaning] キーを 2 秒以上長押しします。

- クリーニングを開始します。

[3] ノズルチェックを行います。

- ノズル抜けが直っていない場合は、クリーニングとノズルチェックを繰り返してください。

 [「ヘッドクリーニングの手順」 P.121](#)

Note

- 通常クリーニングを数回繰り返してもノズル抜けが直らない場合は、強力クリーニングを行ってください。
- 強力クリーニングを数回繰り返してもノズル抜けが直らない場合は、「[デイリーメンテナンス後も印刷を行う場合の手順](#)」 P.118 に従ってメンテナンスを行ってください。
- どうしてもノズル抜けが直らない場合は、パネル設定メニューの「クリーニングメニュー」から「微量充てん」を行ってください。

内部の清掃

清掃時期：

- 1か月に1度
- インク汚れやほこりが見えるとき

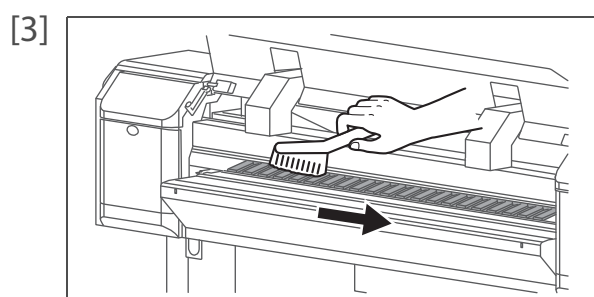
必要なもの

- 柔らかいブラシ
- 柔らかい布

手順

[1] メディアを取り外します。

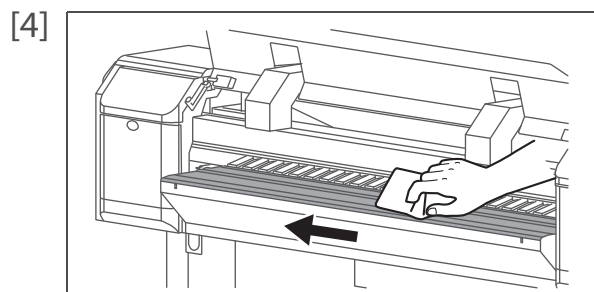
[2] フロントカバーを開きます。



柔らかいブラシを使って、加圧ローラーのホコリを払います。

Important!

本製品内部に付着したホコリをエアダスターなどで吹き飛ばさないでください。
ホコリが可動部に付着して、異音や故障の原因となる恐れがあります。



水を含ませてよく絞った柔らかい布で、プラテンとメディアガイドの汚れを取ります。

[5] フロントカバーを閉じます。

消耗品の交換

フラッシングボックス用吸収材の交換

フラッシングボックスは、プリントヘッドが排出するインクを受ける部品です。フラッシングボックス用吸収材は定期的に交換してください。交換せずに使用し続けると、プリントヘッドが故障する原因になります。

交換時期の目安：

- ・フラッシングボックス枠が変形した場合
- ・フラッシングボックス用吸収材上に堆積したインクが、フラッシングボックス枠より盛り上がった場合

必要なもの

- ・保護具（手袋、ゴーグルまたは保護メガネ、保護マスク、保護衣）
- ・フラッシングボックス用吸収材
- ・汚れてもかまわない紙（インクが裏抜けしないもの）

⚠ 注意



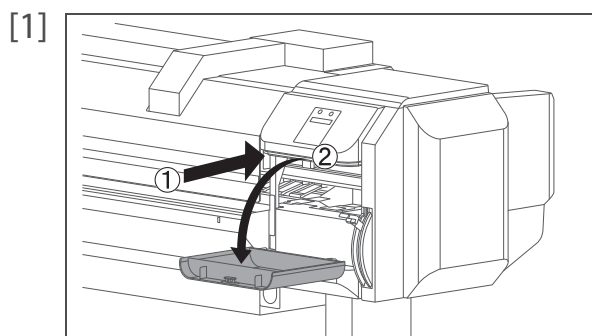
インクを取り扱う時は保護具（手袋、ゴーグルまたは保護メガネ、保護マスク、保護衣）を着用してください。

インクが目に入ったり、皮膚に付着しないように注意してください。

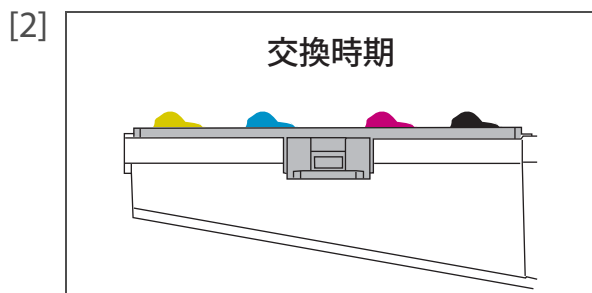
目に入ったり皮膚に付着した場合は、直ちに水で洗い流してください。そのまま放置すると、目の充血や軽い炎症を起こす恐れがあります。万一異常がある場合は、直ちに医師にご相談ください。



1. 確認手順



製品右側のメンテナンスカバーを開けます。

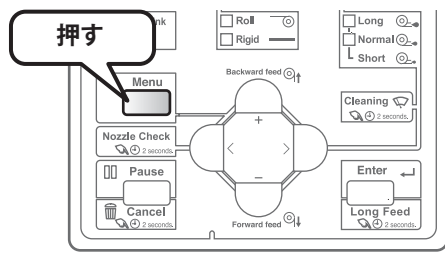


フラッシングボックス用吸収材を確認します。

- ・フラッシングボックス枠が変形していたり、インクのかたまりがフラッシングボックスの枠より盛り上がっていたら、交換時期です。
- ・メンテナンスカバーを閉じます。

2. キャップアウト状態にする

[1]



[Menu] キーを押します。

[2]

メニュー1: スリープモード>

左のメッセージが表示されます。

[3]

メニュー7: メンテナンス>

[-] キーを何回か押して、左の表示にします。

- [>] キーを押します。

[4]

メンテナンス1: デイリーメンテナンス

左のメッセージが表示されます。

[5]

メンテナンス3: キャップアウト

[-] キーを何回か押して、左の表示にします。

- [Enter] キーを押します。

[6]

キャップアウト: Start

[Enter] キーを押します。

シバラクオマチクダサイ

- キャリッジが本製品の中央へ移動します。
- クリーニングワイパーが上側へ移動します。

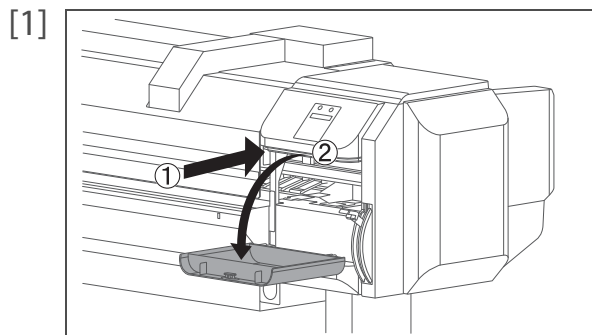
[7]

キャップアウト: End

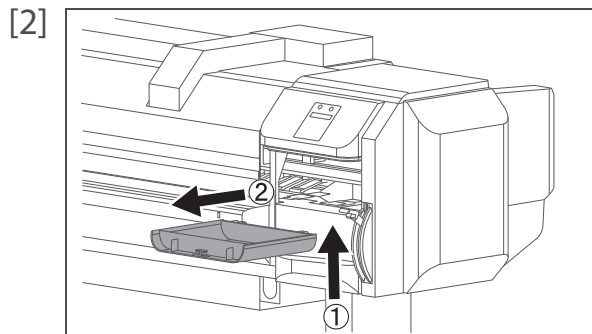
左のメッセージが表示されます。

- 交換を行います。

3. 交換手順



製品右側のメンテナンスカバーを開けます。

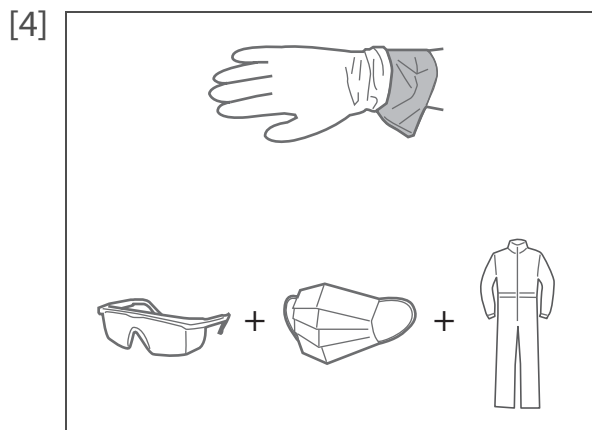


メンテナンスカバーを取り外します。

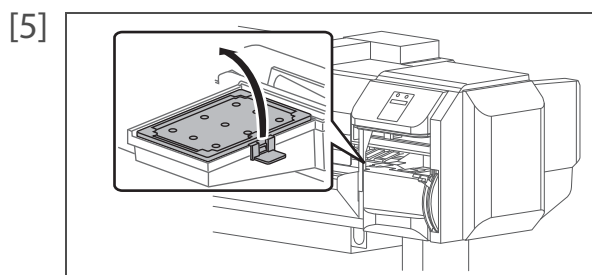
[3] プラテンに、汚れてもかまわない紙をしきます。

Important!

フラッシングボックス用吸収材からインクがたれることがあります。
床にも紙をしくことをおすすめします。



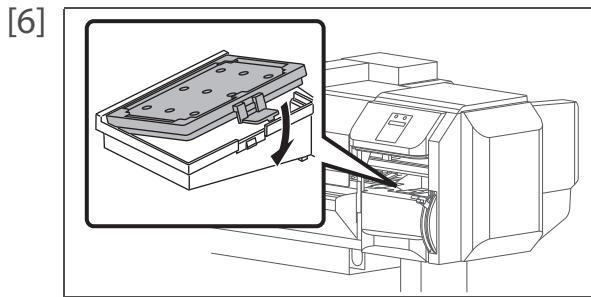
手袋、ゴーグル、保護マスク、保護衣など保護具を着用します。



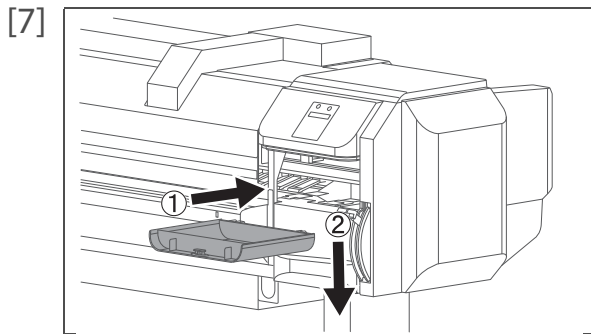
フラッシングボックス用吸収材のツメ部を持ち上げてフックを解除し、
フラッシングボックス吸収材を取り外します。

Important!

フラッシングボックス用吸収材を取り外すときに、インクがたれ落ち
ないように注意してください。



新しいフラッシングボックス用吸収材を取り付けます。



メンテナンスカバーを取り付けます。

[8] メンテナンスカバーを閉じます。



[Enter] キーを押します。



左のメッセージが表示されます。
・手順を終了します。

クリーニングワイパーの交換

クリーニングワイパーは、製品が安定した印刷を行うために必要な部品です。定期的に交換してください。

交換時期の目安：

- ・ 約6か月

必要なもの

- ・ 保護具（手袋、ゴーグルまたは保護メガネ、保護マスク、保護衣）
- ・ クリーニングワイパー
- ・ 汚れてもかまわない紙（インクが裏抜けしないもの）

⚠ 注意



インクを取り扱う時は保護具（手袋、ゴーグルまたは保護メガネ、保護マスク、保護衣）を着用してください。

インクが目に入ったり、皮膚に付着しないように注意してください。

目に入ったり皮膚に付着した場合は、直ちに水で洗い流してください。そのまま放置すると、目の充血や軽い炎症を起こす恐れがあります。万一異常がある場合は、直ちに医師にご相談ください。



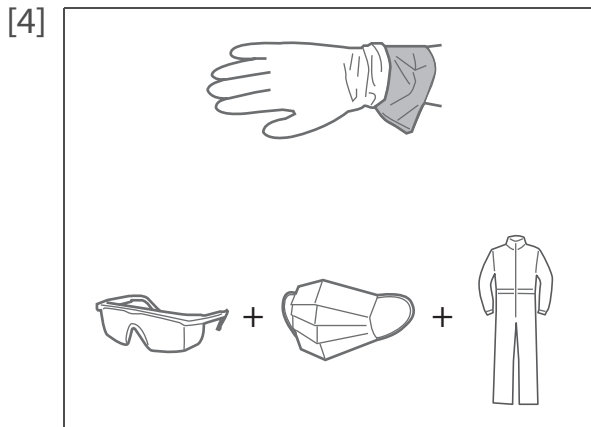
1. 交換手順

- [1] 本製品をキャップアウト状態にします。

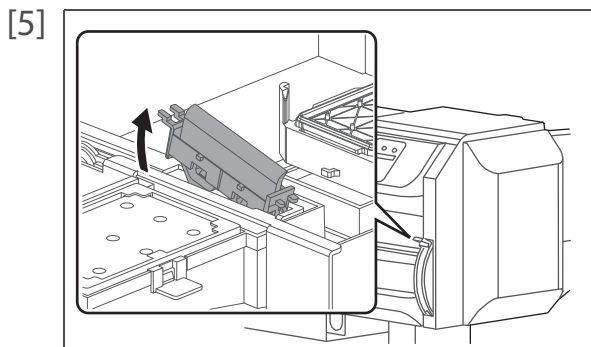
 「キャップアウト状態にする」P.124

- [2]  製品右側のメンテナンスカバーを開けます。

- [3]  メンテナンスカバーを取り外します。



手袋、ゴーグル、保護マスク、保護衣など保護具を着用します。

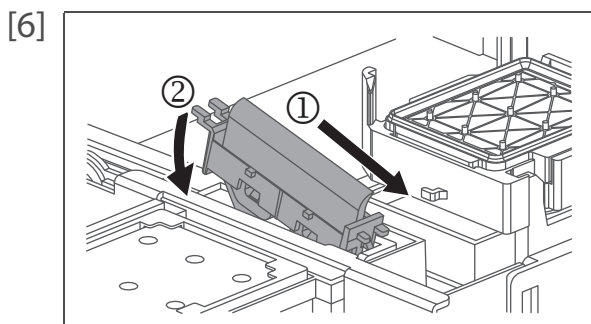


クリーニングワイパーを取り外します。

- ・クリーニングワイパーのツメ部を持上げてフックを解除し、クリーニングワイパーを取り外します。

Important!

クリーニングワイパーを取り外すときに、インクが垂れ落ちないように注意してください。



以下の手順に従って、新しいクリーニングワイパーを取り付けます。

- ・クリーニングワイパーの手前側を挿入します。
- ・クリーニングワイパーのツメ部をカチッと音がするまで押し込みます。

Important!

クリーニングワイパーのゴム部分を素手で触れないように注意してください。皮脂が付着するとプリントヘッドの故障の原因となります。

[7] メンテナンスカバーを取り付け、閉じます。

[8]

キャップアウト:	End
----------	-----

[Enter] キーを押します。

キャップアウト:	Start
----------	-------

左のメッセージが表示されます。

- ・手順を終了します。

本製品の輸送、移動方法について説明します。

移動の方法

本製品の移動方法について説明します。

Important!

- 製品は水平の状態を保ったまま移動させてください。
- 本製品を傾けたり、上下を逆にしないでください。
内部のインクが漏れる恐れがあります。また移動後の正常動作が保証できません。
- 本製品を移動するときは、廃液タンクを空にしてください。
移動時に廃液タンク内でインクがはねると、故障の原因となります。

1. 移動前の手順

[1] 電源をオフにします。

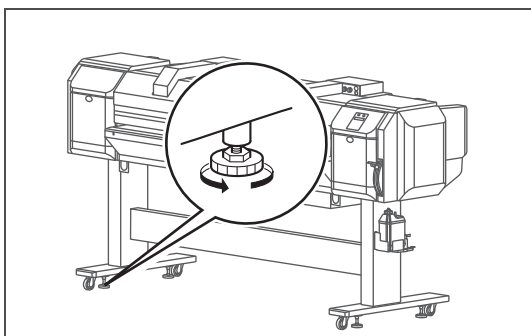
☞ 「電源をオフにする」P.29

[2] 廃液タンクを空にします。

☞ 「廃液タンクを空にする」P.105




[3] 電源ケーブルなどのケーブル類をすべて取り外します。

[4] 専用スタンドのアジャスター（4箇所）を、左図の方向に回転させて緩めます。



[5] 本製品を移動します。

2. 移動後の手順

- [1] 設置に適した場所を確認します。
 スタートアップガイド
- [2] 設置場所に移動後、製品を固定します。
- [3] 電源ケーブルなどのケーブル類を取り付けます。
- [4] ノズルチェックを行い、目詰まりがないか確認します。
 「ノズルチェック」P.43
- [5] 画質調整を行います。
 「画質調整」P.46

輸送の方法

本製品を輸送する場合は、振動や衝撃から製品本体を守るために、保護材や梱包材を使用して購入時と同じ状態に梱包する必要があります。

Important!

本製品を輸送する場合は、お買い上げの **MUTOH** 製品販売店にご相談ください。

長期保存と初期充てん

長期間使用しないときには

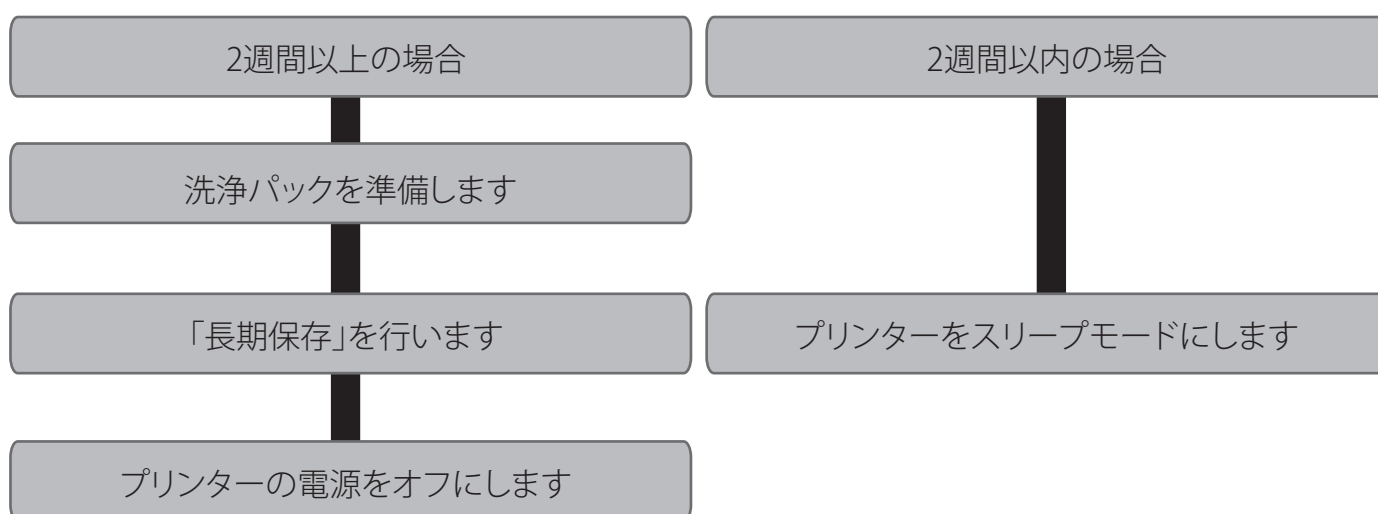
本製品を長期間（2週間以上）使用しない場合は、長期保存を行ってください。

Note

本製品を使用しない期間が2週間以内の場合は、スリープモードで保存することができます。

👉 「スリープモード」P.31

長期保存の流れは、以下の通りです。



Important!

かならずデイリーメンテナンスを行ってから、電源をオフにしてください。

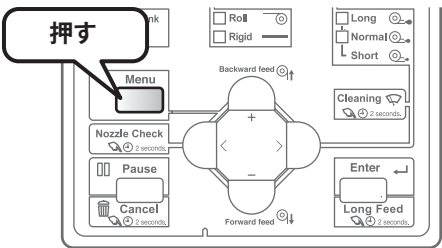
デイリーメンテナンスを行わずに電源をオフにすると、ノズル詰まりが発生する恐れがあります。

長期保存を行う

必要なもの：

- ・ 洗浄パック (7つ)

1. インク排出手順

- [1]  [Menu] キーを押します。
- [2]

メニュー1:	スリープモード >
--------	-----------

 左のメッセージが表示されます。
- [3]

メニュー7:	メンテナンス >
--------	----------

 [-] キーを何回か押して、左の表示にします。
・ [>] キーを押します。
- [4]

メンテナンス1:	デイリーメンテナンス
----------	------------

 左のメッセージが表示されます。
- [5]

メンテナンス2:	チョウキホゾン
----------	---------

 [-] キーを押して、左の表示にします。
・ [Enter] キーを押します。
- [6]


チョウキホゾン:	Start
----------	-------

 [Enter] キーを押します。
- [7]

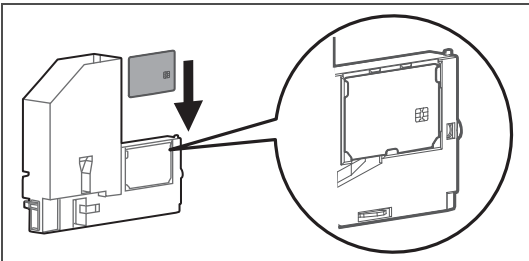
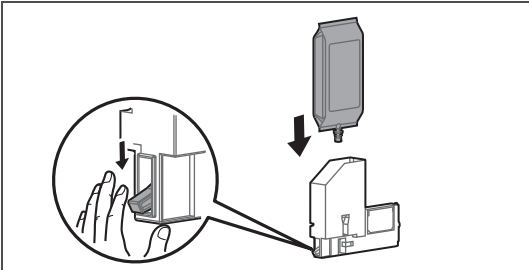
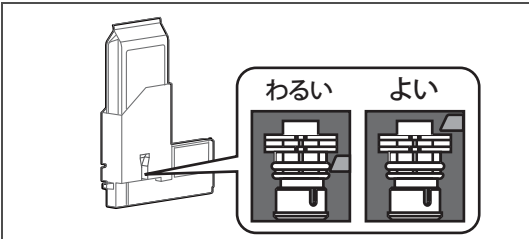
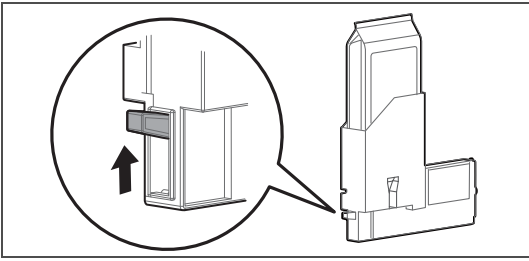
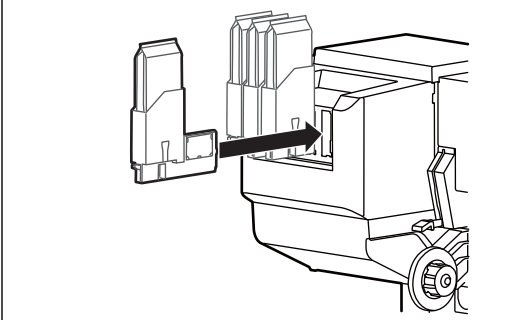
カートリッジ	ヌイテクダサイ
--------	---------

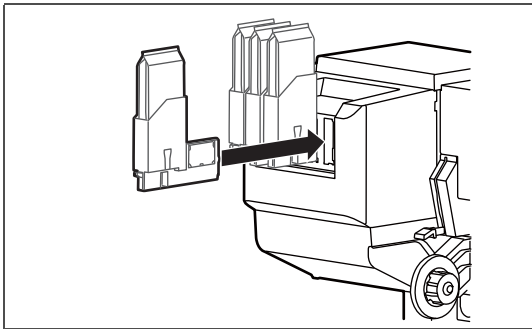
 左のメッセージが表示されたら、大容量パックアダプターをすべて抜いてください。
・ [Enter] キーを押します。
- [8]

ハイエキ	カラニシテクダサイ	->	E
------	-----------	----	---

 左のメッセージが表示されたら、廃液タンクを空にしてください。
 「[廃液タンクを空にする](#)」P.105
・ [Enter] キーを押します。

2. ヘッド洗浄手順

- [1] **センジョウカートリッジ リセット** 左のメッセージが表示されます。
- [2]  大容量パックアダプターのツメにスマートチップカードをスライドして取り付けます。
- [3]  大容量パックアダプターのロックレバーを下げながら、洗浄パックを挿入します。
・洗浄パックは奥までしっかりと挿入してください。
- [4]  洗浄パックが奥まで差し込まれ、ロックしていることを確認します。
- [5]  大容量パックアダプターのロックレバーが元の位置に戻っていることを確認します。
- [6]  大容量パックアダプターを差し込みます。
・奥までしっかりと差し込んでください。
- ヘッドセンジョウチュウ** ヘッド洗浄を開始します。

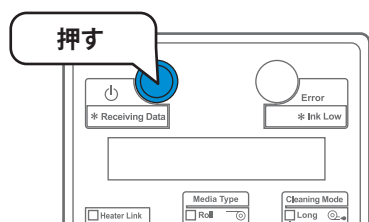
- [7] **カートリッジヲ ヌイテクダサイ**
- 左のメッセージが表示されたら、大容量パックアダプターをすべて抜いてください。
- [Enter] キーを押します。
- インクハイシュツチュウ**
- 洗浄液の排出を開始します。
- [8] **ハイエキヲ カラニシテクダサイ → E**
- 左のメッセージが表示されたら、廃液タンクを空にしてください。
- ☞ 「[廃液タンクを空にする](#)」P.105
- [Enter] キーを押します。
- [9] **センジョウカートリッジ ヲ セット**
- 左のメッセージが表示されます。
- [10] 
- 大容量パックアダプターを差し込みます。
- 奥までしっかり差し込んでください。
- ヘッドセンジョウチュウ**
- ヘッド洗浄を開始します。
- [11] **カートリッジヲ ヌイテクダサイ**
- 左のメッセージが表示されたら、大容量パックアダプターをすべて抜いてください。
- [Enter] キーを押します。
- インクハイシュツチュウ**
- 洗浄液の排出を開始します。
- [12] **[ALL] ミジュンテン**
- 洗浄液の排出が完了すると、左のメッセージが表示されます。
- 手順を終了します。

3. 電源オフ手順

[1] デイリーメンテナンスに必要なものを準備します。

👉 「デイリーメンテナンスの準備」P.109

[2]



本製品の電源ボタンを押します。

- ・本製品が電源オフ動作を開始します。
- ・青色のランプが消灯します。

[3]

デイリーメンテナンス:	Start
-------------	-------

[Enter] キーを押します。

[4]

アライナガシ シマスカ?:	イイエ
---------------	-----

4色設定でお使いの場合、クリーニングワイパーユニットおよびフラッシングボックスを洗浄液で洗い流すかどうかを選択します。

- ・「アライナガシ シマスカ? イイエ」: 洗い流しを行いません。
- ・「アライナガシ シマスカ? ハイ」: 洗い流しを行います。

アライナガシ シマスカ?:	ハイ
---------------	----

Note

洗い流しを行うことで、フラッシングボックス吸収材の交換までの寿命をのばすことができます。ただしプリントヘッド内のインクが洗浄液により排出されるため、インクを消費します。

[5]

クリーニングチュウ	** %
-----------	------

自動で微量クリーニングを行います。

シバラクオマチクダサイ

- ・キャリッジがメンテナンス位置へ移動します。
- ・クリーニングワイパーが上側へ移動します。

[6]

デイリーメンテナンス:	End
-------------	-----

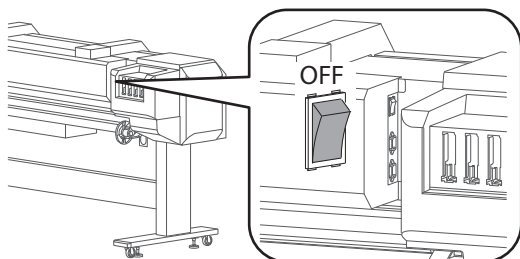
左のメッセージが表示されます。

- ・デイリーメンテナンスを行います。
- 👉 「デイリーメンテナンスを行う」P.111
- ・メンテナンス終了後、[Enter] キーを押します。

デンゲンシャダンチュウ

本製品が電源オフ動作を開始します。

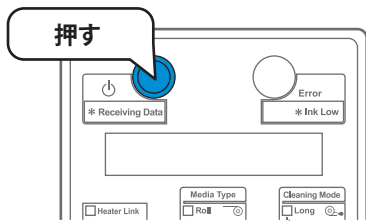
[7]



プロアヒーターの電源をオフにします。

初期充電を行う

[1]



本製品の電源ボタンを押します。

- ・青色のランプが点灯します。
- ・本製品が初期動作を開始します。

[2]

インクジュウテンカイシ → Enter

左のメッセージが表示されたら、[Enter] キーを押します。

[3]

センジョウ シマスカ? ハイ

[-] キーを押します。

[4]

センジョウ シマスカ? イイエ

[Enter] キーを押します。

[5]

ハイエキヲ カラニシテクダサイ → E

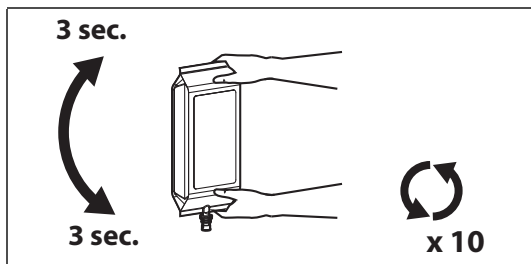
廃液タンクが空になっていることを確認し、[Enter] キーを押します。

[6]

インクカートリッジ ヲ セット

左のメッセージが表示されます。

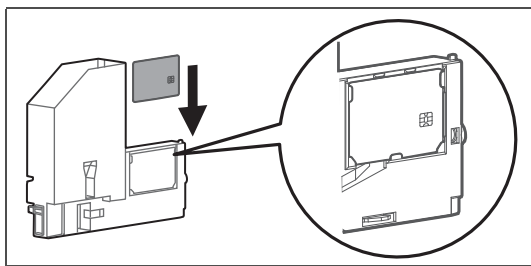
[7]



新しいインクパックを用意し、下記の方法でインクをかくはんします。

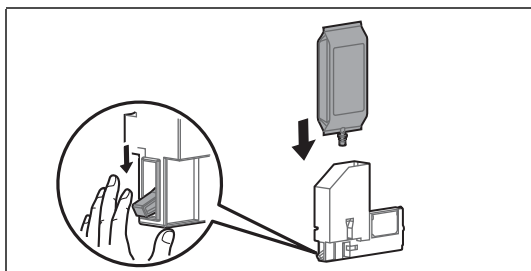
- ・差し込み口を上に向けて3秒待ちます。
- ・次に差し込み口を下に向けて3秒待ちます。
- ・10回繰り返します。

[8]



大容量パックアダプターのツメにスマートチップカードをスライドして取り付けます。

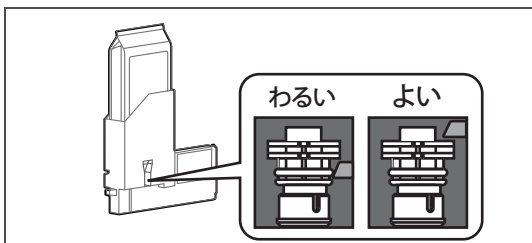
[9]



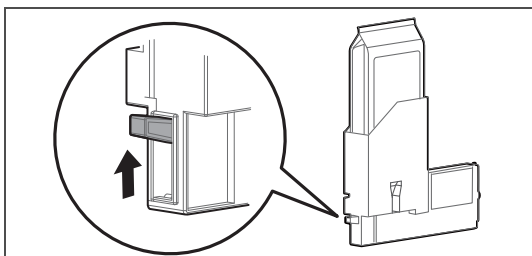
大容量パックアダプターのロックレバーを下げながら、インクパックを挿入します。

- ・インクパックは奥までしっかりと挿入してください。

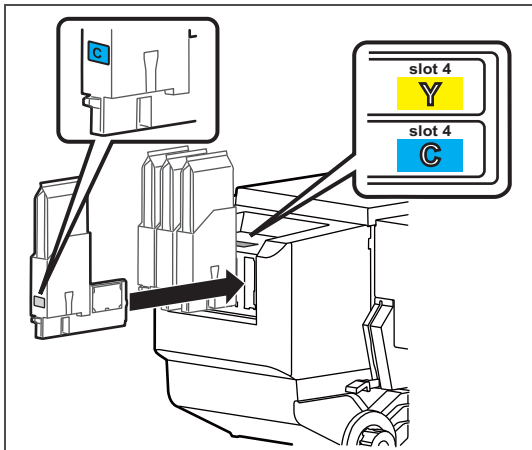
[10] インクパックが奥まで差し込まれ、ロックしていることを確認します。



[11] 大容量パックアダプターのロックレバーが元の位置に戻っていることを確認します。



[12] 大容量パックアダプターを差し込みます。



- ・ 本製品のラベルと大容量パックアダプターの色を合わせてください。
- ・ 奥までしっかり差し込んでください。

Important!

大容量パックアダプターは、輸送前と同じ色数の組み合わせでセットしてください。

インクをセットした後の手順

[1]

インクジュウテンチュウ **%

左のメッセージが表示されます。

- ・インク充てんを開始します。

注 意

インク充てん中に、以下の動作を行わないでください。

- ・本製品の電源をオフにする
- ・本製品の電源ケーブルを抜く
- ・フロントカバーを開ける
- ・メンテナンスカバーを開ける
- ・メディアセットレバーを上げる

[2]

メディア ナシ

インク充てんが完了すると、左のメッセージが表示されます。

- ・手順を終了します。

Important!

初期充てん終了直後にノズルチェックを行うと、次のような現象が発生する場合があります。

- ・印刷した線がかすれる
- ・部分的に印刷されない

このような場合には、「[メニュー 5: クリーニング](#)」P. 89 に従って、微量充てんを行ってから、印刷結果を確認してください。

微量充てんを行っても印刷結果に変化が無い場合は、製品を1時間以上放置後、再度クリーニングまたは微量充てんを行ってから印刷結果を確認してください。

それでも印刷結果に変化が無い場合は、「[お問い合わせ先](#)」P. 156 までご連絡ください。

第4章 付録

メッセージとエラーメッセージ	140
動作状態表示	140
メッセージ型エラー表示と対処方法	143
再起動が必要なエラー	146
トラブルシューティング	147
設置・導入時のトラブル	147
動作に関するトラブル	148
メディアに関するトラブル	149
印刷に関するトラブル	151
メディアが詰まった場合	154
お問い合わせ先	156
本製品の仕様	157
仕様一覧	157
オプション・サプライ品リスト	159
インク	159
その他	159
改訂履歴	160

メッセージとエラーメッセージ








ここでは、本製品の正常作業時およびエラー発生時に表示されるメッセージと、その対処方法について説明します。

動作状態表示

本製品が正常に動作している場合の表示内容について説明します。

本製品が正常に動作している場合、操作パネルには以下の各動作状態が表示されます。

表示	内容
サクカ` デ` キマス	待機中。(メディアはセットされています。)
メデ` ィア ` ナシ	待機中。(メディアはセットされていません。) 👉 「メディアのセット方法」P.34
デ` ータジ` ュシンチュウ	データ受信中です。
デ` ータカイセキチュウ	データ解析中です。
デ` ータサクカ` チュウ	印刷中です。
インサツノコリ: XXX. X m	現在印刷しているデータについて、まだ印刷されていないデータの長さをメートルで表示します。
ノコリジ` カン: XXXX min	現在印刷しているデータについて、印刷にかかる残り時間を分で表示します。
ロールシノコリ: XXX m	現在セットしているロール紙の残量をメートルで表示します。
ウォームアップ` チュウ スキップ` → ENTER	ブローヒーターを温め中です。ヒーターのウォームアップ中に印刷を行う場合は、[Enter] キーを押します。
クリーニング` チュウ **%	ヘッドクリーニング中です。しばらくお待ちください。
ゲ` ンテンニイト` ウチュウ	原点設定メニューで、プリントヘッドが印刷開始位置に移動中です。しばらくお待ちください。
ハ` ラメータシヨキカチュウ	初期化メニューで、設定値の初期化中です。しばらくお待ちください。
2ヒ` ヨウ ` オシツツ` ケル	キーを押していた時間が2秒未満でした。 再度キーを2秒以上押し続けてください。
メデ` ィアヲセットシテクタ` サイ	メディアをセットして、メディアセットレバーを下げてください。
シュルイ: Type ** OK ?	メディアイニシャル中です。しばらくお待ちください。 (* *は設定したユーザ定義を表示します。)
メデ` ィア ` イニシャル ` チュウ	
Warning! *. * mm →	メディア厚さ検出が Off になっています。 セットしているメディアの厚さが表示通りか確認し、間違っている場合は正しい数値を入力してください。
Misuse Damage Unit >	誤ったメディア厚さの設定はプリントヘッドを損傷する恐れがあることを警告しています。 次に進むには操作パネルの [>] キーを長押しします。
< E > Skip, < CAN > Detect	メディア厚さの検出をスキップする場合は、操作パネルの [Enter] キーを押します。メディア厚さを検出する場合は、操作パネルの [Cancel] キーを押します。

表示	内容
デイリーメンテナンスシテクタ`サイ	<p>前回のデイリーメンテナンスから一定時間が経過しました。 デイリーメンテナンスを行ってください。</p> <p> 「デイリーメンテナンス」P.108</p>
アライナカ`シシマスカ`***	<p>4色設定でお使いの場合、クリーニングワイパーユニットおよびフ ラッシングボックスを洗浄液で洗い流すかどうかを選択します。</p>
ノズルチェックヲ`シテクタ`サイ`→E	<p>スリープモードに設定してから1週間が経過しました。[Enter] キーを 押すと、通常状態に戻ります。インクパックをかくはんし、ノズル チェックを行ってください。</p>
フッキチュウ`***%	<p>カラーメンテナンス中です。 しばらくお待ちください。</p>
ジ`ユミョウカクニン [ホ`ンプ`]	<p>ポンプモーターの寿命が近づいています。(動作を継続します。) お買い求めの MUTOH 製品取扱店または MUTOH カスタマーサポート 窓口までご連絡ください。</p> <p> 「お問い合わせ先」P.156</p>
ジ`ユミョウカクニン [CRモータ`]	<p>CRモーターの寿命が近づいています。(動作を継続します。) お買い求めの MUTOH 製品取扱店または MUTOH カスタマーサポート 窓口までご連絡ください。</p> <p> 「お問い合わせ先」P.156</p>
ジ`ユミョウカクニン [PFモータ`]	<p>PFモーターの寿命が近づいています。(動作を継続します。) お買い求めの MUTOH 製品取扱店または MUTOH カスタマーサポート 窓口までご連絡ください。</p> <p> 「お問い合わせ先」P.156</p>
ジ`ユミョウカクニン [Cホ`ンプ`]	<p>循環ポンプの寿命が近づいています。(動作を継続します。) お買い求めの MUTOH 製品取扱店または MUTOH カスタマーサポート 窓口までご連絡ください。</p> <p> 「お問い合わせ先」P.156</p>
[*] フ`ラク`コウカン	<p>大容量パックアダプターのコネクタゴムが使用限界になりました。 コネクタゴムを交換してください。</p> <p> 大容量パックアダプター取扱説明書「3.3 アダプタープラグの交 換」</p>
デ`ンゲ`ンシャタ`ンチュウ	<p>プリンターの電源をオフしています。しばらくお待ちください。</p>
S/C リード`チュウ	<p>S/C カードの読み取り中です。</p>
インクジ`ンカンチュウ	<p>プリンター内でインクが循環中です。</p>
W カートリッジ`フツテクタ`サイ	<p>ホワイト (Wh) のインクパックをかくはんしてください。</p>
KMCY カートリッジ`フツテクタ`サイ	<p>ブラック (K)、マゼンタ (M)、シアン (C)、イエロー (Y) のイ ンクパックをかくはんしてください。</p>
ALL カートリッジ`フツテクタ`サイ	<p>すべてのインクパックをかくはんしてください。 4色使用時：ブラック (K)、マゼンタ (M)、シアン (C)、イエロー (Y) のインクパックをかくはんしてください。 5色使用時：ブラック (K)、マゼンタ (M)、シアン (C)、イエロー (Y)、ホワイト (Wh) のインクパックをかくはんしてください。</p>
インクハ`ユウコウキゲ`ンナイテ`スカ?	<p>インクパックの有効期限を確認してください。有効期限が切れている 場合は、新しいインクパックに交換してください。 操作パネルの [Enter] キーを押して、メッセージを消去します。</p> <p> 「インクの交換」P.102</p>


表示	内容
ロール紙の残量カウント : * m	ロール紙の残量カウントがもうすぐゼロになります。ロール紙の残量は * m です。
ワイパーのトリックマシタか? → イエ	クリーニングワイパーをセットしてください。 ☞ 「スタートアップガイド」
ワイパーのトリックマシタか? → ハイ	クリーニングワイパーがセットされていることを確認して、[Enter] キーを押してください。
インクジョウテンカイシ → Enter	インク充てんを開始します。[Enter] キーを押してください。
インククミアワセ : * ショク	使用したいインク組み合わせを 4 色、5 色から選んでください。
センジョウシマスカ? ハイ	洗浄液によるヘッド洗浄を行います。[Enter] キーを押します。
センジョウカートリッジヲセット	ヘッド洗浄処理中です。 洗浄パックを取り付けてください。
ヘッドセンジョウチュウ	初期洗浄で洗浄液の充てんおよび排出を行っています。 または、ヘッド洗浄処理で、プリントヘッドの洗浄中です。 しばらくお待ちください。
カートリッジヲヌイテクタサイ	ヘッド洗浄処理中またはインク排出処理中です。 大容量パックアダプターを取り外してください。
インクカートリッジヲセット	インク充てん中です。 大容量パックアダプターを取り付けてください。
インクジョウテンチュウ **%	インク充てん中です。 しばらくお待ちください。
ハイエキヲカラニシテクタサイ → E	廃液タンクの廃インクを容器に移し、[Enter] キーを押してください。 ☞ 「廃液タンクを空にする」P.105

メッセージ型エラー表示と対処方法

本製品の動作中に、メッセージ型エラーが発生した場合の表示内容とその対策について説明します。メッセージ型エラーは、本製品の動作中に何らかの障害が発生した場合に表示されます。メッセージ型エラーが発生した場合、本製品は操作パネルに以下のエラーメッセージを表示するとともに、動作を停止する場合があります。

表示	内容
カバーオープン	フロントカバーが開いています。フロントカバーを閉じてください。
メンテナンスカバーオープン	左のメンテナンスカバーが開いています。メンテナンスカバーを閉じてください。
メディアニンシキエラー	メディア認識に失敗しました（動作を停止します）。 メディアをセットし直してください。
メディアシャコウエラー	メディアが斜行しました（動作を停止します）。 メディアをセットし直してください。
ショウカイブツケンシュツ → E	障害物が検出されました（動作を停止します）。 障害物を取り除いて、[Enter] キーを押してください。  「ヘッド衝突防止センサーが反応したときは」P. 27
サクカサイカイ? イイエ	印刷を終了する場合は、[Enter] キーを押します。
サクカサイカイ? ハイ	印刷を再開する場合は、[Enter] キーを押します。
ヘンコウ X. Xmm →	メディア厚補正值を入力します。入力後、[Enter] キーを押します。 操作パネルの [>] キーを押すと、「アツサ+ホセイ: 0.5+0.1」のように、設定値 (0.5) と入力した補正值 (0.1) が表示されます。
タカサホセイヲホゾンシマスカ? イイエ	入力した補正值で、ユーザ定義のメディア厚補正值を上書きしません (印刷中のデータのみ補正值を変更します)。[Enter] キーを押します。
タカサホセイヲホゾンシマスカ? ハイ	入力した補正值で、ユーザ定義のメディア厚補正值を上書きします。 [Enter] キーを押します。
ロールシエント	メディアがなくなりました（動作を停止します）。 新しいメディアをセットしてください。  「メディアのセット方法」P. 34
[*****] インク スクナイ	インク残量が少なくなりました（動作を継続します）。 新しいインクを用意してください。  「インクの交換」P. 102
[*****] インク ナシ	インクがなくなりました（動作を停止します）。 新しいインクに交換してください。  「インクの交換」P. 102
[*****] カートリッジ ナシ	大容量パックアダプターが挿入されていません（動作を停止します）。 大容量パックアダプターを挿入してください。
[*****] ミジ ユウテン	インクが充てんされていません。初期充てんを行ってください。  「初期充てんを行う」P. 136
ハイエキタンク マンタン	廃液タンクが満タンになりました（動作を停止します）。 ただちに廃液を容器に移してください。  「廃液タンクを空にする」P. 105
[*****] S/C リードエラー	S/C カードの読み取りに失敗しました。 S/C カードを挿入し直してください。

表示	内容
[*****] S/C カラー エラー	大容量パックアダプターが、間違ったインクカートリッジスロットに取り付けられています。 大容量パックアダプターを正しいインクカートリッジスロットに取り付けてください。
[*****] S/C インク エラー	本製品で使用できない種類のインクです。 お買い求めの MUTOH 製品取扱店または、MUTOH 各営業所にお問い合わせください。 ☞ 「お問い合わせ先」P.156
[*****] S/C コード エラー	適切でないインクパックが挿入されています。 お買い求めの MUTOH 製品取扱店または、MUTOH 各営業所にお問い合わせください。 ☞ 「お問い合わせ先」P.156
[*****] ハソシタ チップ	S/C カードが破損しています。 新しいインクパックに交換してください。
[*****] インク カクニン	大容量パックアダプターが正しく認識できませんでした。 大容量パックアダプターを挿入し直してください。 復帰しない場合は、お買い求めの MUTOH 製品取扱店または、MUTOH 各営業所にお問い合わせください。 ☞ 「お問い合わせ先」P.156
[*] インク サイソウニュウ	S/C カードの接触不良などのため、大容量パックアダプターの再挿入が必要です。 すべての大容量パックアダプターを挿入し直してください。 ☞ 「インクの交換」P.102
ヒーターエラー < E >インサツ < C A N >キャンセル	ブローヒーターの温度が規定時間以内に設定温度に達しませんでした。 ・[Enter] キーで印刷します。作画結果は保証できません。 ・作画をキャンセルする場合は [Cancel] キーを押します。 ブローヒーターの電源を OFF にして再起動してください。 問題が解決しない場合は、お買い求めの MUTOH 製品取扱店または、MUTOH 各営業所にお問い合わせください。 ☞ 「お問い合わせ先」P.156
サクカ` デ` キマス / P F センサエラー	PF 原点センサーが搬送原点位置を検出できませんでした。 印刷は可能ですが、印刷品質は保証できません。 問題が解決しない場合は、お買い求めの MUTOH 製品取扱店または、MUTOH 各営業所にお問い合わせください。 ☞ 「お問い合わせ先」P.156
ショウガ` イブ` ツ ケンシュツ → E	障害物が検出されました。[Enter] キーを押して、メディアのセットをやりなおしてください。 ☞ 「メディアのセット方法」P.34
ショウガ` イブ` ツセンサエラー	障害物センサーに不具合が発生しました（動作を停止します）。 手で障害物センサーを動かして、正常に上下に動くことを確認してください。 問題が解決しない場合は、お買い求めの MUTOH 製品取扱店または、MUTOH 各営業所にお問い合わせください。 ☞ 「お問い合わせ先」P.156

表示	内容
インク ニ チカン シテクタ` サイ	<p>インクを洗浄液に置換した状態で印刷を行った場合、印刷ができません。</p> <p>洗浄液置換を行い、洗浄液をインクに置換してから、印刷を行ってください。</p> <p> 「メンテナンス 6：洗浄液置換」P.92</p>

Note

- ・エラー表示の [*****] は警告対象のインクパックを示します。
- ・「インクナシ」と「カートリッジナシ」が同時に発生したときは「カートリッジナシ」表示を優先します。

スマートチップリカバリー


操作パネルに以下のメッセージが表示された場合、インクカートリッジのスマートチップ破損などの不具合が発生している可能性があります。

以下のエラーメッセージが表示された場合、正しいインクカートリッジが挿入されていることを確認したうえで、スマートチップリカバリーを実行することで正常に印刷できるようになります。

スマートチップリカバリーを実行するには、表示されたメッセージに応じて、操作を行ってください。

表示	内容
[*****] S / C ニンシキ エラー	<p>スマートチップリカバリーが必要なインクカートリッジが挿入されている可能性があります。</p> <p>対象のインクカートリッジを挿し直してください。</p> <p>それでも正常に読み取れない場合は、新しいインクカートリッジを挿入してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インクカートリッジを挿し直して、新たに「[***] カラーカクニン → E」が表示された場合は、「[***] カラーカクニン → E」の内容に従って操作してください。
[***] カラーカクニン → E	<p>スマートチップリカバリーが必要なインクカートリッジが挿入されている可能性があります。</p> <p>正しいインクカートリッジが挿入されているか、ご確認ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・間違ったインクカートリッジが挿入されている場合、正しいインクカートリッジを挿入し直してください。 ・正しいインクカートリッジが挿入されている場合、Enter キーを押してください。スマートチップリカバリーが実行され、印刷動作が継続します。

Note

- ・スマートチップリカバリー実行中はインクステータスメニューにおいて、対象のインクが点滅表示します。
-  [「セット 14：インクステータス」P.83](#)

再起動が必要なエラー

再起動が必要なエラーとは、本製品が動作する上で次のような致命的な障害が発生した場合に表示されます。

- 駆動の妨げとなる障害物が発生した場合
- 電気回路（基板、モーター、センサー等）が故障した場合
- 制御プログラム上の異常が発生した場合

再起動が必要なエラーが発生した場合、本製品は次の動作を行った後に動作停止します。

1. 駆動系の電源を自動的に遮断する。
2. 操作パネルのランプが全て点滅し、ブザーが断続的に鳴り続ける。
3. 操作パネルにエラーメッセージが表示される。

操作パネルのいずれかのキーを押すと、ブザー音は鳴り止みます。

再起動が必要なエラーは、エラーの原因を取り除き、本製品を再起動すると復旧します。

もし同じエラーメッセージが再び表示された場合は、本製品を購入された **MUTOH** 製品販売店または **MUTOH** カスタマーサポート窓口までご連絡ください。

連絡の際には、かならずエラーメッセージのコード番号をお伝えください。

 「お問い合わせ先」P.156

表示	内容
E ***エラー ○○○○○○○○○○ []	エラー状態の解除が不可能なトラブルが発生しました。 1. 駆動系に紙くず、紙片等の障害物があれば、取り除いてください。 2. 交換した部品が正しく取り付けられているか確認してください。 3. 電源をオフにします。しばらく待ってから電源をオンにして、本製品を再起動してください。


Note

- エラーメッセージの「***」はどんなエラーが発生したかを示すコード番号です。
- [] 内にはエラーの発生したコマンドコードが入ることがあります。

トラブルシューティング

ここでは、エラー表示しない製品の異常および故障とその時に考えられる要因とその対策について説明します。

Note

- プリンターの状態やエラー情報は **MSM** のステータス情報から確認できます。
プリンターが正常に動かない場合は、**MSM** をご確認ください。
 - **MSM** は最新のバージョンをお使いください。
MSM のヘルプのバージョン情報で、お使いの **MSM** より新しいバージョンがあるかを確認できます。
最新バージョンがある場合は、**MUTOH Club** からダウンロードしてください。
-  MUTOH Status Monitor 取扱説明書

設置・導入時のトラブル

インクの初期充電ができない

フロントカバーが開いていたり、メンテナンスカバーが開いていませんか？
- フロントカバーとメンテナンスカバーを閉じてください。

メディアセットレバーが上がっていませんか？
- メディアセットレバーを下げてください。

大容量パックアダプターは奥まで確実に差し込まれていますか？
- 大容量パックアダプターを奥まで確実に差し込んでください。

初期充電してもインクが出ない

インクは冷えていませんか？
- 最低でも常温で3時間以上放置した後、クリーニングを数回行ってください。

初期充電中に電源をオフしませんでしたか？
- 再度電源をオンにし、初期充電をやりなおしてください。

初期充電後にノズル抜けが発生する

クリーニングを行ってみましたか？
- クリーニングを行ってから、印刷結果を確認してください。
- クリーニングを行っても印刷結果に変化が無い場合は、製品を1時間以上放置後、再度クリーニングまたは微量充電を行ってから印刷結果を確認してください。
- それでも印刷結果に変化が無い場合は、お問い合わせ先までご連絡ください。

 「ヘッドクリーニング」P.120、「お問い合わせ先」P.156

MSM やRIP からプリンターに接続できない

イーサネットケーブルはきちんと接続していますか？

- イーサネットケーブルをきちんと接続してください。

ネットワーク設定は正しく設定されていますか？

- ネットワーク設定を正しく設定してください。

プリンターのネットワーク設定をコンピューター側の環境に合わせていますか？

- 製品のネットワーク設定をコンピューター側の環境に合わせてください。

👉 「コンピューターとの接続」P.19、「初期設定 3：IP アドレス」P.94、「初期設定 4：サブネットマスク」P.95、「初期設定 5：ゲートウェイ」P.95

動作に関するトラブル

電源投入後まったく動かない/
メディアをセットしても動かない

電源ケーブルはつながっていますか？

- 電源ケーブルをつないでください。

AC 電源は規定の電圧になっていますか？

- 他のコンセントに接続してください。

フロントカバーが開いていたり、メンテナンスカバーが開いていませんか？

- フロントカバーとメンテナンスカバーを閉じてください。

メディアセットレバーが上がっていませんか？

- メディアセットレバーを下げてください。

メディアを正しくセットしていますか？

- メディアを正しくセットしてください。

大容量パックアダプターは挿入されていますか？

- 大容量パックアダプターを挿入してください。

プリンターを使用環境以外の場所で使用していませんか？

- プリンターを使用する環境条件を、指定する環境に合わせてください。

MSM にエラーが表示されていませんか？

- MSM のステータス情報を確認してください。

👉 「メディアのセット方法」P.34、「設置場所の確認」スタートアップガイド P.5

メディアに関するトラブル

メディアイニシャル中にメディアが外れる、破れる、シワになる

メディアを正しくセットしていますか？

- メディアを正しくセットしてください。

加圧ローラーにメディアの切れ端等の異物が付着していませんか？

- 加圧ローラーを清掃してください。

プリンターを使用環境以外の場所で使用していませんか？

- プリンターを使用する環境条件を、指定する環境に合わせてください。

メディアがカールしたり、浮いたりしていませんか？

- メディアの両端にメディア押さえをセットしてください。

- 吸着ファンの設定を確認してください。

折り目、傷、破れ、および巻き癖のあるメディアは使用していませんか？

- メディアを交換してください。



Note

詰まったり、破れたりしたメディアは、「メディアが詰まった場合」P.153にしたがって取り除いてください。

メディアイニシャルでメディアを正しく認識できない

メディアを正しくセットしていますか？

- メディアを正しくセットしてください。

メディアを斜めにセットしていませんか？

- メディアを真っ直ぐにセットしてください。

プリンターを使用環境以外の場所で使用していませんか？

- プリンターの使用する環境条件を、指定する環境に合わせてください。

一度印刷したメディアを再度使用していませんか？

- 新品のメディアを使用してください。

👉 「メディアのセット方法」P.34、「内部の清掃」P.122、「メディアをセットしたら・・・」P.37、「**>4：吸着ファン」P.71、「メディアが詰まった場合」P.154、「設置場所の確認」スタートアップガイド P.5

メディア詰まりが頻発する

プリンターを使用環境以外の場所で使用していませんか？

- プリンターを使用する環境条件を、指定する環境に合わせてください。

メディアがカールしたり、浮いたりしていませんか？

- メディアの両端にメディア押さえをセットしてください。

- 吸着ファンの設定を確認してください。

折り目、傷、破れ、および巻き癖のあるメディアは使用していませんか？

- メディアを交換してください。



Note

詰まったり、破れたりしたメディアは、「メディアが詰まった場合」P.153にしたがって取り除いてください。

印刷中にメディアが斜行する

メディアを正しくセットしていますか？

- メディアを正しくセットしてください。

👉「設置場所の確認」スタートアップガイド P.5、「メディアをセットしたら・・・」P.37、「**>4：吸着ファン」P.71、「メディアが詰まった場合」P.154、「メディアのセット方法」P.34

印刷に関するトラブル

データを送っても印刷されない

イーサネットケーブルはきちんと接続していますか？

- イーサネットケーブルをきちんと接続してください。

MSMにエラーが表示されていませんか？

- MSMのステータス情報を確認してください。

部分的に印刷が汚れたり、
抜けたりする

メディアがカールしたり、浮いたりしていませんか？

- メディアの両端にメディア押さえをセットしてください。

- 吸着ファンの設定を確認してください。

メディアが湿気を含んでいたり、折り目、シワ等がありませんか？

- 新しいメディアに交換してください。

印刷はするが、描く位置がおかしい/
描けないところがある

メディアを正しくセットしていますか？

- メディアを正しくセットしてください。

原点を設定していませんか？

- 原点の設定を解除するか、または再設定してください。

印刷した線がにじむ

メディアの印字面に印刷していますか？

- メディアの印字面を確認して正しくセットしてください。

ブローヒーターが動作していますか？

- ブローヒーターの設定を確認してください。

画質調整を行ってみましたか？

- 画質調整を行ってください。

メディア送り補正を行ってみましたか？

- メディア送り補正を行ってください。

🔗 「コンピューターとの接続」P.19、「メディアをセットしたら・・・」P.37、「**>4：吸着ファン」P.71、「セット17：スタートフィード」P.84、「メディアのセット方法」P.34、「セット5：原点設定」P.77、「ブローヒーター操作パネル」P.12、「**>2：調整作画」P.64、「**>3：送り補正」P.68

印刷に白スジや黒スジが出る

メディアを正しくセットしていますか？

- メディアを正しくセットしてください。

メディアが湿気を含んでいたり、折り目、シワ等がありませんか？

- 新しいメディアに交換してください。

ノズルの状態は良好ですか？

- ノズルチェックを行ってください。
ノズル抜けがある場合は、ヘッドクリーニングを行ってください。

画質調整を行ってみましたか？

- 画質調整を行ってください。

メディア送り補正を行ってみましたか？

- メディア送り補正を行ってください。

ノズルの状態は良好ですか？

- ノズルチェックを行ってください。
ノズル抜けがある場合は、ヘッドクリーニングを行ってください。

インクのかくはんを行いましたか？

- パネル表示にメッセージが表示されたら、インクのかくはんして下さい。

印刷線が繋がらない/二重になる、
印刷結果がかすれる

画質調整を行ってみましたか？


- 画質調整を行ってください。

メディア送り補正を行ってみましたか？

- メディア送り補正を行ってください。

インクパックは有効期限内ですか？

- 有効期限内のインクパックを使用してください。

 「メディアのセット方法」P.34、「ノズルチェックとクリーニング」P.43、「**>2：調整作画」P.64、「**>3：送り補正」P.68

印刷結果の色がおかしい

ノズルの状態は良好ですか？

- ノズルチェックを行ってください。
- ノズル抜けがある場合は、ヘッドクリーニングを行ってください。

大容量パックアダプターに、正しい組み合わせでインクパックとスマートチップカードが取り付けられていますか？

- インクパックとスマートチップカードの組み合わせを確認してください。
- 組み合わせが間違っている場合、お問い合わせ先までご連絡ください。

インクのかくはんを行いましたか？

- パネル表示にメッセージが表示されたら、インクのかくはんして下さい。



Note

カラーの色合いが気になる場合は、カラーメンテナンス設定をオンにしてください。

クリーニングを行っても、ノズル抜けがなおらない

クリーニングワイパーやプリントヘッド外周が汚れていませんか？

- 再度ヘッドクリーニングまたは微量充てんを行い、印刷結果を確認してください。
- デイリーメンテナンスを行い、印刷結果を確認してください。
- それでも印刷結果に変化が無い場合は、お問い合わせ先までご連絡ください。

クリーニングの設定は適切ですか？

- 通常クリーニングまたは強力クリーニングを2~3回行ってもノズル抜けがなおらない場合は、微量充てんを行ってください。

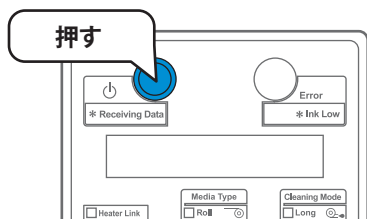
👉 「ノズルチェックとクリーニング」P.43、「メンテナンス7：カラーメンテナンス」P.93、「デイリーメンテナンス」P.108、「メニュー5：クリーニング」P.89

メディアが詰まった場合

セットしたメディアが詰まった場合は、以下の手順に従って、メディアを取り除いてください。

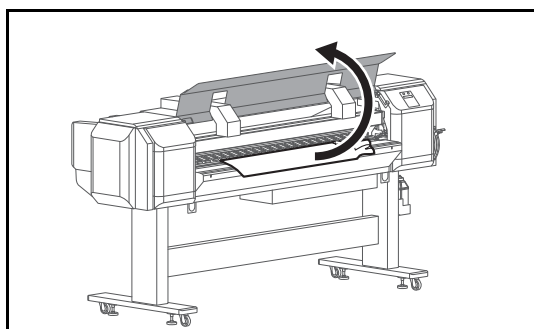
手順

[1]



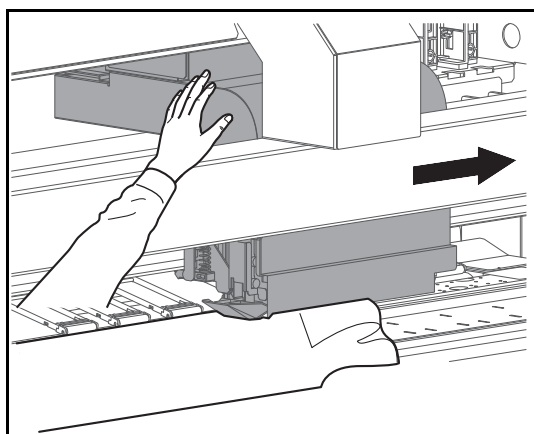
プリンターの電源をオフにします。

[2]



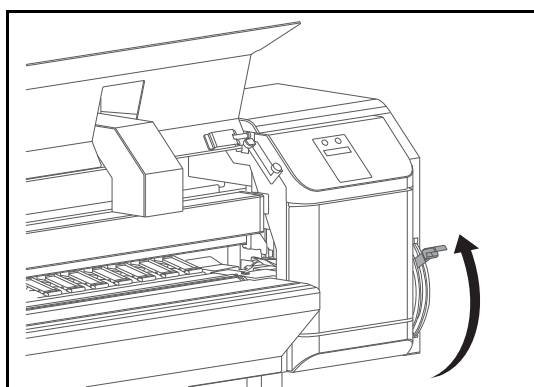
フロントカバーを開きます。

[3]

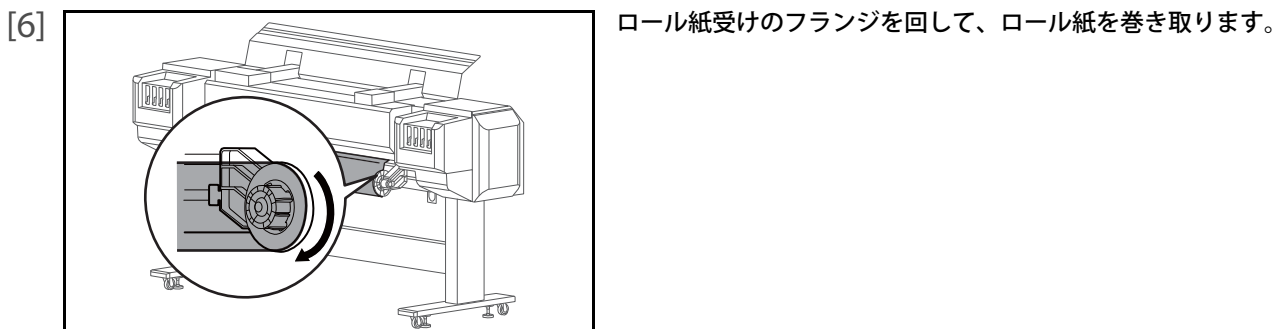


キャリッジをメディア上から移動させます。

[4]



メディアセットレバーを上げます。



- [7] 製品内部に紙くず、紙片等が残っている場合は、破れた紙片を取り除きます。
- [8] フロントカバーを閉じて、プリンターの電源をオンにします。
- [9] プリンターをデイリーメンテナンス状態にして、障害物衝突防止センサーとプリントヘッド周辺の清掃を行います。
☞ 「デイリーメンテナンス状態にする」P.118、「ヘッド衝突防止センサーを清掃する」P.115、「プリントヘッド周辺を清掃する」P.116

 Important!

障害物衝突防止センサーやプリントヘッドに異常がある場合は、お買い求めの MUTOH 製品取扱店または MUTOH 各営業所にお問い合わせください。

☞ 「お問い合わせ先」P.156

- [10] ノズルチェックを行います。
☞ 「ノズルチェックとクリーニング」P.43
- ・ノズル抜けがある場合は、「クリーニングの手順」P.45 に進みます。
 - ・ノズル抜けがない場合は、印刷を開始できます。

お問い合わせ先

本製品で技術的に困りのことがございましたら、MUTOH カスタマーサポートまでお問い合わせください。

MUTOH カスタマーサポート

TEL: ☎ 0120-174911

FAX: ☎ 0120-184711

E-mail: gsup@mutoh.co.jp

営業日：月～金曜日（土、日、祝祭日、弊社指定休日を除く）

受付時間：午前 9:00 ～ 12:00、午後 1:00 ～ 5:00

本製品の仕様

仕様一覧

機種名	VJ-1627MH	
印刷方式	オンデマンドピエゾ方式	
駆動方式	ファームウェアサーボ /DC モーター駆動	
メディア搬送方式	多点加圧式グリッドローラー方式	
メディア固定	手動レバーによる加圧ローラーダウン方式	
使用できるメディア	ロール紙	外径：150mm 以下 紙管径：2 インチまたは 3 インチ 重量：30 kg 以下
	リジッドメディア	最大長さ：1,200 mm 最小長さ：200 mm 重量：15 kg 以下
	ロール紙、リジッドメディア共通	最大幅：1,625 mm 最小幅：182 mm 最大厚さ：16 mm (反り 1 mm 以下)
最大印字幅	1,615 mm	
最大印刷長さ	200 m	
メディアカット方式	横切りマニュアルカット方式	
ヘッド高さ調整	自動高さ調整	
CPU	64bit RISC CPU	
メモリ	384 MB	
インターフェース	Ethernet (10BASE-T / 100BASE-TX)	
廃液タンク	本体固定式、容量 2,000 ml、ユーザーによる廃液排出	
インク	色	4 色 (ブラック、シアン、マゼンタ、イエロー) 5 色 (ブラック、シアン、マゼンタ、イエロー、ホワイト、洗浄液)
	種類	500 ml インクパック

環境条件	動作環境	温度：20℃～28℃、湿度：40%～60% 結露なきこと
	印刷精度保証範囲	温度：22℃～28℃、湿度：40%～60% 結露なきこと
	保存環境	<ul style="list-style-type: none"> ・インク未充てん保存：6ヶ月以内 温度：-20℃～60℃、湿度：20%～80% 結露なきこと ・インク充てん保存：30日以内 (取扱説明書記載のデイリーメンテナンスを行うこと) 温度：5℃～30℃、湿度：20%～80% 結露なきこと
電源	プリンター	電圧：AC 100V～240V±10% 周波数：50/60Hz±1Hz 容量：3A以上
	プロアヒーター	電圧：AC 100V～120V±10%、AC 200V～240V±10% 周波数：50/60Hz±1Hz 容量 <ul style="list-style-type: none"> ・ヒーター1：10A以上 (AC 100V～120V) ヒーター1：10A以上 (AC 200V～240V) ・ヒーター2：10A以上 (AC 100V～120V) ヒーター2：0A以上 (AC 200V～240V)
消費電力	電源オフ	1.0W以下
	待機時	プリンター：40W以下 プロアヒーター：25.4W以下
	ウォーミングアップ時	プリンター：40W以下 プロアヒーター：2,400W以下
	オペレーション	プリンター：300W以下 プロアヒーター：2,200W以下
消費電流	100V～120V	18.0A以下
	200V～240V	10.0A以下
外形寸法	高さ	1,302 mm (カバーオープン時：1,529 mm)
	幅	2,698 mm
	奥行き	818 mm (リジッドメディア用搬送台使用時：2,730 mm)
質量	本体	167.5 kg
	脚部	33 kg

オプション・サプライ品リスト

インク

型番	名称	販売単位
MP31INK-BK500U	MP31 インクブラック (Bk) 500 ml	1 箱 (1 個入り)
MP31INK-CY500U	MP31 インクシアン (Cy) 500 ml	1 箱 (1 個入り)
MP31INK-MA500U	MP31 インクマゼンタ (Ma) 500 ml	1 箱 (1 個入り)
MP31INK-YE500U	MP31 インクイエロー (Ye) 500 ml	1 箱 (1 個入り)
MP31INK-WH500U	MP31 インクホワイト (Wh) 500 ml	1 箱 (1 個入り)
MP31INK-CL500U	洗浄液 (CL) 500 ml	1 箱 (1 個入り)

その他

型番	名称	販売単位
VJ-HCIPADPT	大容量インクパックアダプター	1 箱 (4 個入り)
VJ-HCIPAR	アダプタープラグ	1 箱 (20 個入り)
VJ16/19-TUP30U	30kg 対応簡易巻き取り装置	—
MP31INK-CL1000BU	メンテナンス液 1,000 ml	1 箱 (1 本入り)
RH2 クリーンスティック	クリーンスティック	1 箱 (100 本入り)
PJ-POLYNITW	ポリニットワイパー	1 箱 (300 枚入り)
VJ1608-FB-SO20	フラッシングボックス吸収材	1 箱 (3 個入り)
VJ-WIP	交換用クリーニングワイパー	1 箱 (2 個入り)
VJ-1617H-TBL	リジッドメディア用搬送台	1 箱 (1 セット入り)
VJ-1617H-RLR	メディアサポート	1 箱 (1 個入り)
VJ16-MRT	メディアリテーナー	1 箱 (1 個入り)
VJ-AC15SJ	AC ケーブル (日本国内安全規格対応品)	1 箱 (1 本入り)

Note

詳細についてはお買い求めの MUTOH 製品取扱店または MUTOH 各営業所にお問い合わせください。

 「お問い合わせ先」P.156

改訂履歴

制定年月	版数	マニュアル管理番号	対応ファームウェア
2018.7	00	VJ1627MHJ-A-00	V.1.00
2019.2	01	VJ1627MHJ-A-01	V.1.01
2020.3	02	VJ1627MHJ-A-02	V.1.01
2020.12	03	VJ1627MHJ-A-03	V.1.03 以降

MUTOH